

令和元年度生涯学習・社会教育総合調査研究事業

公民館の役割に関する現状調査 報告書

令和2年3月
青森県教育委員会

はじめに

人口減少に伴い、地域コミュニティの機能低下や経済活動の縮小が懸念される中では、地域の課題に立ち向かう人財の力がより一層重要となります。

平成30年12月に取りまとめられた中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」において、地域における社会教育には、一人一人の生涯にわたる学びを支援し、住民相互のつながりの形成を促進することに加え、地域の持続的発展を支える取組に資することがより一層期待されているとしています。また、今後の社会教育施設の在り方として、公民館には、地域の学習拠点としての役割に加え、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進するセンター的役割、地域の防災拠点としての役割、地域学校協働活動の拠点としての役割などを強化することが求められるとしています。

このたび、県教育委員会では、人づくり、つながりづくり、地域づくりの拠点である県内公民館の活動状況の現状や課題等を把握し、生涯学習振興関連施策の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的として、地域コミュニティの活性化における公民館機能の果たす役割について研究することとしました。

本報告書が、未来の青森県づくりの基盤となる人財の育成を目指す生涯学習・社会教育に係る各種の施策や事業構築の参考となれば幸いです。

最後に、本調査の対象として御回答いただいた公民館・公民館類似施設の関係者並びに施設利用者の皆様に心から感謝し、厚くお礼申し上げます。

令和2年3月

青森県教育庁

生涯学習課長 葛西 浩一

目 次

第 1 章	調査の概要	1
1	調査の名称	
2	調査の趣旨	
3	調査対象	
4	調査方法	
5	回収結果	
6	研究顧問	
第 2 章	調査の結果	2
1	公民館の現状について	2
2	公民館職員の意識調査	31
3	利用者の意識調査	39
第 3 章	考察	57
I	公民館の管理・運営に関して	57
II	青森県における公民館事業の状況	64
第 4 章	資料	69
○	調査結果単純集計表	69
○	調査票	91

第1章 調査の概要

1 調査の名称

公民館の役割に関する現状調査

2 調査の趣旨

本調査は、次年度以降のあおもりの未来をつくる人財の育成に関する生涯学習関連施策の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

3 調査対象

母集団 青森県内各市町村教育委員会が所管する公民館及び公民館類似施設の館長（代表者）、職員、利用者

標本数 公民館数 169 館（中央館 39 館、地区館 123 館、公民館類似施設 7 館）

職員数 708 人

利用者数 2,080 人（本館各 20 人、地区館及び公民館類似施設各 10 人）

4 調査方法

各公民館及び公民館類似施設へ調査票を郵送し、同封した返信用封筒により回収する方法で実施した。上記「3 調査対象」のうち、職員については、平成 30 年度公民館調査における職員数の基礎データに基づく必要部数を各施設へ送付した。また、利用者については、中央館に 20 部、地区館及び公民館類似施設には 10 部ずつ送付し、各館の利用者への配布を依頼した。

調査票の印刷・回収、調査結果の集計業務は、業者委託により実施した。

- ・調査業務委託先 株式会社サンブラッソ・エイティープイ
- ・調査票の発送 令和 2 年 1 月 24 日
- ・回答期限 令和 2 年 2 月 14 日

※調査票については、下記からダウンロードすることができます。

http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/aomorimanabi-e_shogai.html

5 回収結果

館長（代表者）対象 有効回答数：128 無効回答数：0

職員対象 有効回答数：449 無効回答数：0

利用者対象 有効回答数：882 無効回答数：0

6 研究顧問

- ・松本 大 氏（弘前大学教育学部 准教授）
- ・生島 美和 氏（弘前学院大学文学部 准教授）

※青森県では「人は青森県にとっての『財（たから）』である」という基本的考え方から、「人」「人材」などを「人財」と表しています。

第2章 調査の結果

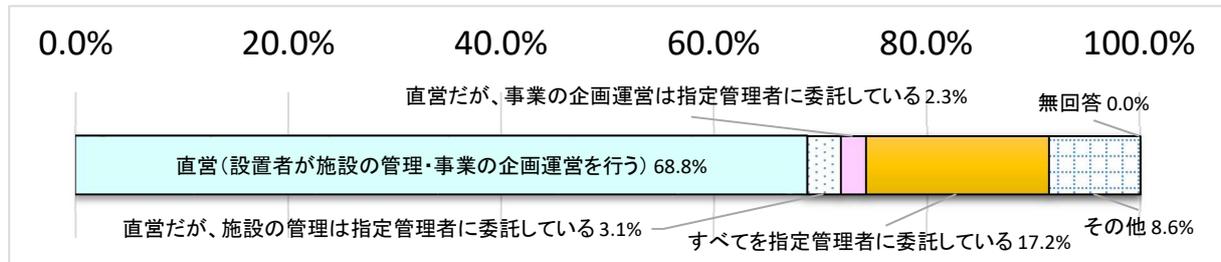
1 公民館の現状について 館長（代表者）宛の調査票の回答の結果

◎結果数値（パーセント＝％）は、少数第2位を四捨五入して少数第1位まで表示しています。
標準の有効回答数はn＝128ですが、質問の分岐により回答者が絞られる場合はnの値が変動します。

問1 管理運営について

(1) 管理運営形態

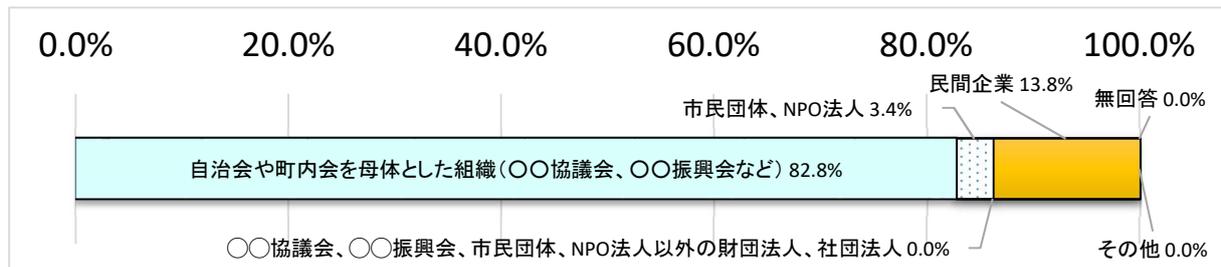
回答数 128



<その他の記述> *ほとんど4ではあるが一部の事業の企画は別である *貸館業務、清掃業務等を民間へ委託 *施設は弘前市（指定管理）にて管理、運営している 公民館は事務所のみ存在している *業務委託（貸館、図書館、清掃等） *戸沢地区内で利用して事業などはありません *町内会 *管理、企画運営は地区、経費の部を市が負担 *直営だが、管理運営は蛸崎地区会が行っている *市の管理施設であり利用は地区住民 *分館長が施設の管理をしている *八戸市教育委員会に所属

(2) 指定管理者の種別

回答数 29



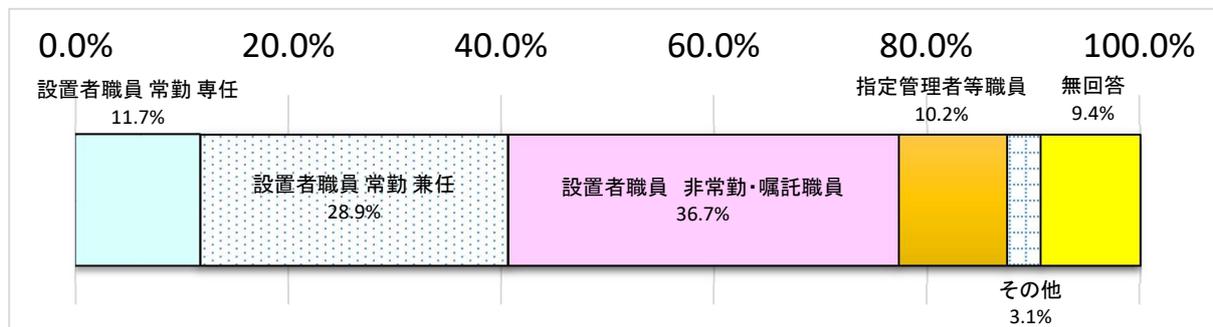
問2 職員体制について

(1) 職員数

回答数 128

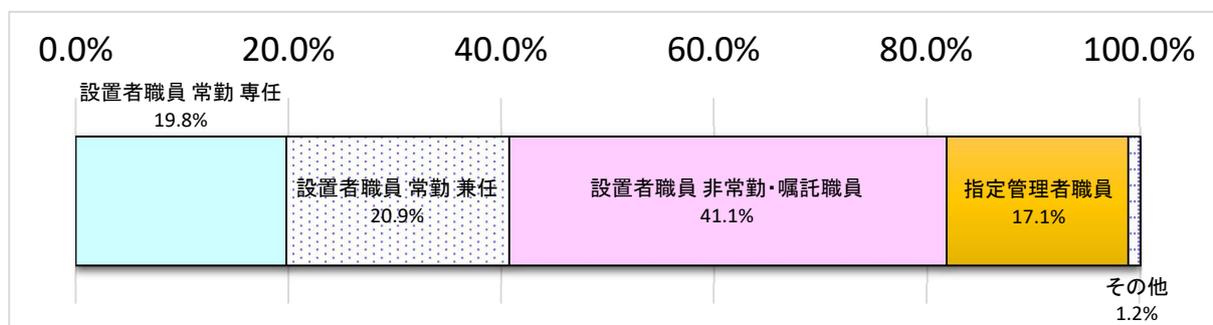
館長

合計 128 人



指導・事業系職員

合計 258 人



庶務・管理系職員

合計 261 人

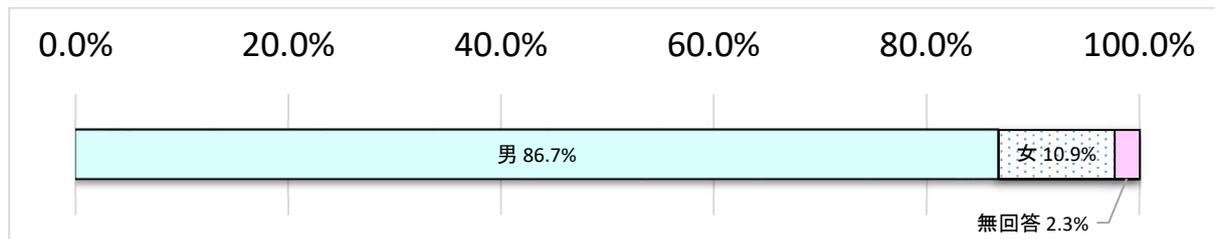


※指導・事業系職員と庶務・管理系職員の人数の合計 (258+261=519 人) は、一部に無回答があったため、(3) の男女の合計人数と異なっている。

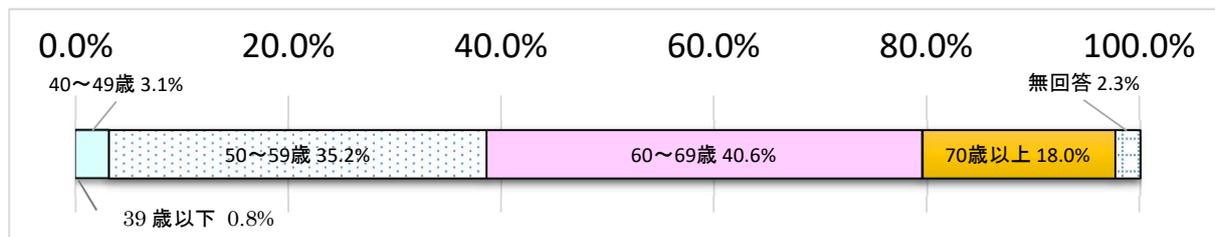
(2) 館長の性別、年齢、在職年数

回答数 128

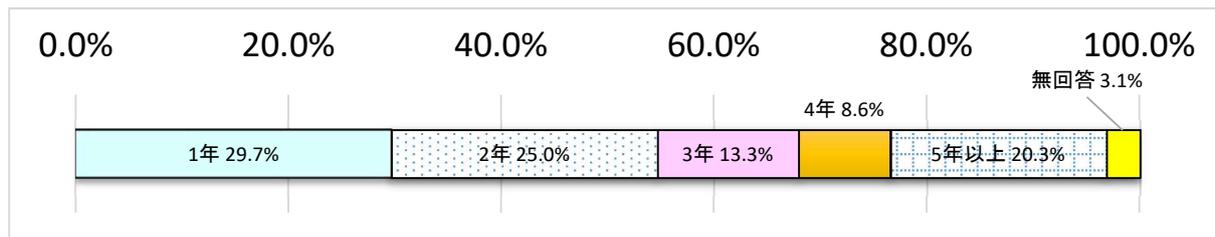
性別



年齢



在職年数

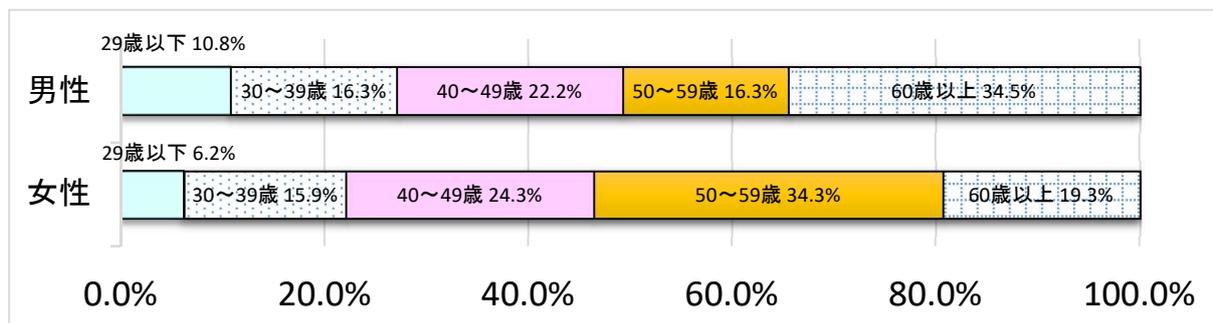


(3) 館長を除く職員の性別、年齢、勤務年数

回答数 128

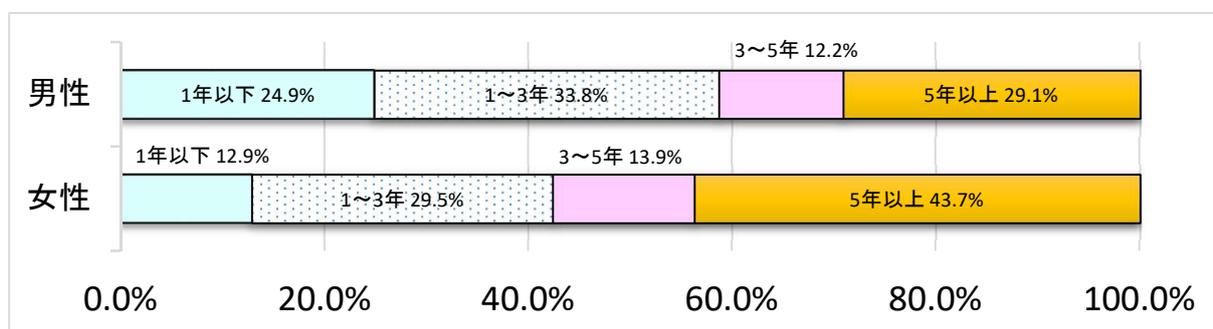
年齢別

合計 男性：203人 女性：321人



勤務年数別

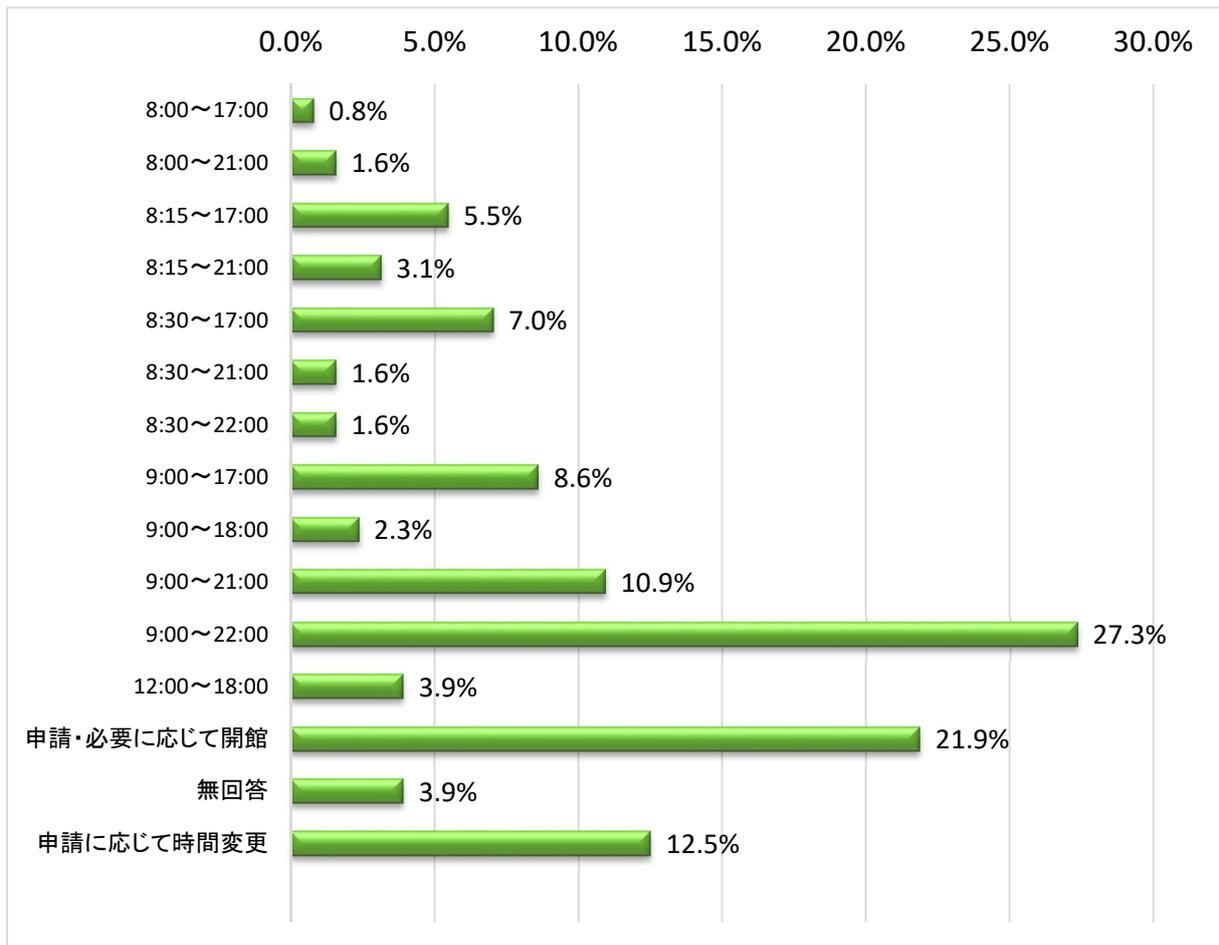
合計 男性：213人 女性：302人



※男性及び女性の職員の合計人数は、一部に無回答があったため、年齢別と勤務年数別とで異なっている。同様に、男性と女性の職員の人数の合計（年齢別：203+321=524人、勤務年数別 213+302=515人）についても、(1)の職員の合計人数と異なっている。

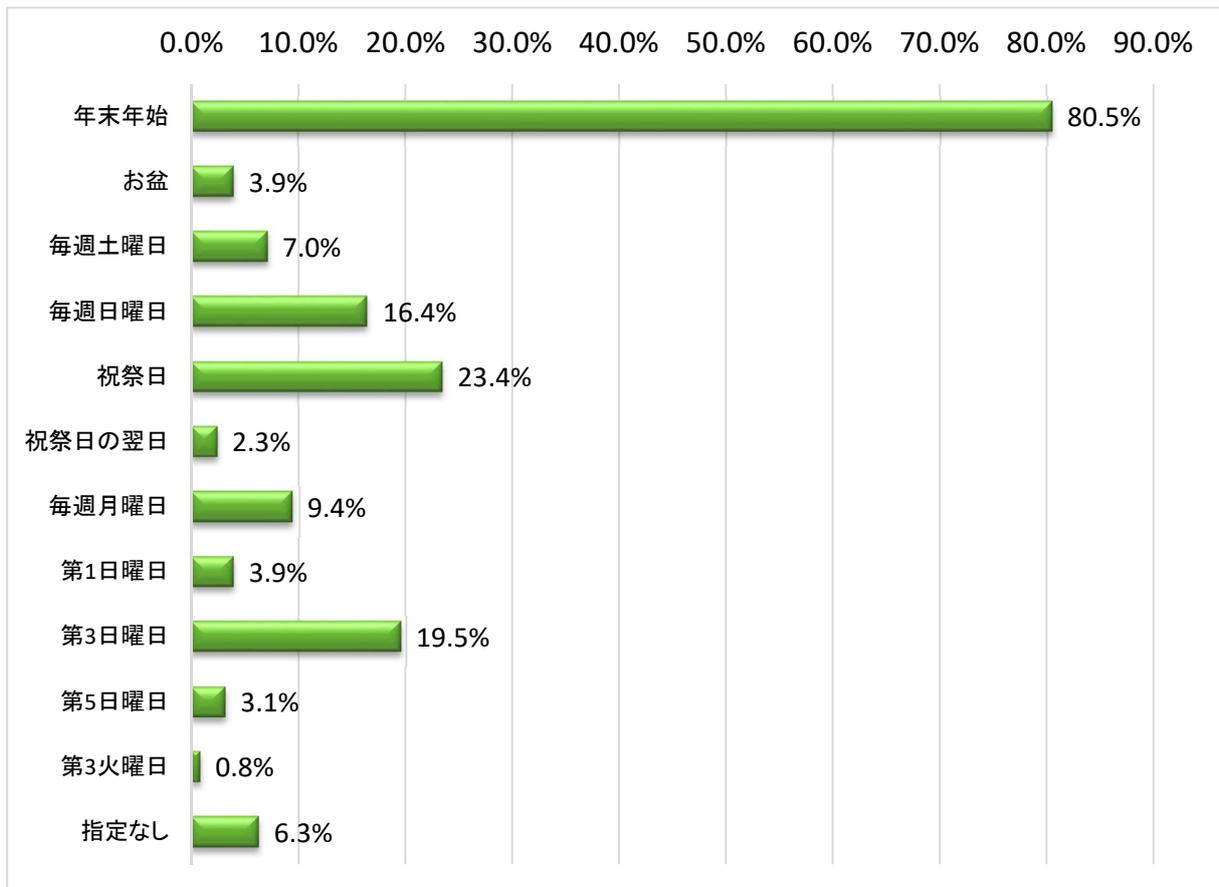
問3 開館時間

回答数 128



問4 休館日

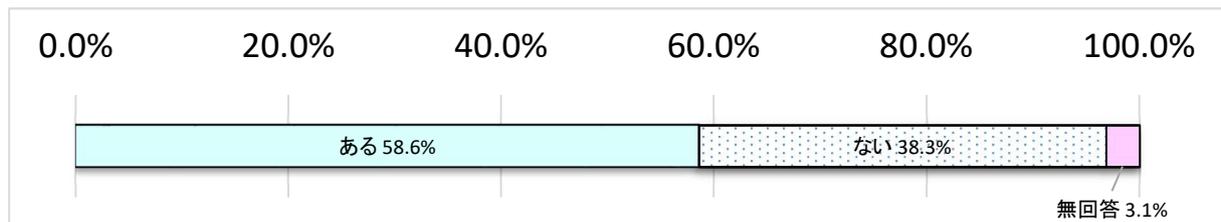
回答数 128 (総数 226) ※複数回答有



問5 運営に対する住民参加について

(1) 公民館運営審議会や公民館運営委員会のような組織

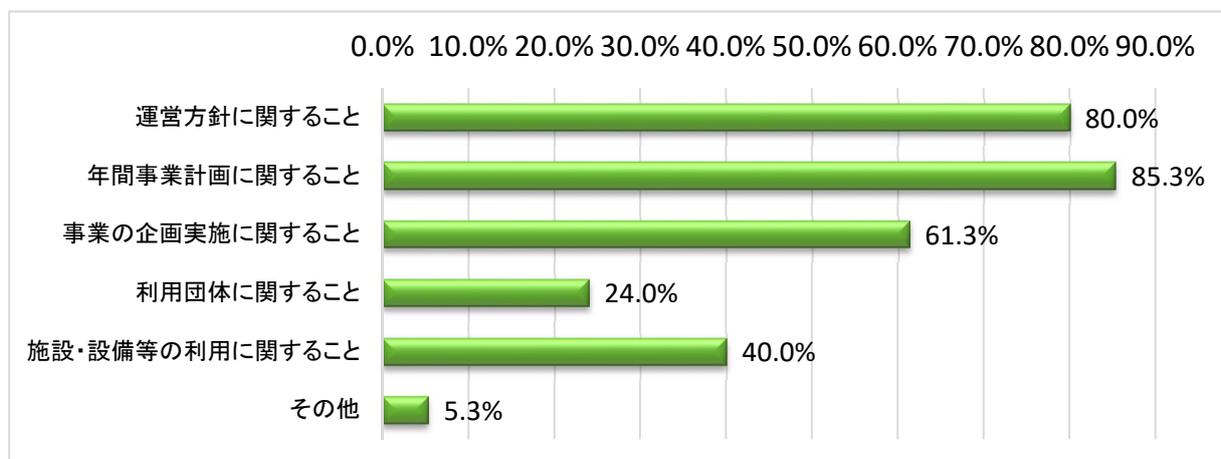
回答数 128



公民館運営審議会などの組織の有無を聞いたところ、「ある」が58.6%、「ない」が38.3%だった。

(2) (1) の組織が協議する内容

回答数 75 (総数 222) ※複数回答有



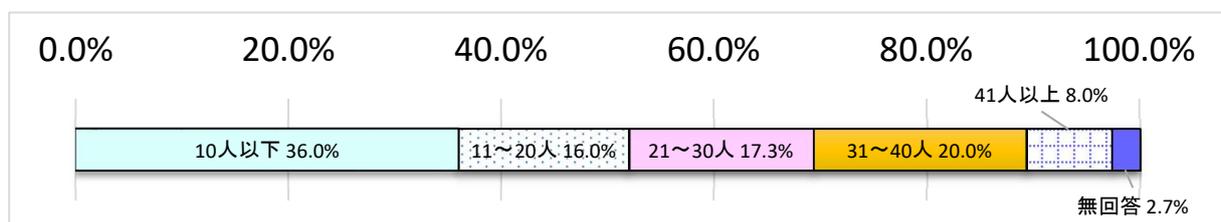
<その他の記述> *協力金の管理、館長の推薦 *非常勤館長の推薦 *除雪助力 *支援、協力(文化祭や芸能発表会)

組織が協議する内容については、「年間事業計画に関すること」が85.3%と最も多く、次いで、「運営方針に関すること」の80.0%だった。

(3) (1) の組織の今年度の構成人数、会議の回数

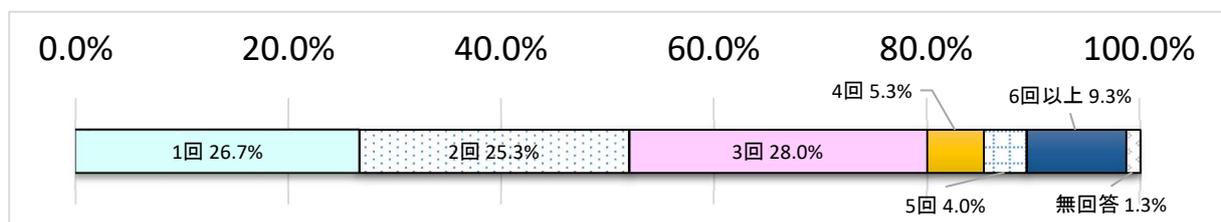
構成人数

回答数 75



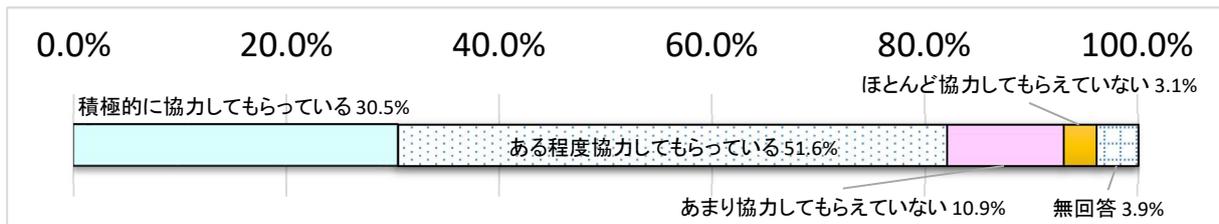
会議の回数

回答数 75



(4) 施設の運営や主催事業に対する住民からの協力

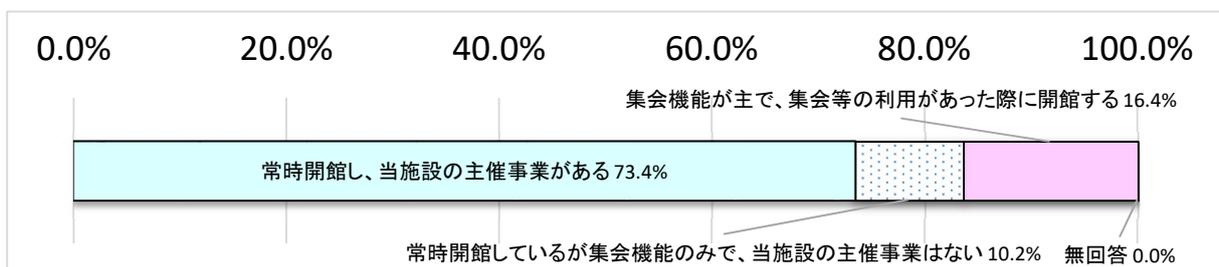
回答数 128



運営や主催事業への住民協力度の問いには、「ある程度協力してもらっている」が51.6%と最も多く、次いで、「積極的に協力してもらっている」の30.5%だった。

問6 運営状況

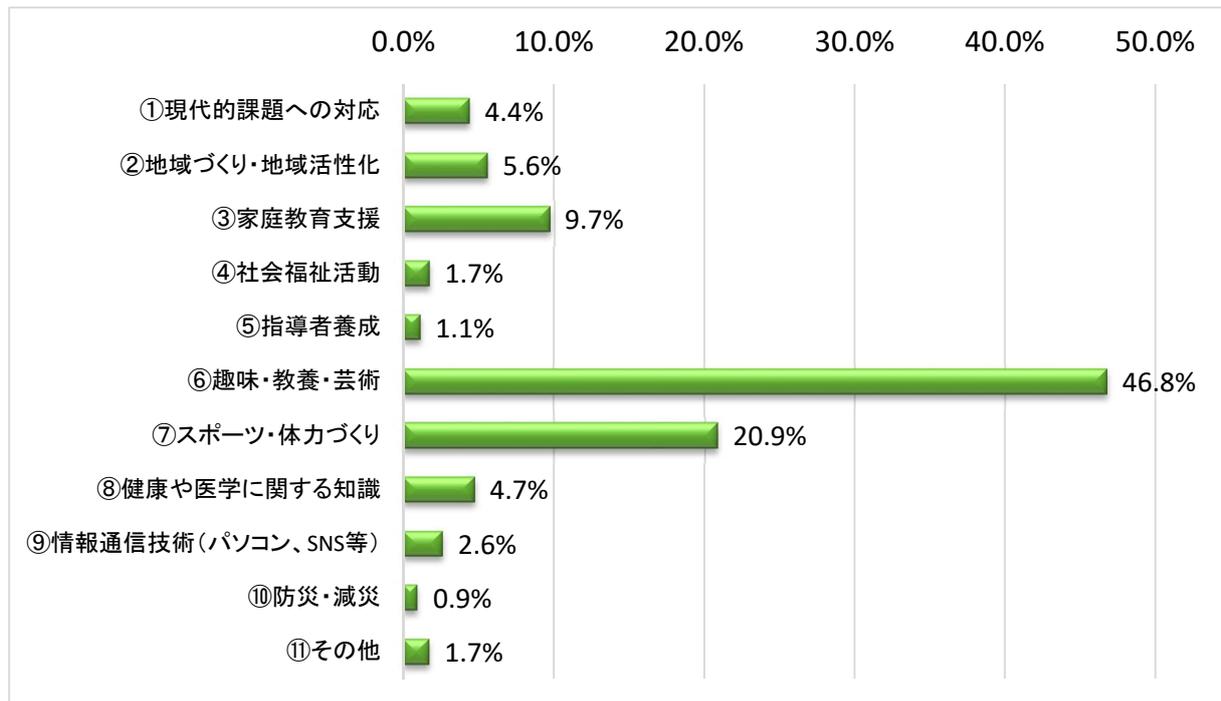
回答数 128



運営状況に係る問いには、「常時開館し、当施設の主催事業がある」という回答が73.4%と過半数を占めた。

問7 今年度に実施した(する)講座やイベントの実施回数

回答数 94 (総回数 5,595) ※複数回答有



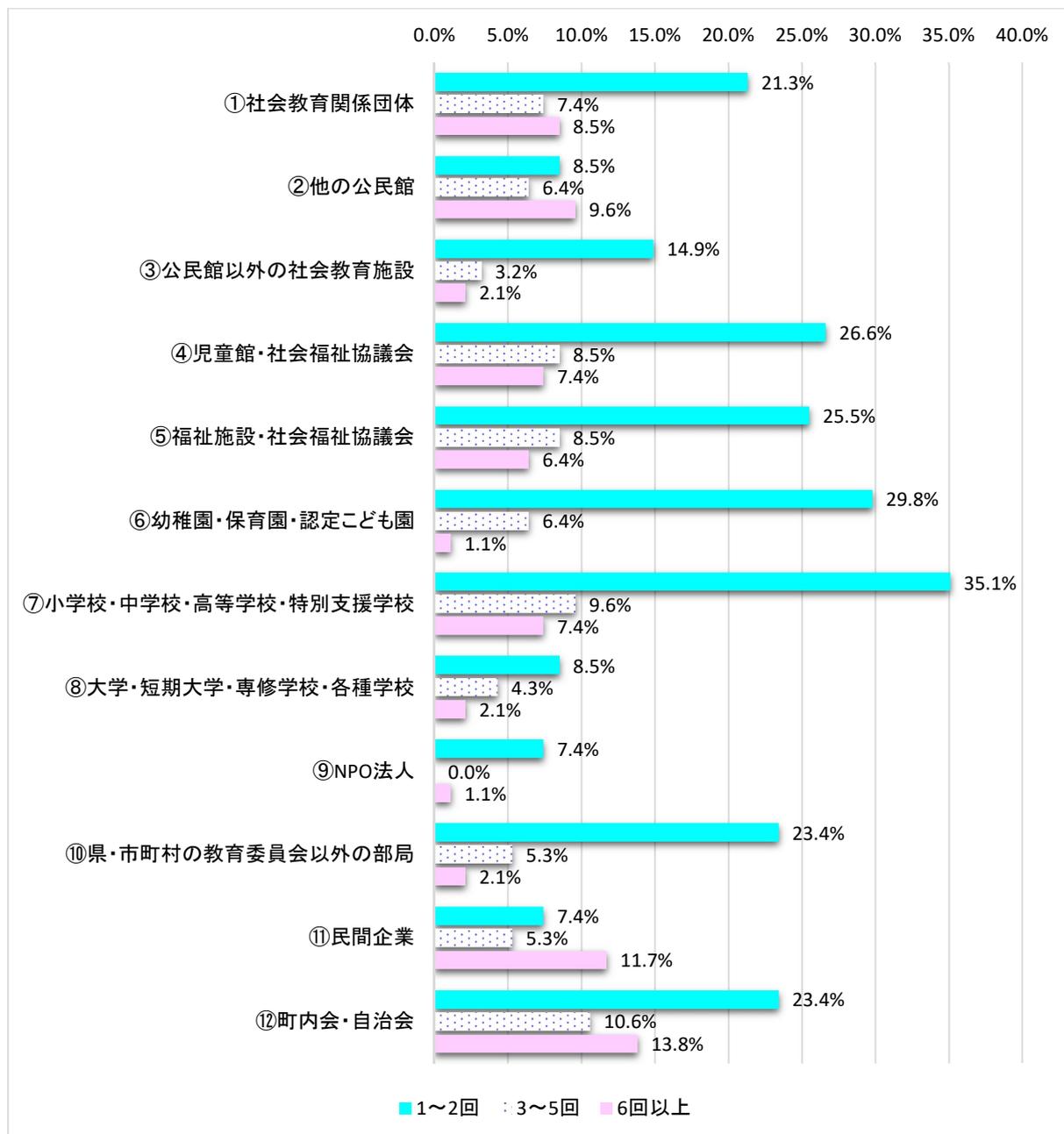
〈②地域づくり・地域活性化に関する具体的な内容〉 *ねぶたまつりに関わる学習と制作 *ワークショップ(まちづくり、ひとづくり、しごとづくり関連) *東部センターまつり 10月26日~27日 当市民センターに利用登録している団体、サークルで構成するまつり実行委員会主催(フリーマーケット、芸能発表会、作品展(洋服・絵・写真・陶器)、食堂) *生活習慣病の予防 *高齢者ドライバーの運転事故の予防 *特殊詐欺の撃退 *地域に伝わる料理の教室 *地域が協力した防災訓練 *地域住民が参加したまつり、体ケア講座、更年期障害、メノポーズってなあに(2回) *食事バランス、あなたにとっての適量を知ろう、地区運動会、地区納涼夏祭り *ウォークラリー *公民館まつり *地区公民館まつり、野沢小唄振付講習会 *野沢地区グラウンド大会 *夏の体験学習 *野沢小学校、野沢公民館祭 *フクロウの住む果樹園 *冬の体験学習 *公民館まつり開催(8/31) 公民館事業作品展、地区住民の作品展、小学校児童作品展、園児作品展および文化団体等の作品展 また、園児による「和太鼓演奏」や「演芸会」を実施 *三世代交流会で「餅つき」「読み聞かせ会」「健康チェック」を実施 *脳をトレーニング *健康教室 *趣味教室 *センターまつりなど、地域の方が参加するイベントの実施 *市民センターまつり(1サークル、団体等の作品展・2サークル、団体等の芸能発表・3体験コーナー、整体、ヨガ、茶道) *津軽森林鉄道の歴史を学び、森林博物館で当時の周辺地域の写真等を見学した *沖館周辺地域の歴史について講演を頂き、その後、周辺の旧跡巡りを行った *市民センターまつり *地域の盆踊りの事前講習 *親子でかかしを製作し、地域のかかしイベントに出品 *地域郷土の理解を深める講座 *「荒川地域をもっと良い街に!」をテーマに、荒川中学校生徒会、荒川中PTA、荒川地域を考える会(地域のリーダー)の三世代で地域課題について話し合い、それぞれの世代で地域貢献できることを発表した。話し合った内容より「地域カルタ」も作成した。 *「子どものために地域ができること」をテーマに、住民と学校の先生を交えたワークショップを開催した *門松づくり *どんと焼き *そば打ち体験 *キッズレーサー体験 *各地区公民館等の講座状況、課題を把握し、活性化に向けて提案をするアドバイザーを地区公民館等へ派遣する事業 *町会、町会公民館を対象に町を花でいっぱいにする活動を実施した *地区文化祭の開催 *公民館まつり(2日間) 1日目: 世代間交流事業「子ども達と体験広場」ソイキャンドル作り、カップ寿し作りと昼食会、あそびとアート体験などを地域全体で交流する 2日目: 「小学生の意見発表と芸能発表会」地域の大人が小学生の意見を聞く。また、芸能発表では、保育園の踊り、小学生のブラスバンド発表、高齢者の交通安全、地域の方々の踊りや三味線などを鑑賞し、交流する。 *地域美化運動(花壇作り) *公民館まつり(保育園児、小学校児童、一般参加の作品展、発表会を開催し、広く公民館活動の認知度を高め、地域力の向上につなげる) *花いっぱい運動 *世代間国際交流事業 *公民館まつり *クリスマス会 *親切かるた大会 *成人高齢者移動教室 *夏休み期間に宿題対策として工作広場を開催。その際、子ども向け以外にも物作りコーナーを数か所設けて、多世代の地域の人たちに参加してもらう。今回は110人が参加。 *11月末に公民館まつりを開催、地域全体の唯一の催事(最大)、作品を含めいろいろな発表会の場を提供 500~600人の参加あり *1月冬休みに三世代交流事業として、餅つき大会を開催 ゲームも加えて今回は120人が参加 *公民館まつり 2日間にわたり催し物等を計画し、地域住民の親睦と交流を図ることを目的としたイベント *男の料理教室 *高齢者教室「シルバー交流会」 *地域住民と教育行政が一体となり、地域の現状と課題について話し合い、解決の糸口を見出す 地域課題解決に向けたグループ討議 *地区内の町内会や団体のリーダーを対象として「地域力向上事業」を実施し、課題解決に向けた話し合いや研修の場を4回行った *花だんコンクール、コミュニティ講座 *花いっぱい運動 *ふれあい体験(餅つき、まゆ玉作り) *地区館祭 *地域行事支援(自治会主催敬老会支援) *市民大学 公開講座、ゼミナール *地域ふれあい学級(新田地区) *分館地域づくり講座 *つどいの場を創る「館長になる塾」 *地域に伝わる盆踊り「おしまこ」の講習を通して、地域の伝統を守り継承していく。地域交流の場ともなっている。 *盆踊り教室×3 *正調八戸小唄(踊り)×6 *公民館文化祭×1 *クラブ芸能発表会×1 *盆踊り教室×3 *稲わら細工教室 *ふるさと柏崎についての歴史講座 *「柏崎音頭」講習会 *法霊神社お神楽鑑賞会(いずれも、聞いたり、体験して郷土愛につなげ、地域づくりを目指す) *新田城まつり関係 *まちづくりゼミナール(地域団体、中学生) *公民館まつりを実施した(地域の諸団体や有志の方々、中学生ボランティアの協力で作品展、模擬店等を行った) *40歳未満の未婚男女を対象とした「青年が学級」15回 *男性の新しい交流を広げる「男の料理」2回 *三八城にここ教室とワンコイン料理教室(地域住民の生涯教育の一助と連帯感の助長) *公民館まつりや観光まつりに向けての練習 *文化祭 *芸能発表会 *豊崎町新年会 *瑞豊館文化祭 *七崎音頭講習会 *豊崎町歴史講座 *国の重要無形民族文化財鑑賞会 *瑞豊館創立40周年記念式典祝賀会 *三戸町成人式 *青少年健全育成三戸町民大会における、子ども食堂の運営などで活躍されている山屋理恵氏の講演

〈①その他の記述〉 *市民センターまつり *小学生職業体験事業 料理全1回×3 税金×1 *子育て支援、交通安全教室
*児童の遊び *高齢者教室 *学社連携事業として小学校でりんご探検×4 お米探検×4 *中学校で陶芸教室、郷土料理教室
*文化祭 *子ども健全育成事業 *国内交流、子ども会育成 *映画教室 *公民館まつり *婦人学級（婦人学級7学級は通年）
*八千種大学14回、にこにこ教室12回 *料理教室等、講演会、コンサート（地元の人） *救命救急、移動学習 *子どもの体
験活動 *文化祭

主催事業として実施した（する）講座やイベントの実施回数については、「趣味・教養・芸術」が2,616回（46.8%）と最も多く、次いで、「スポーツ・体力づくり」の1,167回（20.9%）だった。

問8 今年度に実施した(する)事業における関係機関・団体との連携・協力の回数

回答数 94



〈⑦小学校・中学校・高等学校との連携・協力の具体的な内容〉 *開館50周年事業への近隣小学校の協力 *「公民館まつり」への手工芸品の展示依頼・小学生対象の工作教室 *中学生参加の防火訓練 *小学校児童の絵画等作品の借用 *公民館まつりにおいて、児童の作品展示 *戸山地区児童生徒の安全を守る会(年1回小中学校にて実施、町内会長、警察官、地区民生委員、福祉協議会長、交通安全協会、小中学校長出席) *古川市民センターまつり *古小まつり *古川地域ねぶた 防災訓練 *相馬地区文化祭 *地域課題について話し合う講座で、荒川中学校と連携、協力した。この講座が中学校の研究授業に取り入れられた。 *文化まつりでの作品展示や舞台発表等 *小中学校俳句大会 *公民館まつり *下北美術展 *地域の指導員を派遣し、クラブ活動や総合学習の時間において、郷土の伝統工芸、芸能を伝承する事業を実施している *小学生との連携、協力 *PTAバザーの時、がん検診の受診率を上げるために、コーナーを設置し、保健師さんや町会の保健衛生の方々の協力も得て、体力測定などをする。卒業生を送る会で読み聞かせをする。小学生と地域の人と一緒にじゃがいもの植え付け、収穫をする。公民館まつりに小学生の意見を発表してもらう。 *東部地区文化祭 小・中学校の児童・生徒の書道・絵画を展示したり、ステージ発表をしてもらう *子どもの祭典 *就学前の子どもや小学生を対象にした行事に中学校の生徒がボランティアとして手伝う *読み聞かせ、公民館まつり等 *かきぞめ大会での作品募集、とりまとめ *公民館まつりにおける小中学生の意見発表および芸能発表等、また昔遊びの伝承教室 *学社連携事業として、小3対象にりんご園地での耕作収穫地検4回、小5対象に校内でバケツに米栽培4回、命の授業として保健師に小3へ1回、入学前保護者説明会時に子どもの親の心構え等の授業1回、今年度より小6対象に和菓子作り授業を1回実施予定 中1対象に助産婦による命の授業1回 体育の授業でユニカールを1回 中2対象に郷土料理教室1回 中3対象に陶芸教室1回実施等 *公民館まつりにおける意見発表、器楽 *合唱の発表、作品展示、ねまり相撲、親切かるた大会等 *学社融合事業 第二中学校統合津軽 三省小学校 読み聞かせ、歌唱指導 *地区の5年生が公民館で行う宿泊学習の実施内容に、学校のアドバイスを反映して企画している *小学校との運動会、雪上運動会の開催 *地域各種団体への後援事業 *地区、小学校合同運動会 *事業のチラシ、申込書の配布、とりまとめ協力

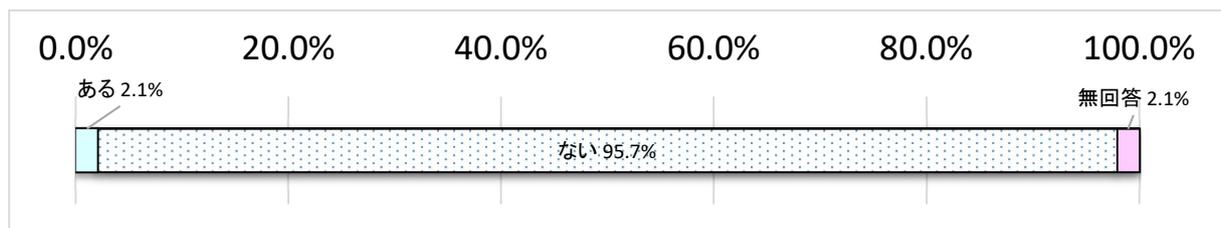
*学校施設の利用 *高校生ボランティア *学校の統合における協議の他、宿泊研修など *青少年国内交流事業 *十代の寺子屋 *村民文化祭の時、小学生全員参加の発表会実施 *芸術鑑賞会に、村民および小学生全員対象としている *小学3年生を対象に「町の名人に学ぶ」事業として、公民館で活動するサークルが学校へ出向き、サークル活動（ヨガ、水墨画、日本舞踏など）を体験してもらう *芸術鑑賞会の実施 *村民文化祭において、小、中、高校生に参加協力してもらい、音楽発表会を開催している *放課後教室 *児童対象に社会教育映画の出前上映 *地区館祭等作品出展 *当地区の高校演劇連盟と連携し、演劇部員が実際にホールの舞台、音響、照明機材を使用して舞台空間を創り上げていくための基礎と専門の技術を身につけるため行う実践講座 *水汲み体験、昔の遊び体験 *中学生のボランティア（茶屋や食堂の手伝い等） *柏崎小学校に出向き「夏休み子ども講座」と題して、音読や読み聞かせ等を行った *小1昔の遊び 小2大館カルタ 小3大館の昔話、大館を知る、公民館体験 小4防災教室 小5サケマスふ化場見学 小6新井田の歴史 *読み聞かせの活動など *民館まつりの時、小学校は作品展で中学校はボランティアで協力してもらっている *小学生を対象とした夏休み、冬休み中の「小学生の自習室」 *中学生の職場体験、文化祭ボランティアの受け入れ *高等学校音楽科の生徒によるコンサート *2校の小学校へ出前講座（締め飾り教室） *小学校4年生と高齢者との交流会 *公民館まつりへの作品展（保、小）、公民館まつり運営ボランティア（中） *小学校対応講座への支援（バルーン教室、サマーチャレンジ、流しそうめん etc） *公民館まつり等への協力 *健康まつりの参加（作品提供）

実施した（する）事業において、関係機関・団体との連携・協力の回数を聞いたところ、「小学校・中学校・高等学校・特別支援学校」の「1～2回」（35.1%）が最も多く、次いで、「幼稚園・保育園・認定こども園」の「1～2回」（29.8%）だった。

問9 障害者の支援について

（1）障害者の支援に関する取組

回答数 94



障害者支援に関する主催事業の有無を聞いたところ、「ない」という回答が95.7%と大多数を占めた。

（2）今年度実施した（する）事業

<障害者を対象とした文化・体育・スポーツ等の事業・イベント>

回答数 3

●事業名：はまなす青年教室

参加者の障害種別：知的
 障害者への配慮：サポーター配置
 参加対象：成人
 実施回数：15回

●事業名：みちのく青年教室

参加者の障害種別：聴覚
 障害者への配慮：手話通訳
 参加対象：成人
 実施回数：5回

●事業名：ピュアフレンズ（知的障がいがある成人の生涯学習スクール）

参加者の障害種別：知的
 障害者への配慮：ふりがなをつけて分かりやすい資料とし、常にボランティアがそばにいるよう配慮した
 参加対象：成人
 実施回数：7回

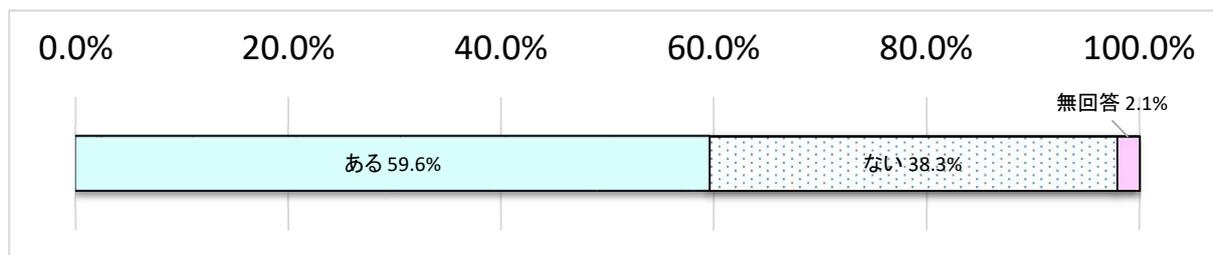
<障害者への理解促進・啓発を図る事業>

回答数 0

回答なし

問10 主催事業における、他世代が交流できる取組

回答数 94



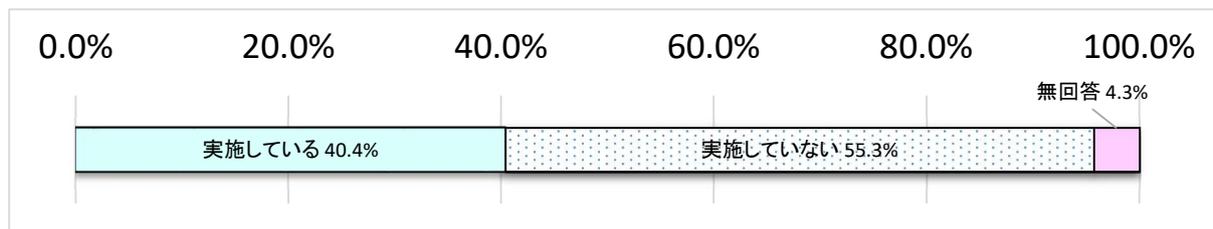
〈具体的な取組〉 *市民センターまつり *「公民館まつり」での地域の各種団体のアウトリーチ活動 *東部市民センターまつり *親子や家族で参加できる「そば打ち体験」 *異世代ユニカール教室 *デイキャンプおにぎり作り *親子クリスマス会 *地区公民館まつり *野沢地域住民グラウンドゴルフ大会 *野沢小学校、野沢公民館祭 *公民館まつり *三世代交流会 *5歳以上を対象とした「三世代交流バウンドテニス」を実施 *エアロビクス *元気あつぶる体操 *市民センターまつり *三世代交流もちつき大会 *市民センターのまつりなど *子どもフェスティバル *総合文化祭 *公民館まつり *文化まつり *門松づくり *どんと焼き *そば打ち体験 *キッズレーサー体験 *学区まなびい講座 *小学生から高齢者を対象としたレクリエーション大会を毎年実施している *児童と高齢者の世代間交流 *児童館、老人クラブ、社協とのグラウンドゴルフ大会の開催 *子どもの祭典：地域の子どもたちを集め、中学生のボランティアを中心に、大人も手伝ってゲームなどで楽しませる *公民館まつり *花いっぱい運動 *グラウンドゴルフ *餅つき大会、公民館まつり *世代間交流事業 地域児童、高齢者、町会役員、留学生他参加 グラウンドゴルフ大会、納涼祭等 *地区社協より補助をいただき、小学・中学対象（園児も含む）保護者世代、高齢者世代による新春餅つき大会を実施している *同じく社協の補助により、児童センター、高齢者によるユニカール大会の実施 *小1、2児童と高齢者による昔の遊びを開催、昔の遊びは小学校の授業内に実施 *軽スポーツ大会、芸能文化祭、運動会等 *イワナつかみ、および高齢者昼食会 ※小学生がイワナをつかみ、親などが調理して高齢者と一緒に食べる *宿泊学習で調理（婦人会が小学生に指導しながら、一緒に夕食を作る） *冬まつりの餅つきなどで、子どもたちと親世代、高齢者との交流を図る *新年会、雪まつり、敬老会 *児童と高齢者がグラウンドゴルフで交流 *子どもフェスティバル *雪と子どもたち *十代の寺子屋 *親子講座（ピザ作り、アイシングクッキー、目の体操） *弦楽アンサンブル *村民文化祭、民俗芸能発表会 *地域ふれあい体験（餅つき会、まゆ玉作り）老人～保育園児 *公民館まつり *三世代交流会紙芝居や餅つきなど *うみねこ演劇塾（演劇実践講座）中学生以下のジュニア塾と大人のシニア塾で演劇体験をし、成果として舞台発表をする *「三世代餅つき教室」で子ども、親、祖父母が餅つき体験をする *文化祭 *餅つき大会 *公民館まつりで中学生ボランティアが地域の方の手伝いをしている *気軽に抹茶を楽しむ *はちのへ郷土カレンダー *親子で菱刺し *親子でパレンティン *小学4年生と高齢者との交流会 *公民館まつりで中学生ボランティアが地域の方の手伝いをしている *卓球教室 *和菓子作り *ベタンク教室 *かるた大会 *公民館まつり *芸能発表会 *郷土カルタ、餅つきまつり *親子料理教室 *クリスマス会 *三世代交流まゆ玉作り（幼児、児童、親、老人クラブ） *親子で参加する講座 *神楽養成講座

多世代交流に関する主催事業の有無を聞いたところ、「ある」が59.6%、「ない」が38.3%だった。

問 1 1 アウトリーチ活動について

(1) 館内で実施するのではなく、他施設に移動して実施する「移動公民館」のような取組

回答数 94



「移動公民館」のようなアウトリーチ活動の有無について聞いたところ、「実施していない」が 55.3%、「実施している」が 40.4%だった。

(2) 今年度実施した(する)事業の取組内容及び実施場所

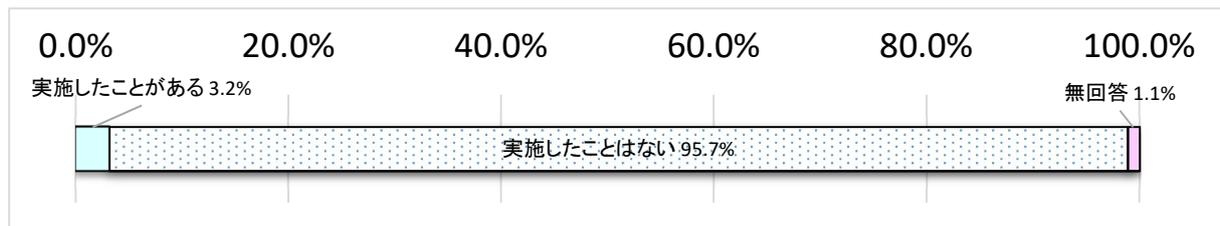
回答数 38 (総数 74) ※複数選択有

- *移動学習／他市町村の公共施設や会社、工場等の見学
- *長寿大学移動学習会(花壇見学ツアー)／青森市花壇設置場所
- *キッズダンス／浪岡北中野保育園
- *科学に親しむ(冬休み)／吉野田児童館
- *地域力アップ講座(津軽森林鉄道を学び森林博物館を見学)／森林博物館
- *地域力アップ講座(地域の旧跡巡りと北のまほろば見学)／北のまほろば歴史館
- *高齢者健康体操／つがる市稲垣体育館
- *スキー・スノーボード講習会／青森スプリング・スキーリゾート
- *高齢者教室移動教室／堀越城跡ガーデン大きな木の下で
- *ユニカール／岩木 B&G 海洋センター
- *高齢者の移動学習／診察研修(県内)
- *教室生と老人クラブ合同の研修会／桜温泉大広間
- *原燃について学ぶ／六ヶ所原燃 PR センター
- *高齢者教室／造り酒屋見学(黒石)
- *高齢者教室(移動教室)／堀越城址
- *成人高齢者移動教室(振り込み詐欺防止講座、カラオケ交流等)／近隣温泉施設(つがる地球村等)
- *ひらかわの寺子屋(屋外散策)／鶴田町
- *弘前市禅林街寺町さんぽ／弘前市茂森町
- *青少年映画教室／泊小学校
- *書初め大会／川内公民館
- *郷土史／脇野沢公民館
- *文化教室／脇野沢公民館
- *八千草大学／アグリパークおおさわ
- *職場体験／八戸海上保安部
- *健康教室／町内生活館
- *移動教室／六ヶ所村
- *ゲーム遊び活動／大館児童館
- *手まりを作る／花生生活館
- *工場見学／上北農産、桃川酒造(おいらせ町)
- *トークショーと巨木めぐり／階上町
- *移動学習／五所川原市(立佞武多の館、金木観光物産館、旧津島家新座敷)
- *優良公民館見学会／岩手県志波町公民館
- *バス遠足 三八城 にこにこ教室閉講式／ごのへ郷土館他
- *パークゴルフ教室／おおのキャンパス
- *移動学習 3.11 被災地視察／岩手県野田村
- *高齢者教室「移動教室」／岩手県立博物館
- *レクダンス、舞踏教室、寄せ植え教室、健康体操／白浜生活センター
- *移動学習／鹿角市先人顕彰館、大湯ストーンサークル館
- *歴史移動教室／おいらせ町、十和田市方面
- *高齢者移動教室／十和田市方面
- *企業見学会／キッコーマン、桃川(今年度)
- *高齢者料理教室とストレッチ／滝谷集会所
- *浪岡地区公民館ユニカール交流会／浪岡中央公民館
- *科学に親しむ(夏休み)／吉野田児童館
- *野沢村の歴史 縄文時代を見つけて
- *水中ウォーキング／星と森のロマンピア温水プール
- *グラウンドゴルフ／岩木 B&G 海洋センター
- *教室生の移動見学／大鰐町
- *親子料理教室／宮川交流センター
- *殿さまの暮らし(弘前の歴史)／弘前市立博物館
- *家庭教育学級(移動教室)／弘前公園
- *女性教室(移動教室)／猿賀神社、盛美園
- *ひらかわの寺子屋(コンサート)／平川市生涯学習センター
- *親子でピザ作り／藤崎町西豊田
- *公民館まつり／川内公民館
- *成人教育事業、於法岳登山
- *健康教室／脇野沢公民館
- *八千草大学／三沢航空科学館、鯉艸郷
- *野草観察教室／種差海岸遊歩道
- *明治の芝居小屋で芝居を楽しもう／秋田県小坂町「康楽館」
- *ウォーキング教室／東北町(小川原湖)
- *移動教室／十和田、おいらせ町の見学(今年、毎年変わります)
- *正月飾作成／松館生活館
- *観劇／康楽館(秋田)
- *屋形船への乗船／新井田川(地域の川)
- *南部鉄器館見学／盛岡市
- *移動教室(バス)／上北農産加工、奥入瀬森のホテル
- *津軽の文化に触れる／五所川原、田舎館
- *高齢者教室「移動教室」／八戸市南郷民族資料館
- *アクアビクス／パーデパークふくち
- *パークゴルフ教室／岩手県洋野町おおのパークゴルフ場
- *女性学級／地域の集会所
- *巨木見学会／七戸方面
- *高齢者料理教室とストレッチ／下七崎生活館

問12 社会人のキャリア形成を支援する取組について

(1) 若者・女性の就業や起業に向けた学び直しに関連する講座の実施

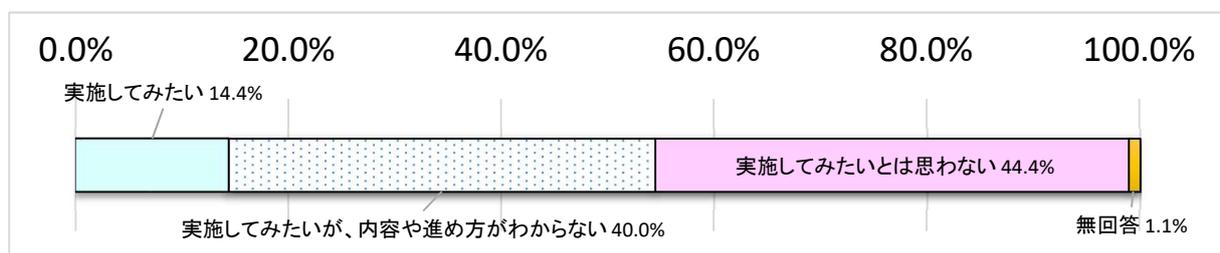
回答数 94



若者・女性の就業や起業に向けた学び直しに関わる講座の実施の有無を聞いたところ、「実施したことはない」という回答が95.7%と大多数を占めた。

(2) 今後、実施してみたいと思うか

回答数 90



前問において、「実施したことはない」と回答された方に、今後実施してみたいか聞いたところ、「実施してみたいとは思わない」が44.4%と最も多く、次いで、「実施してみたいが、内容や進め方がわからない」の40.0%だった。

問 1 3 研修・講座修了者への手立てについて

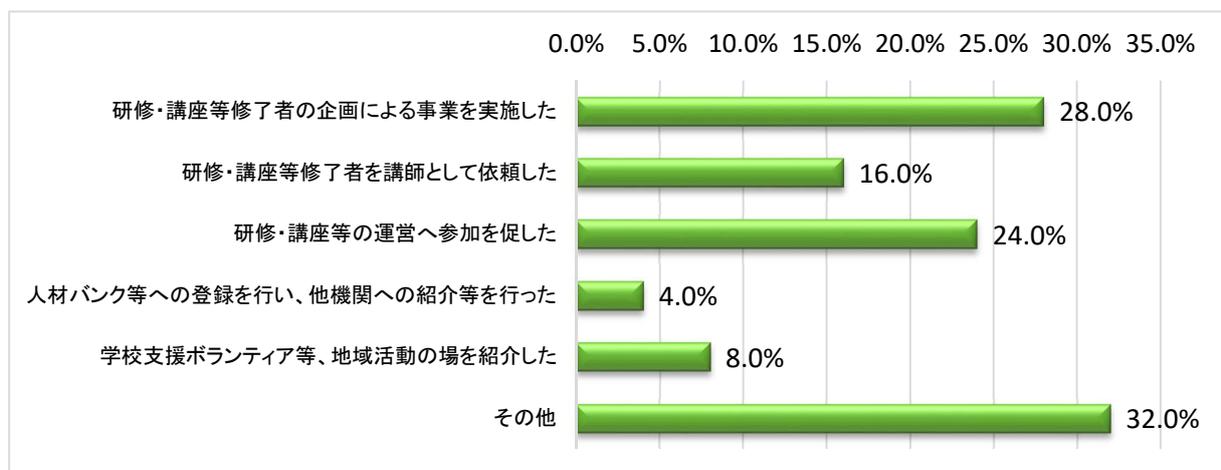
(1) 研修・講座修了者に対する、学習成果等を活用できる場の設定や機会の提供 回答数 94



主催した研修・講座修了者に対し、学習成果等を活用できる場の設定や機会の提供を行っているか聞いたところ、「行っていない」が68.1%、「行っている」が26.6%だった。

(2) (1) の具体的な手立て

回答数 25 (総数 28) ※複数回答有



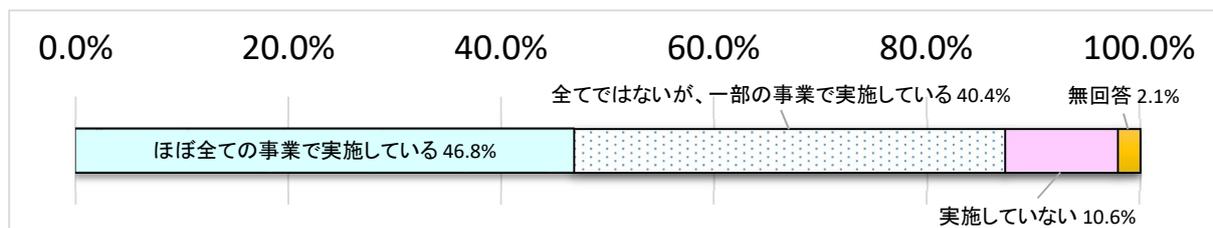
〈その他の記述〉 *当センター登録サークルへ入会、センターまつり芸能発表会 *市民センターまつり *古川市民センターまつりでの作品展示、芸能発表の場を紹介した *講座修了者により組織された文化サークルによる「文化センターフェスティバル」を実施。市民に活動を紹介したり、ミニ体験会を実施 *公民館文化祭や芸能発表会で学習成果を発表させた *公民館まつりで紹介している *講座終了後、健康マージャン愛好会が設立された *文化祭時に受講者の作品を展示

前問において、「行っている」と回答された方に、どのような設定や機会を提供したか聞いたところ、「研修・講座等修了者の企画による事業を実施した」が28.0%と最も多く、次いで、「研修・講座等の運営へ参加を促した」の24.0%だった。

問14 事業評価について

(1) 主催事業後の事業評価

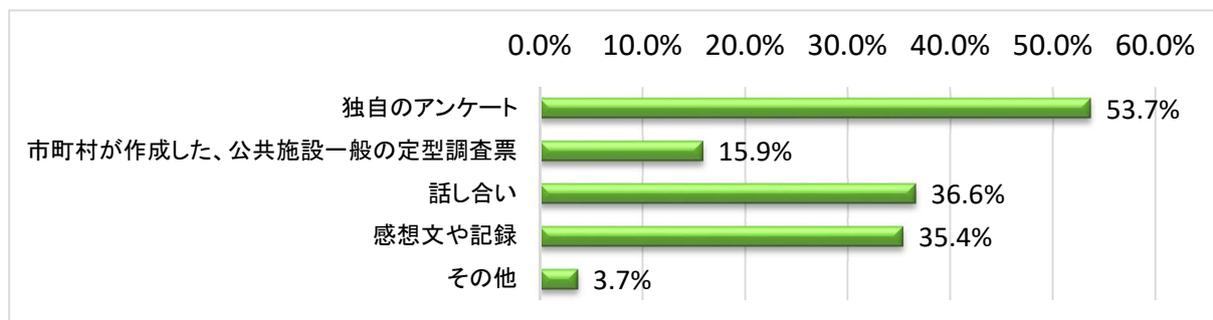
回答数 94



主催事業終了後の事業評価の実施の有無を聞いたところ、「ほぼ全ての事業で実施している」が46.8%と最も多く、次いで、「全てではないが、一部の事業で実施している」の40.4%だった。

(2) 評価方法

回答数 82 (総数 119) ※複数回答有

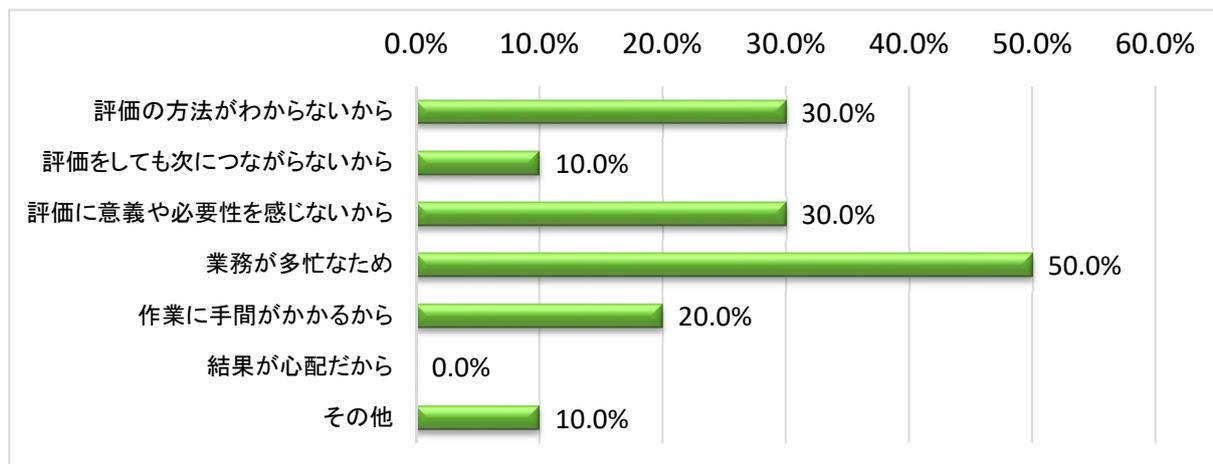


<その他の記述> *法令に基づく点検と評価をしている

主催事業終了後の評価方法について聞いたところ、「独自のアンケート」という回答が53.7%と最も多かった。

(3) 評価を実施していない理由

回答数 10 (総数 15) ※複数回答有

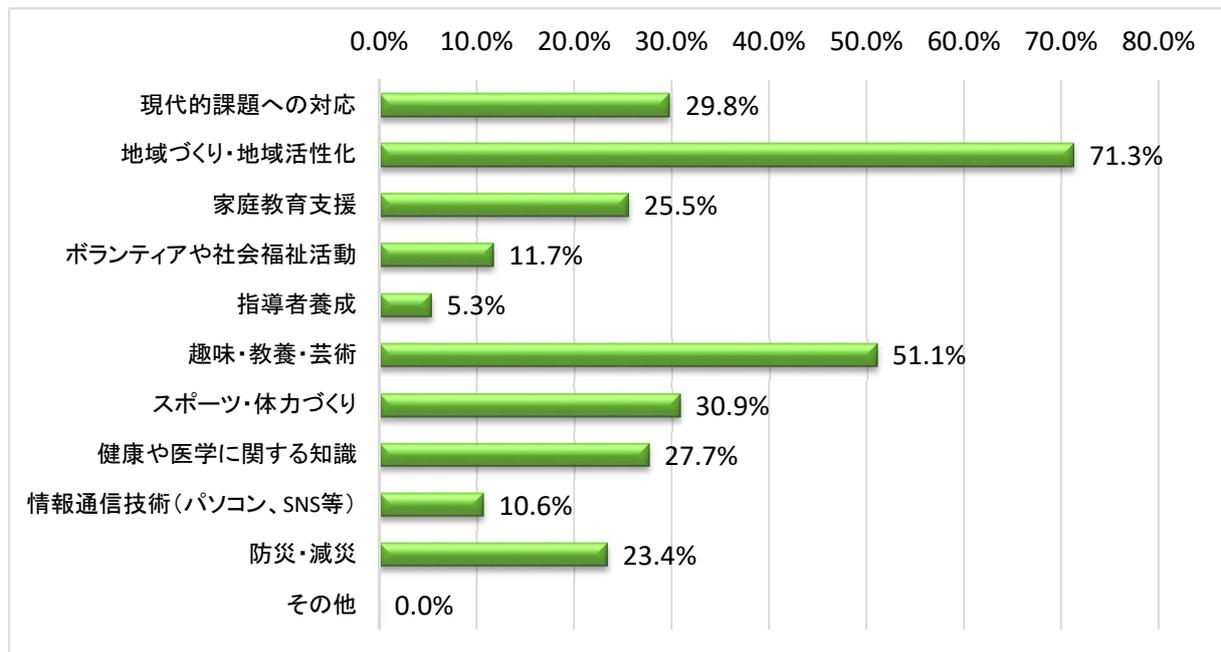


<その他の記述> *参加の様子を担当者が把握し、次年度に生かしているから

前々問で、「評価を実施していない」と回答された方に、その理由について聞いたところ、「業務が多忙なため」という回答が50.0%と最も多かった。

問 15 主催事業において、今後重要と思われる講座やイベント

回答数 94 (総数 270) ※複数回答有

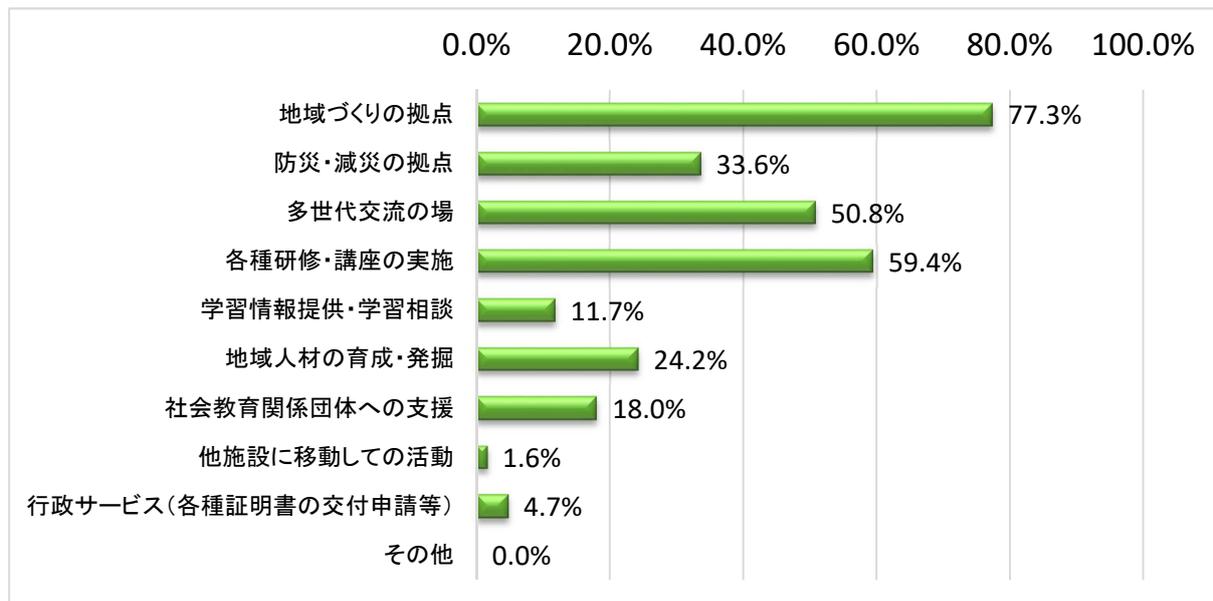


主催事業において、今後重要だと思われる講座やイベントについて聞いたところ、「地域づくり・地域活性化」が71.3%と最も多く、次いで、「趣味・教養・芸術」の51.1%だった。

問 1 6

(1) 公民館が住民から期待されている事項

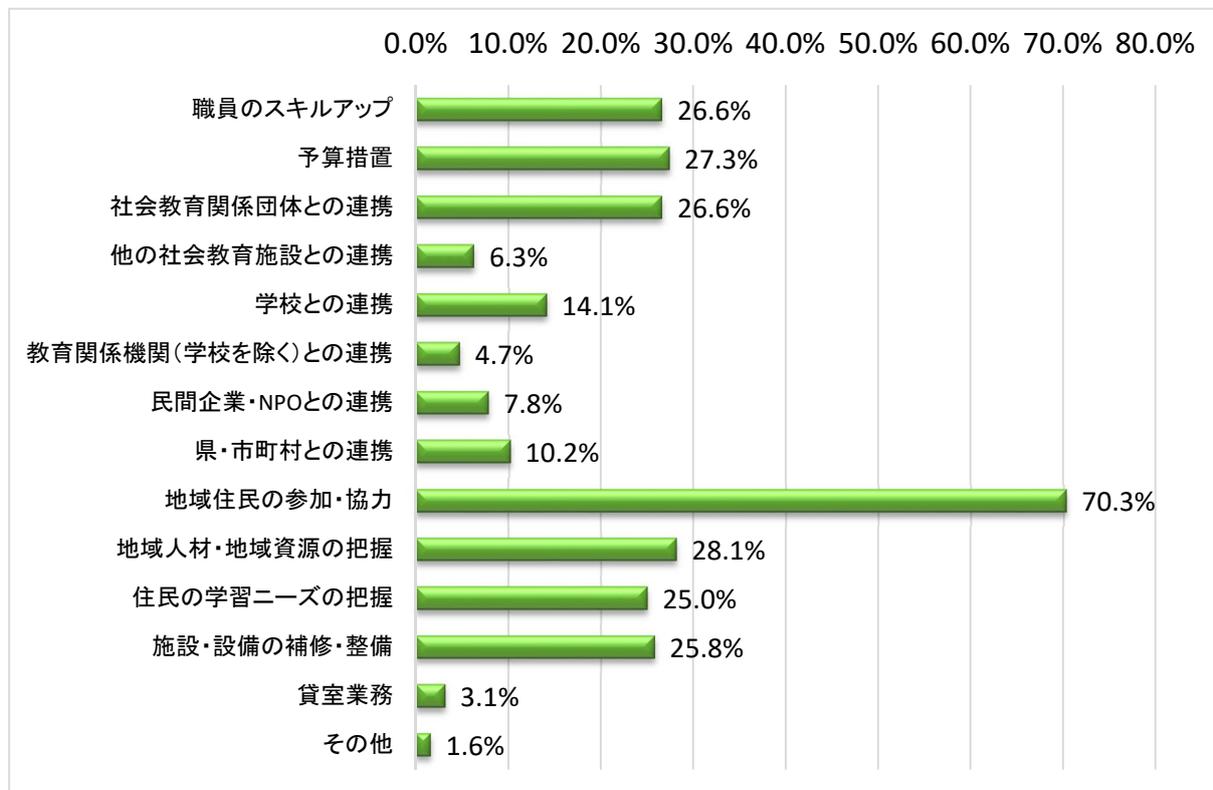
回答数 128 (総数 360) ※複数回答有



住民から期待されていることは何か聞いたところ、「地域づくりの拠点」が77.3%と最も多く、次いで、「各種研修・講座の実施」の59.4%だった。

(2) (1) の取組を実施するために必要なこと

回答数 128 (総数 355) ※複数回答有



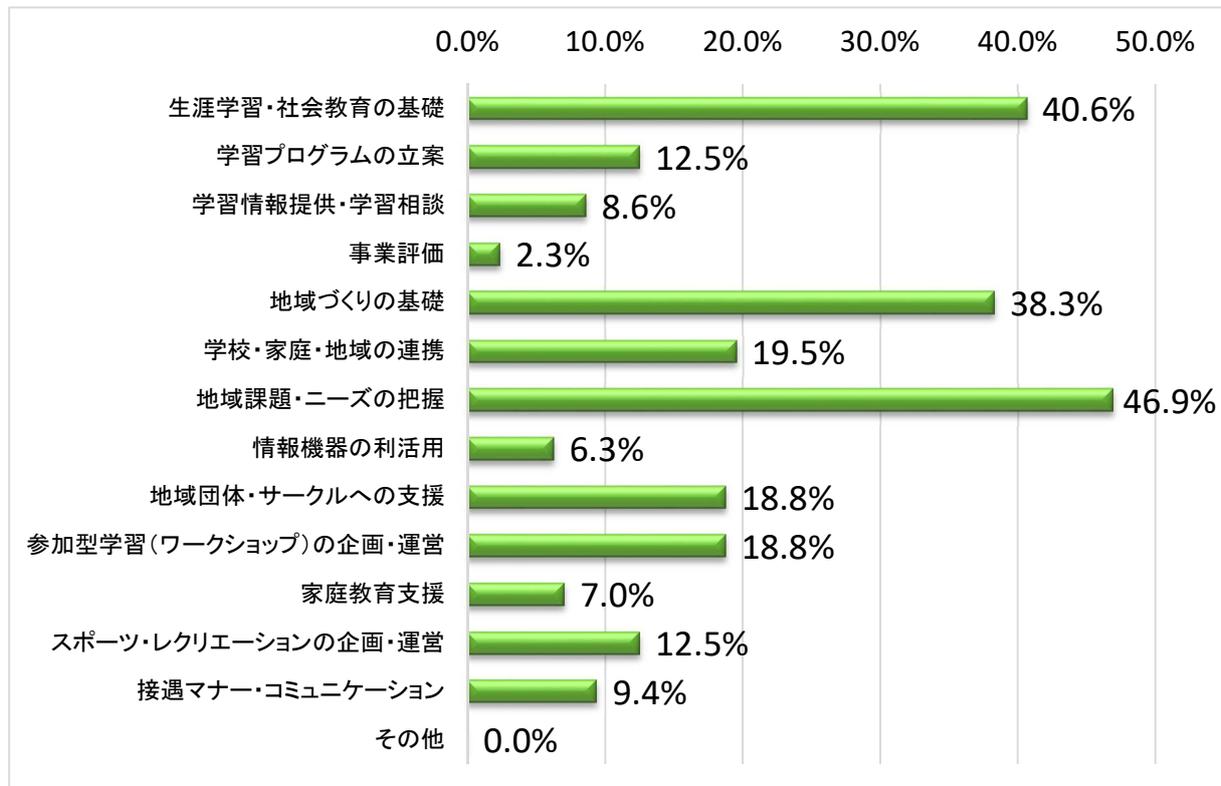
<その他の記述> *職員(人材) *職員数不足

前問の取組を実施するために最も必要なことは何か聞いたところ、「地域住民の参加・協力」という回答が70.3%と最も多かった。

問17 職員の研修について

(1) 職員に必要な研修

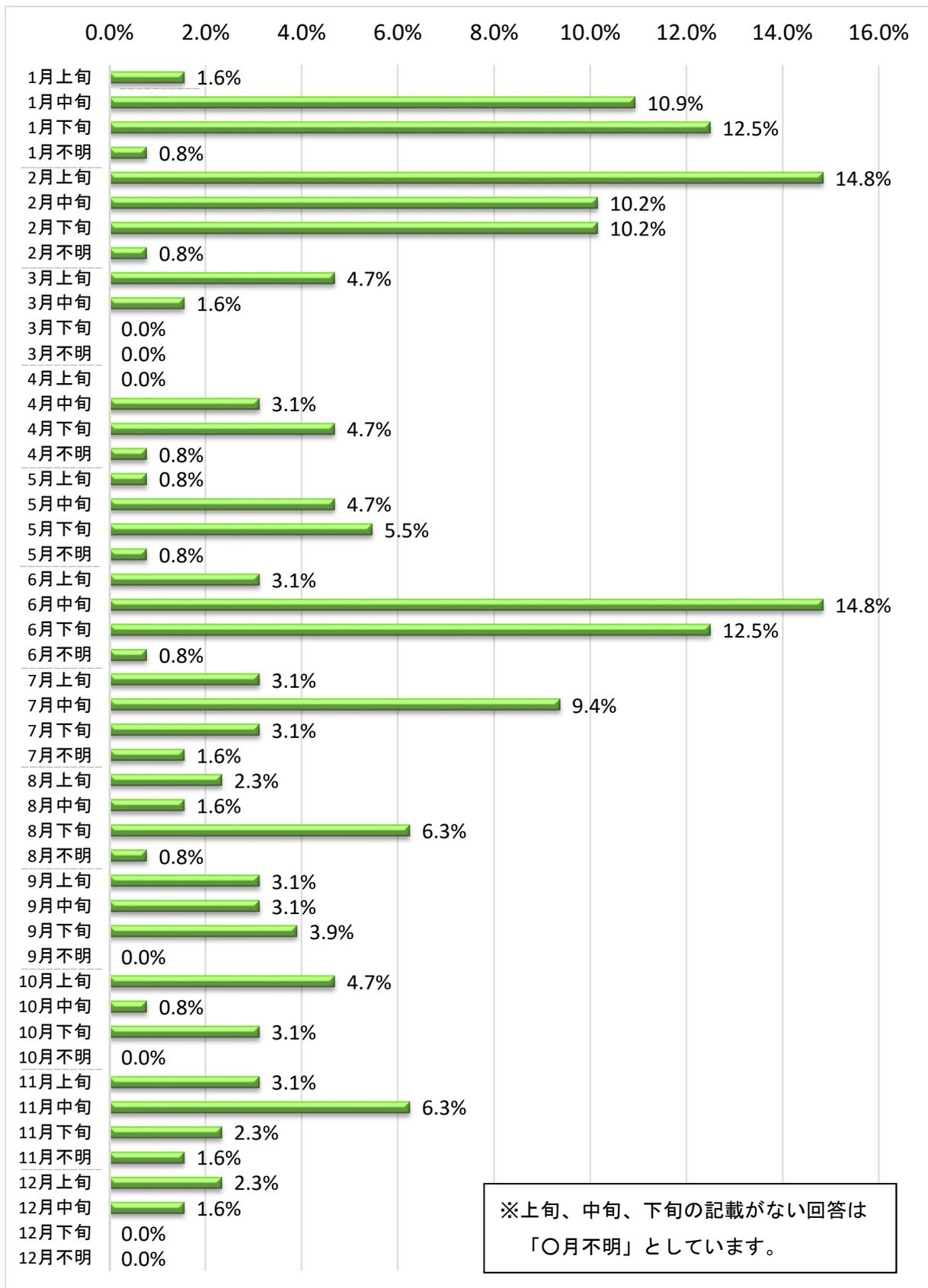
回答数 128 (総数 309) ※複数回答有



公民館職員に必要な研修は何か聞いたところ、「地域課題・ニーズの把握」が46.9%と最も多く、次いで、「生涯学習・社会教育の基礎」の40.6%だった。

(2) 職員研修に参加しやすい時期

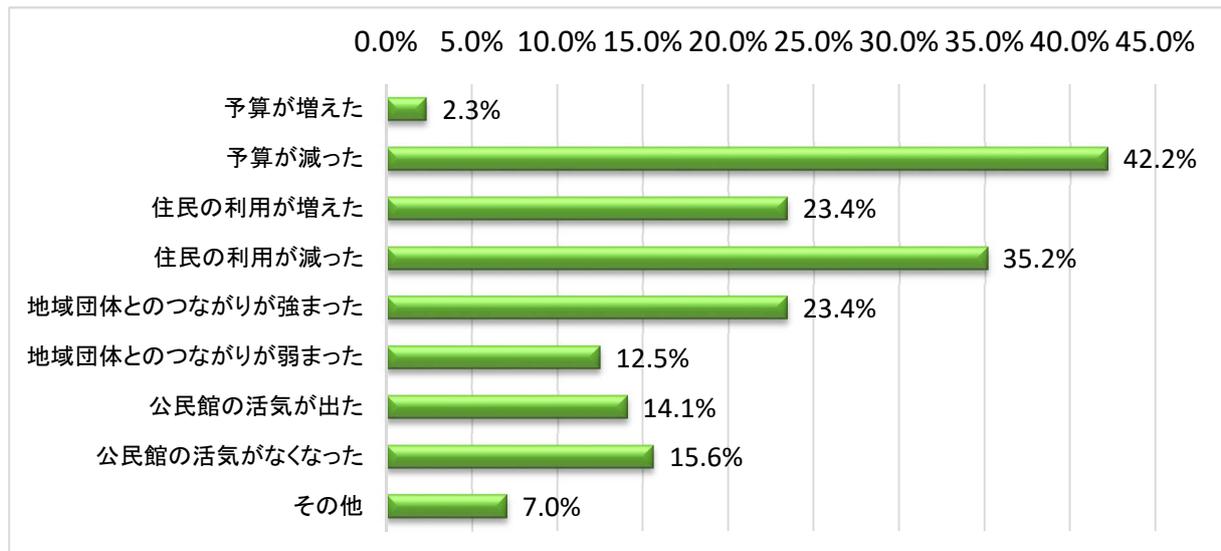
回答数 128 (総数 313) ※複数回答有



公民館職員の研修に参加しやすい時期を聞いたところ、「2月上旬」と「6月中旬」がそれぞれ14.8%と最も多く、次いで、「1月下旬」と「6月下旬」の12.5%だった。

問 18 ここ3年程度の間に感じている変化

回答数 128 (総数 225) ※複数回答有



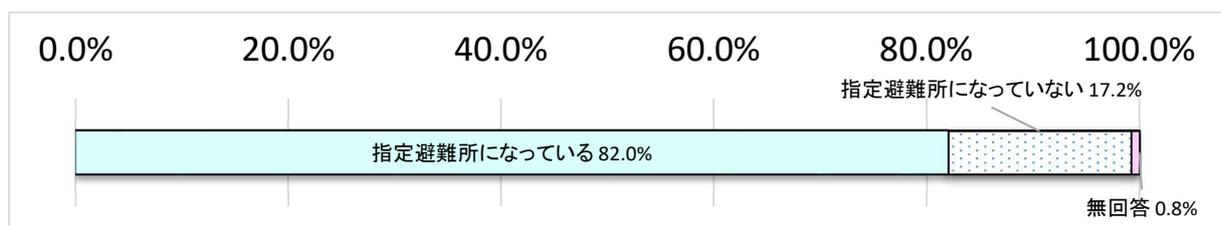
〈その他の記述〉 *特に高齢者の方がデイサービスや施設入居などで、事業への参加が減った *まだ1年に満たないため、回答はできない *住民の価値観が多様化し、目的の共有が難しくなった *特になし *サークルの数が減った(2件) *数年間は変化ありません *学校との連携が少ない

ここ3年程度の間に感じている変化について聞いたところ、「予算が減った」が42.2%と最も多く、次いで、「住民の利用が減った」の35.2%だった。

問 19 防災・減災について

(1) 災害時の指定避難所

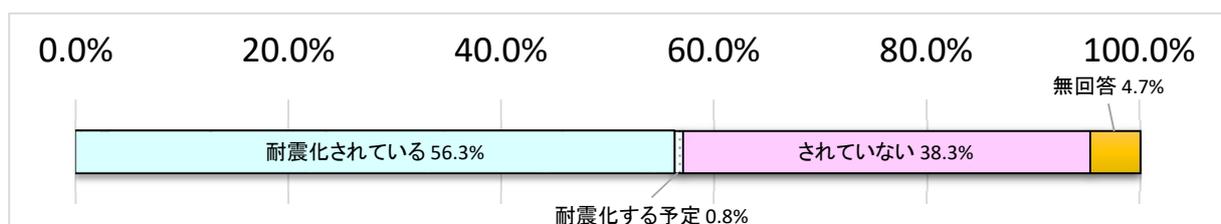
回答数 128



災害時の指定避難所になっているか聞いたところ、「指定避難所になっている」という回答が82.0%と大多数を占めた。

(2) 施設の耐震化

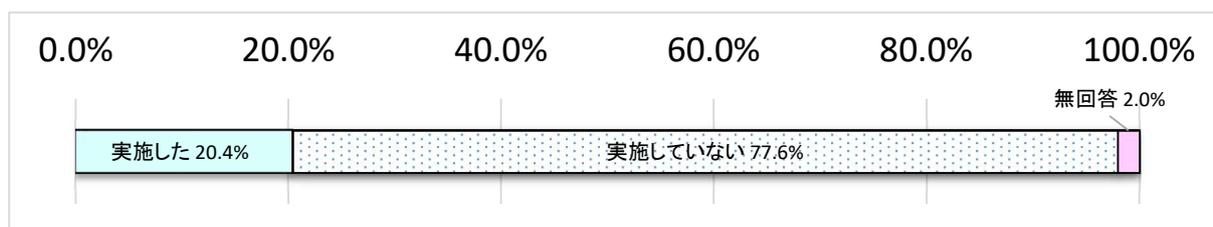
回答数 128



施設の耐震化について聞いたところ、「耐震化されている」が56.3%、「されていない」が38.3%だった。

(3) 耐震診断

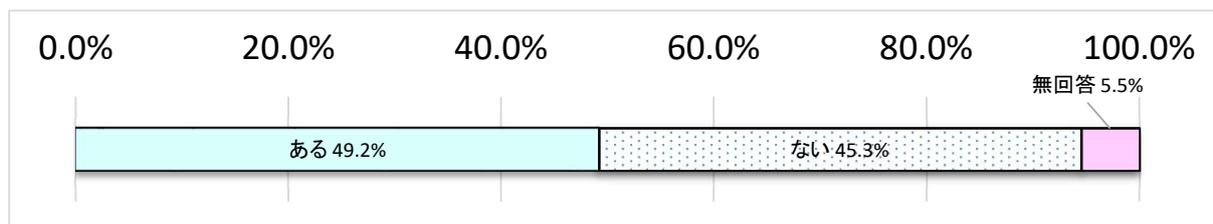
回答数 49



前問で「耐震化されていない」と回答された方に、耐震診断の有無について聞いたところ、「実施していない」が77.6%と多かった。

(4) 避難所運営マニュアル

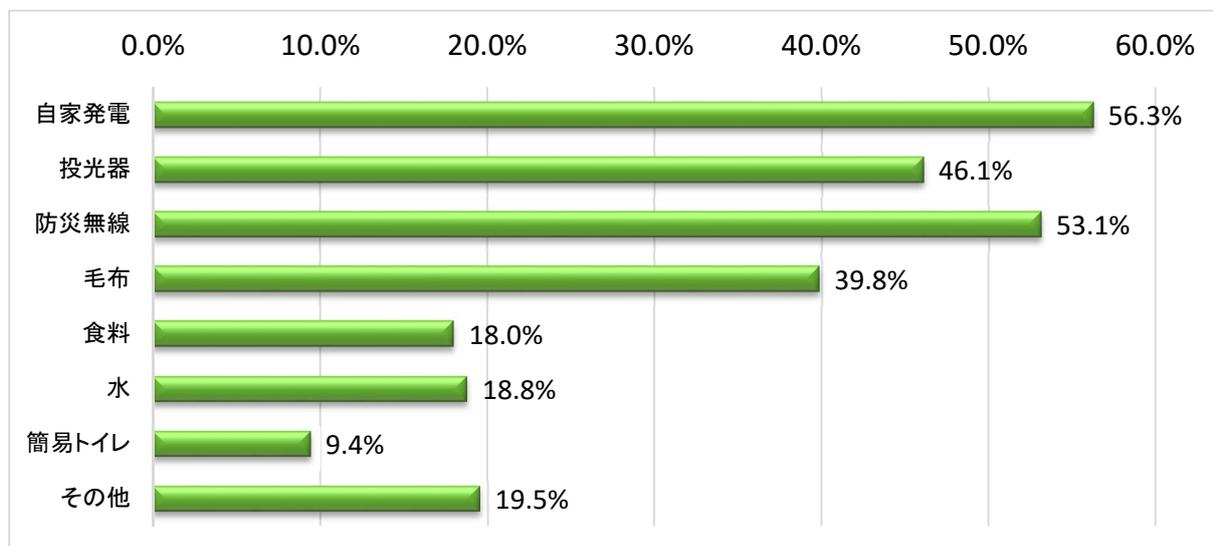
回答数 128



避難所となったことを想定した「避難所マニュアル」の有無について聞いたところ、「ある」が49.2%、「ない」が45.3%だった。

(5) 防災・減災のために備えているもの

回答数 128 (総数 334) ※複数回答有

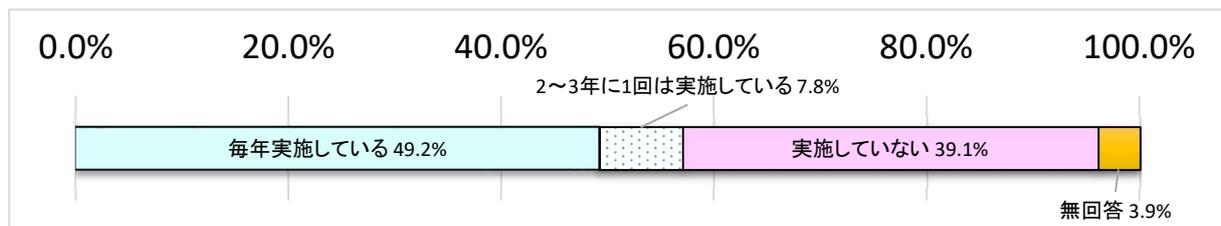


〈その他の記述〉 *GS *LP 発電機 *発電機 *ガス整備 *ガソリン携行缶 *コードリール *エアーマット *救急セット *ストーブ *カセットコンロ *カセットガス *マスク *非常用電話 *防災なべ *無電源ストーブ *ヘルメット *救助工具セット *ラジオ *乾電池 *哺乳瓶セット *ランタン *防災敷シート *防寒・保湿シート *寝袋 *工具 *拡声器 *シート *災害用非常電話機、避難所運営物品一式、避難用特設電話 *粉ミルク *市役所にて全て対応することになっているので、公民館、ふれあいセンターは何もしない *何も用意していない

防災・減災のために備えているものを聞いたところ、「自家発電」が56.3%と最も多く、次いで、「防災無線」の53.1%だった。

(6) 防災・減災に関わる取組

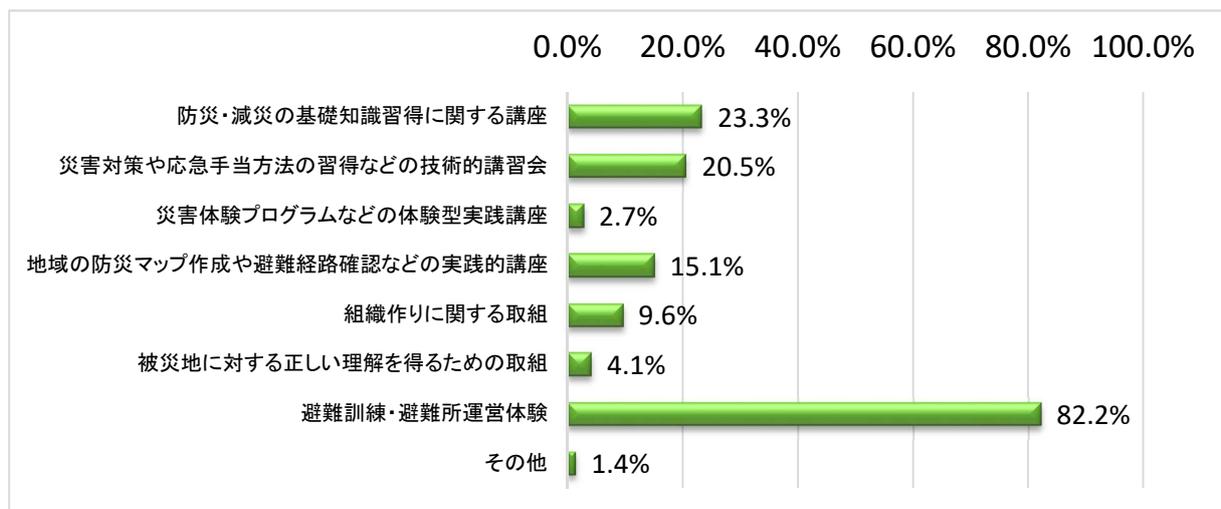
回答数 128



防災・減災に関わる取組の状況を聞いたところ、「毎年実施している」が49.2%と最も多く、次いで、「実施していない」の39.1%だった。

(7) 防災・減災に関わる取組の内容

回答数 73 (総数 116) ※複数回答有

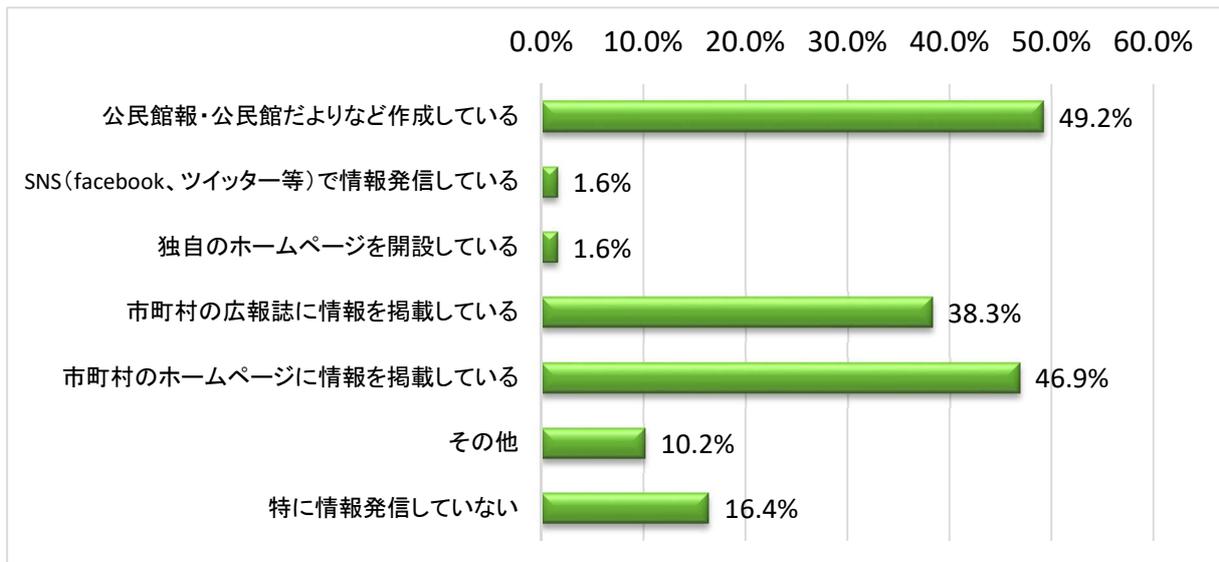


<その他の記述> *設備の点検

前問で「毎年実施している」「2〜3年に1回は実施している」と回答された方に、その取組内容を聞いたところ、「避難訓練・避難所運営体験」が82.2%と最も多かった。

問 2 0 情報発信の手段

回答数 128 (総数 210) ※複数回答有



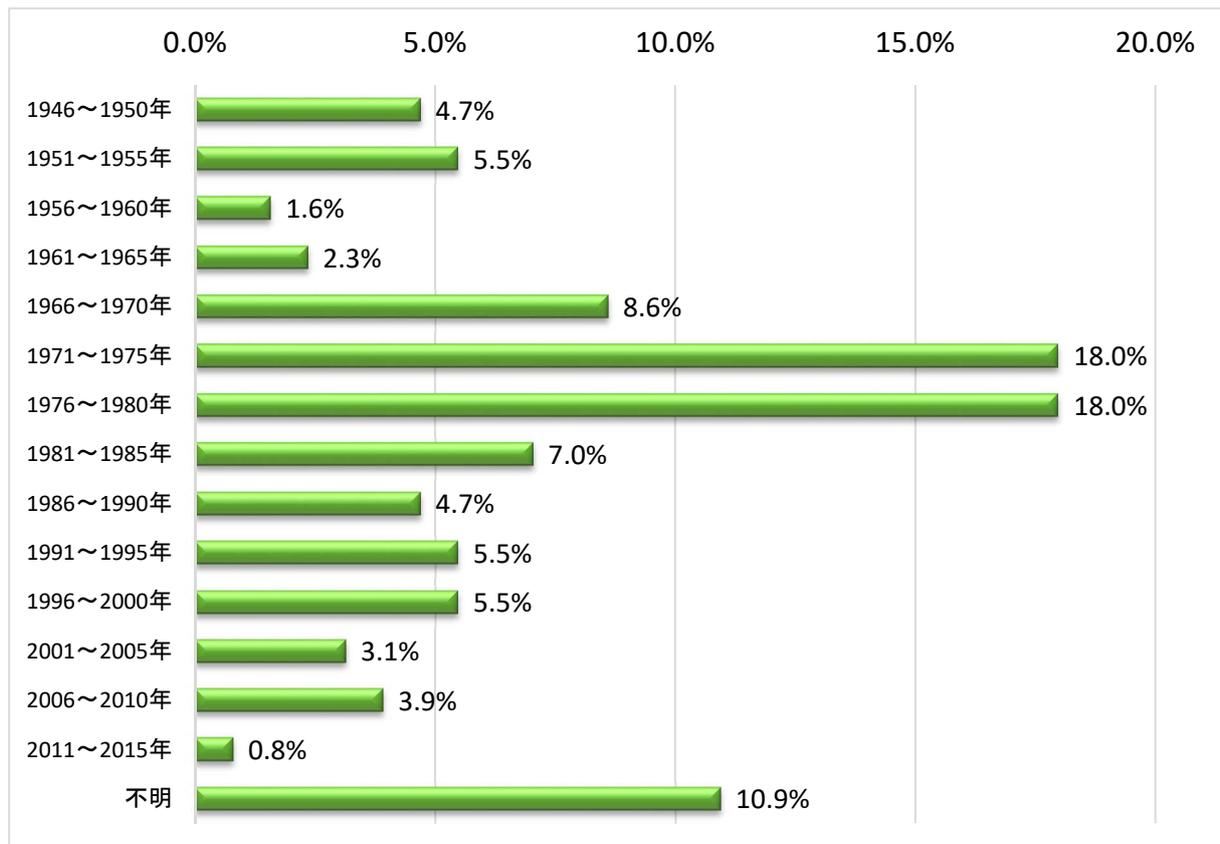
＜その他の記述＞ *必要に応じ、ラジオ、テレビ、SNS の活用、チラシ・ポスター *28 町会（地元）回覧を実施している *陸奥新報に市が「市政だより」にスペースを確保しており、それを活用している。 *町会回覧、広報誌と一緒に毎戸配布 *町会掲示板の貼付 *小中および児童セにて個別配布等 *チラシ、ポスター、コミュニティ FM *むつ市川内町中央公民館などが情報発信している *チラシ *新聞に講座紹介掲載 *地域回覧 *回覧板、放送

情報発信の手段について聞いたところ、「公民館報・公民館だよりなど作成している」が 49.2%と最も多く、次いで、「市町村のホームページに情報を掲載している」の 46.9%だった。

問 2 1 施設・設備の状況について

(1) 開設年

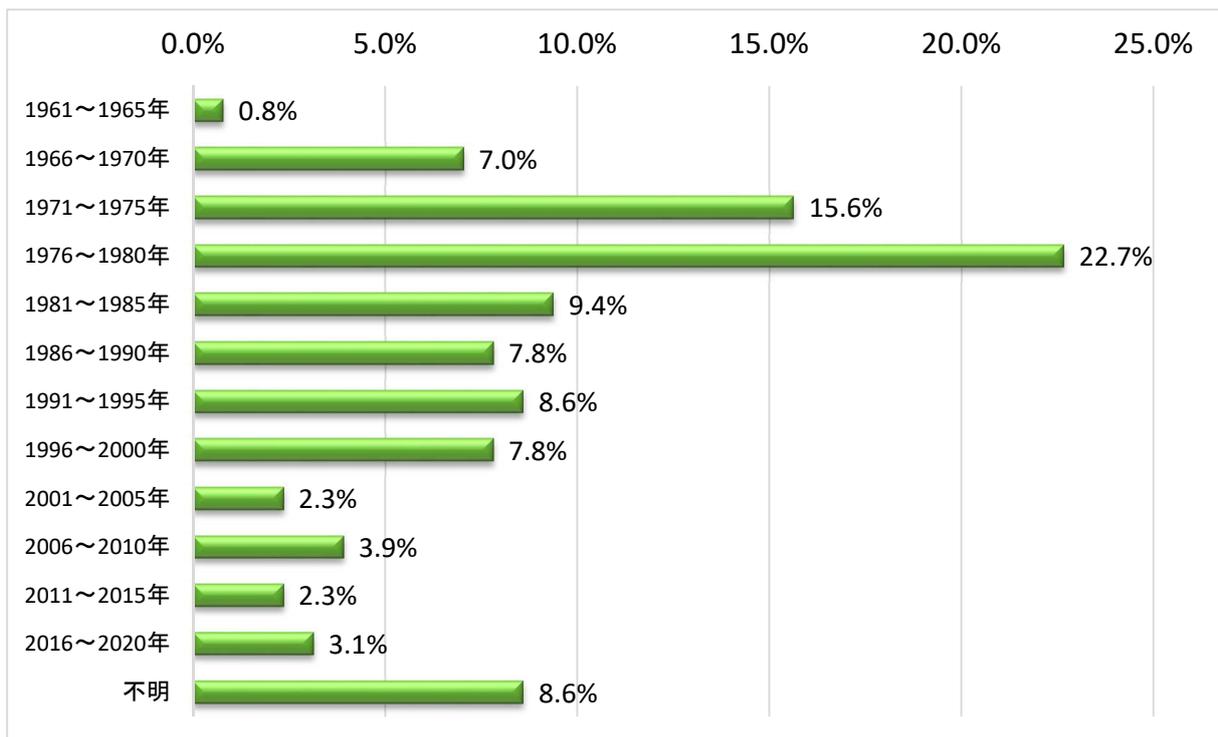
回答数 128



開設年を聞いたところ、「1971～1975年」「1976～1980年」がそれぞれ18.0%と最も多かった。

(2) 建設年

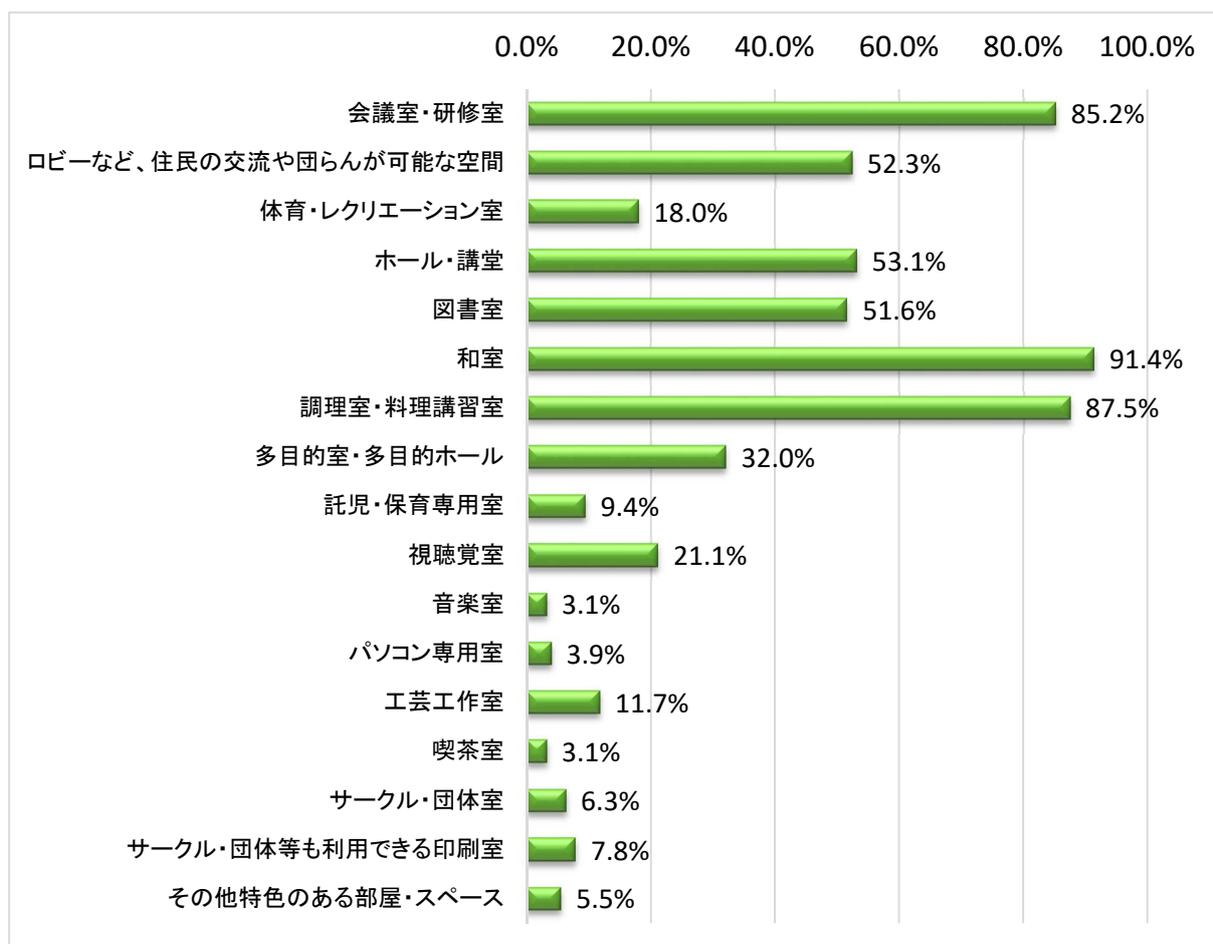
回答数 128



建設年を聞いたところ、「1976～1980年」が22.7%と最も多く、次いで、「1971～1975年」の15.6%だった。

(3) 部屋

回答数 128 (総数 695) ※複数回答有

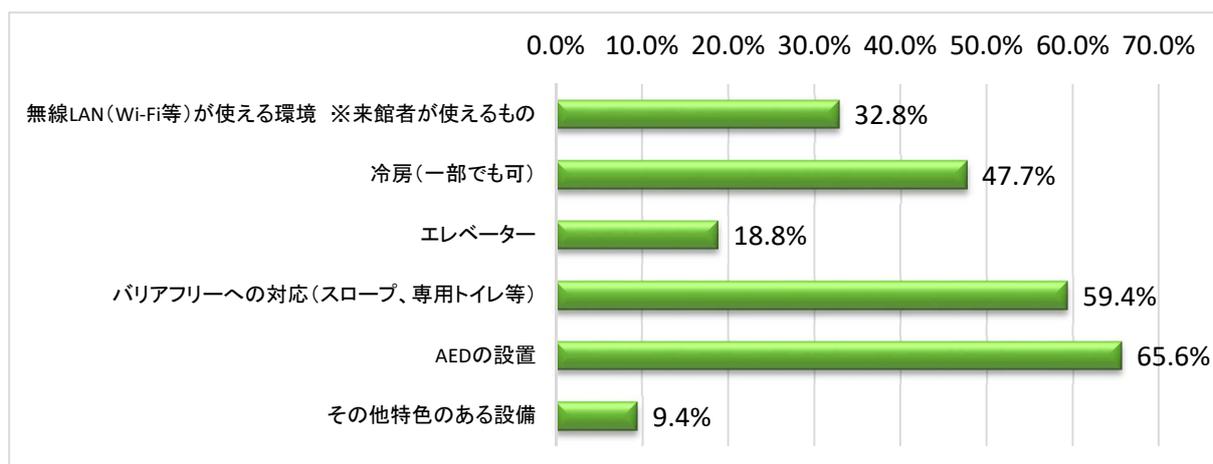


<その他の記述> *プラネタリウム *スタジオ *茶室 *健康相談室

施設にどのような部屋があるか聞いたところ、「和室」が91.4%と最も多く、次いで、「調理室・料理講習室」の87.5%、「会議室・研修室」の85.2%だった。

(4) 設備

回答数 128 (総数 299) ※複数回答有



<その他の記述> *トレーニングルーム、プール、児童集会室、ゲートボール場 *弘前市出張所が併設、90台駐車場有、屋外運動場(ゲートボールVベル)有 *防災放送、電話回線 *太陽光発電設備 *ベビーシート、オストメイト対応トイレ *オストメイトトイレ *いす式階段昇降機

施設にどのような設備があるか聞いたところ、「AEDの設置」が65.6%と最も多く、次いで、「バリアフリーへの対応(スロープ、専用トイレ等)」の59.4%だった。

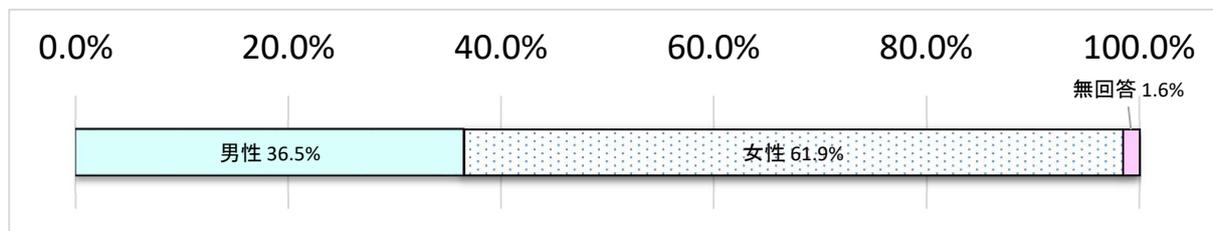
2 公民館職員の意識調査 職員宛の調査票の回答の結果

◎結果数値（パーセント＝％）は、少数第2位を四捨五入して少数第1位まで表示しています。
標準の有効回答数はn=449ですが、質問の分岐により回答者が絞られる場合はnの値が変動します。

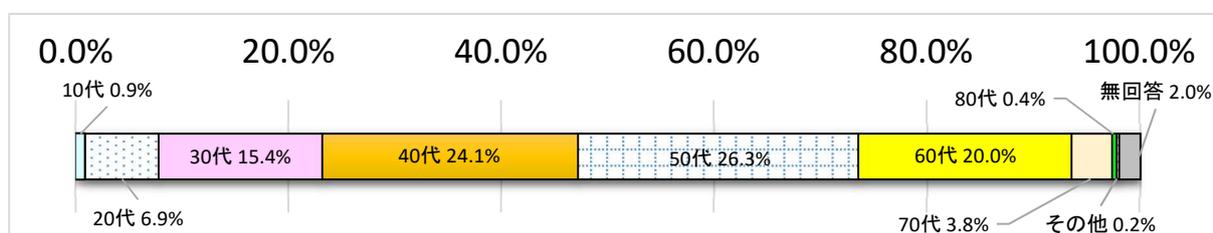
○属性について

回答数 449

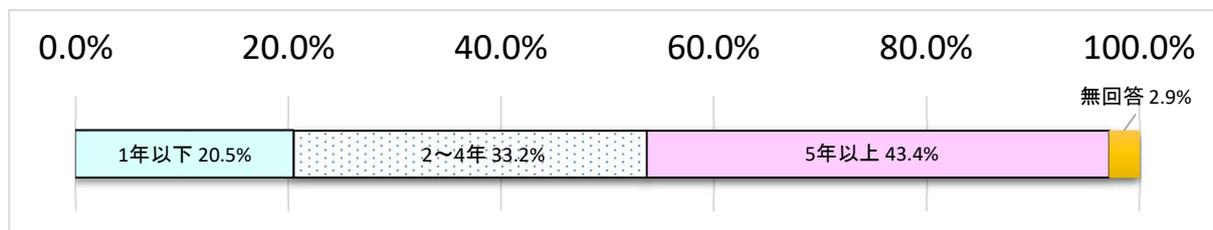
性別



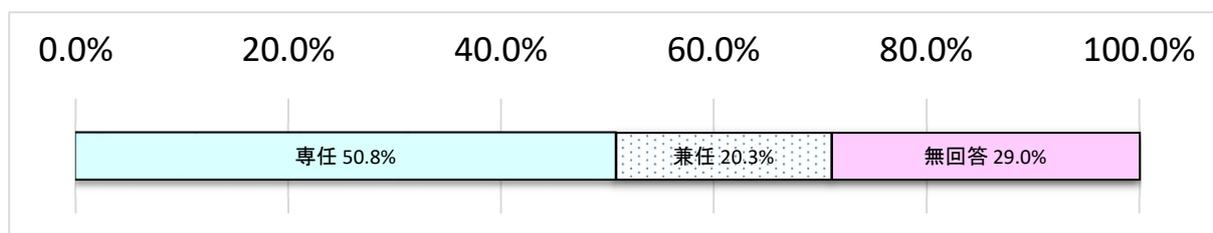
年齢



勤務年数

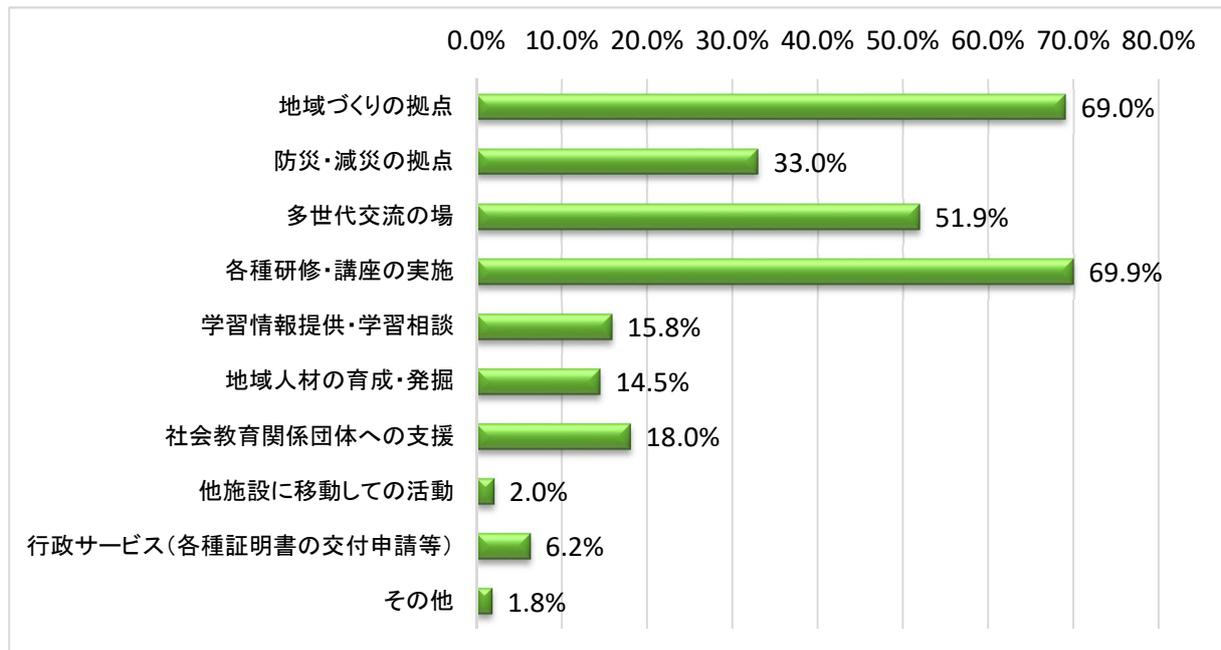


専任または兼任



問1 公民館が住民から期待されている事項

回答数 449 (総数 1,267) ※複数回答有

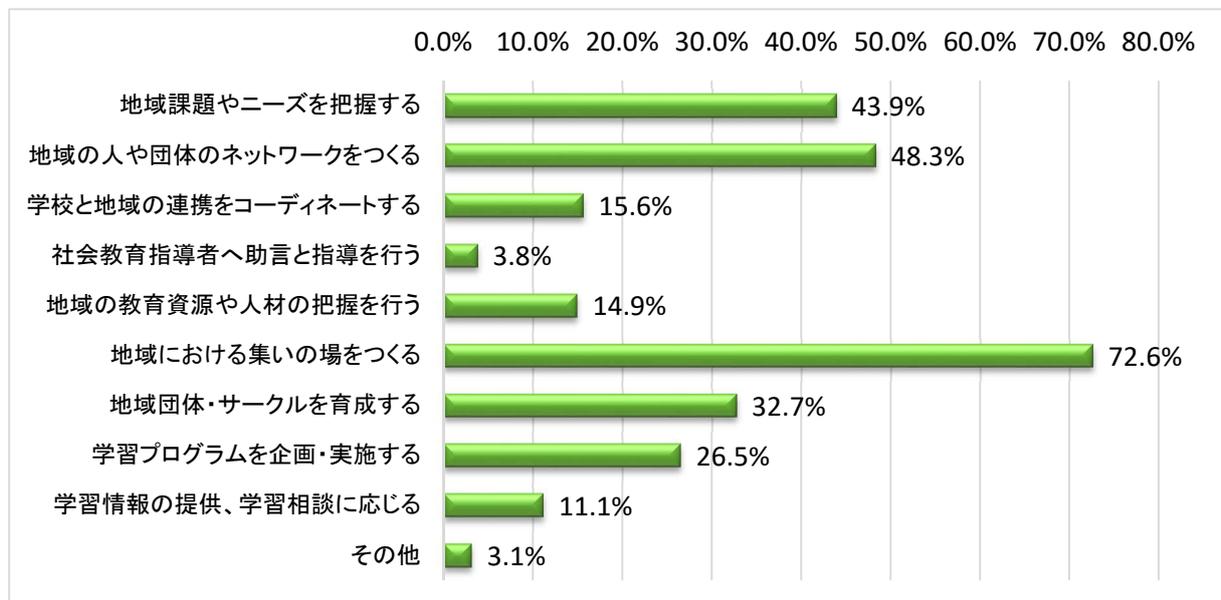


<その他の記述> *サークル活動 *部屋の使用、貸館 *娯楽 *学童保育施設として利用

公民館が住民から期待されていることは何か聞いたところ、「各種研修・講座の実施」が69.9%と最も多く、次いで、「地域づくりの拠点」の69.0%だった。

問2 公民館職員として、地域から期待されている役割

回答数 449 (総数 1,224) ※複数回答有

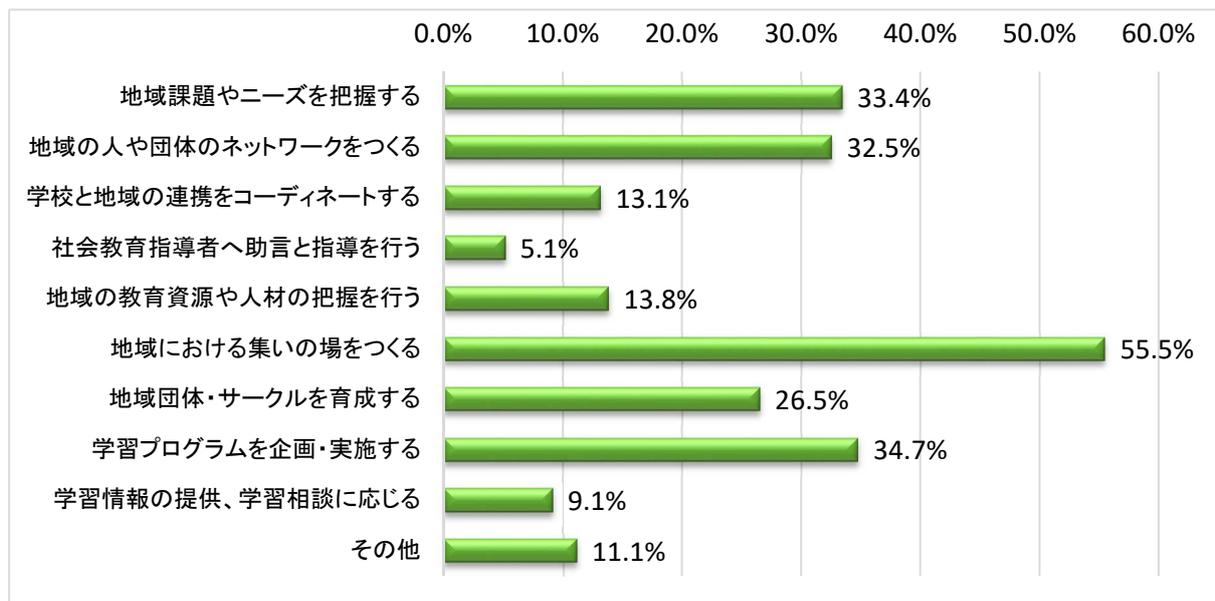


<その他の記述> *適切な施設管理 *施設の管理 *自覚不足で申し訳ありません *子育て支援 *各地区公民館の適切な管理 *娯楽の提供 *地域に関する情報発信 *施設の管理、補修 *施設の維持管理

公民館職員として地域から期待されている役割は何か聞いたところ、「地域における集いの場をつくる」が72.6%と最も多く、次いで、「地域の人や団体のネットワークをつくる」の48.3%だった。

問3 現在、実務上の比重が大きいもの

回答数 449 (総数 1,055) ※複数回答有



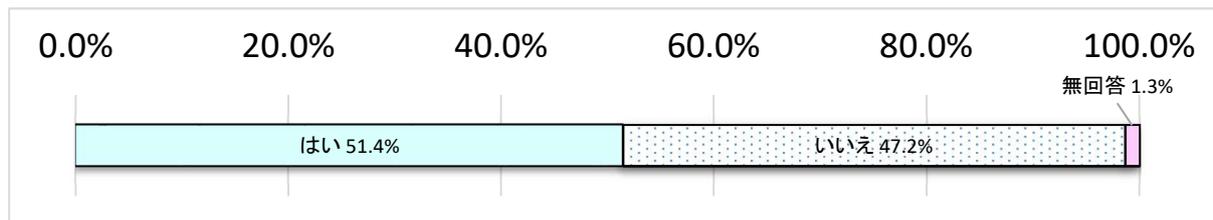
〈その他の記述〉 *快適な学習環境の提供 *清潔で居心地のよい空間の提供 *地域のみなさんとのコミュニケーション *娯楽の提供 *各地区公民館との連絡 *人的要因を含めた管理運営 *業務に関わる事務作業や手続きなど *事務整理など *事務、貸館、図書館 *経理 *庶務 *指定管理となっているため、雇用関係や給料等の庶務 *職員の労務関係の事務処理 *施設維持管理、経理・人事・報告書等の事務全般 *施設維持管理 *施設の管理 *施設の運営事務処理、来館者への対応 *施設の清掃整備 *地区公民館の施設・付属設備の管理に関する事 *施設予約の受付 *施設利用のための手続き・準備 *施設利用者の調整、施設環境整備 *補修等の維持管理業務 *主催事業の実施運営 *寿大学・大学院の運営、図書に関する業務 *講師として学活動の実施 *図書貸出・予約・返却処理 *貸館、サークル活動の場 *貸館の管理 *貸館業務 *貸館処理 *文書の受付、貸館受付等 *舞台技術 舞台照明、音響係など *料金に関すること

実務上の比重が大きいものは何か聞いたところ、「地域における集いの場をつくる」が55.5%と最も多く、次いで、「学習プログラムを企画・実施する」の34.7%だった。

問4 研修について

(1) 業務に関する研修会への参加

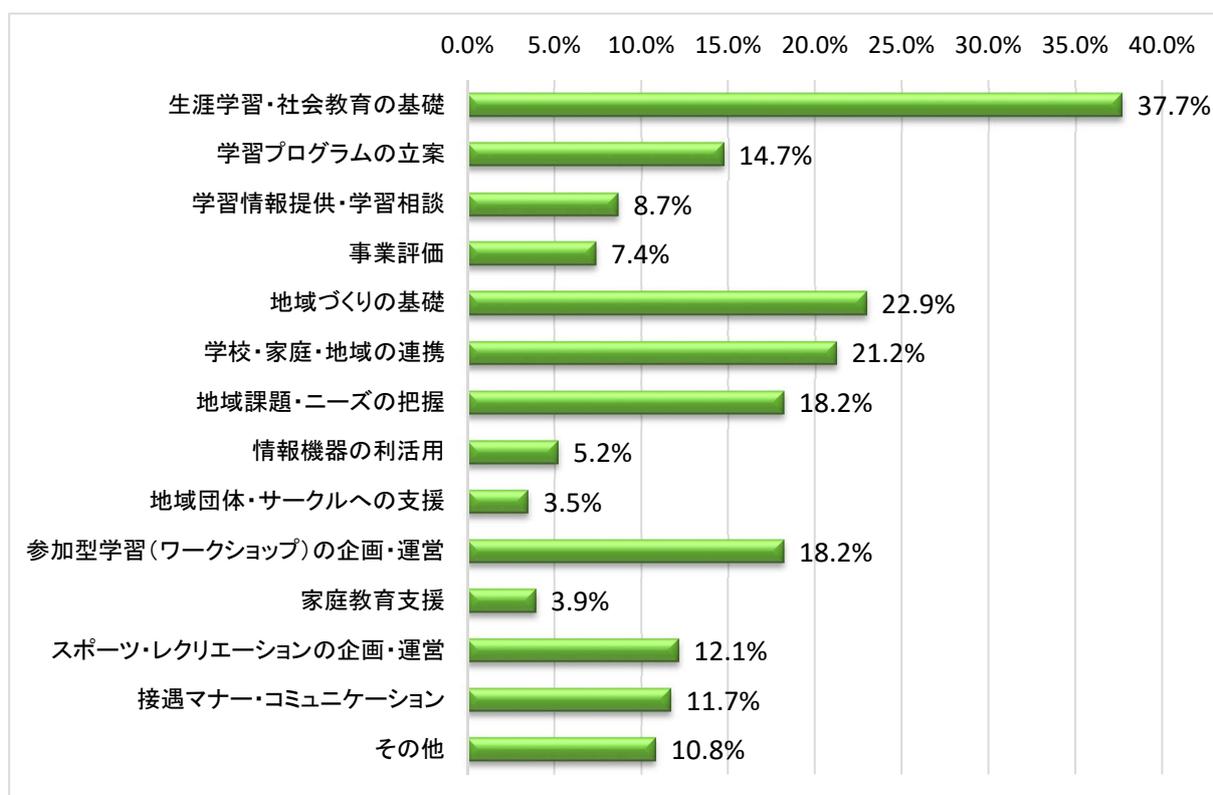
回答数 449



ここ1年間に、市町村等が実施する、業務に関する研修会等に参加したか聞いたところ、「はい」が51.4%、「いいえ」が47.2%だった。

(2) 参加した研修会の内容

回答数 231 (総数 453) ※複数回答有

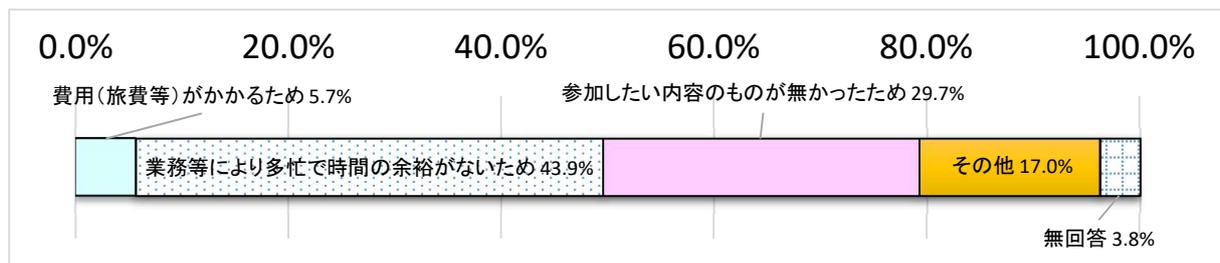


〈その他の記述〉 *AED 講習 *AED 研修 *労務管理 *子供の発達障害について *具体的支援の仕方 *寿大学 *救命講習 *災害系研修、ゴミ研修、契約研修 *特許庁主催の著作権セミナー *避難所運営 *食生活 *食に関すること *避難所開設にあたって *情報セキュリティ *災害時の対応 *地域防災について *防災士資格取得講座 *チラシ作り *アートマネジメント *電気技師、エネルギー関連の動向 *主事研修 *パソコン講座 *業務内容等の事務連絡 *コンプライアンス、公務員倫理、情報セキュリティ

前問で「はい」と回答された方に、参加した研修内容について聞いたところ、「生涯学習・社会教育の基礎」が37.7%と最も多く、次いで、「地域づくりの基礎」の22.9%だった。

(3) 参加しなかった理由

回答数 212 (総数 218) ※複数回答有

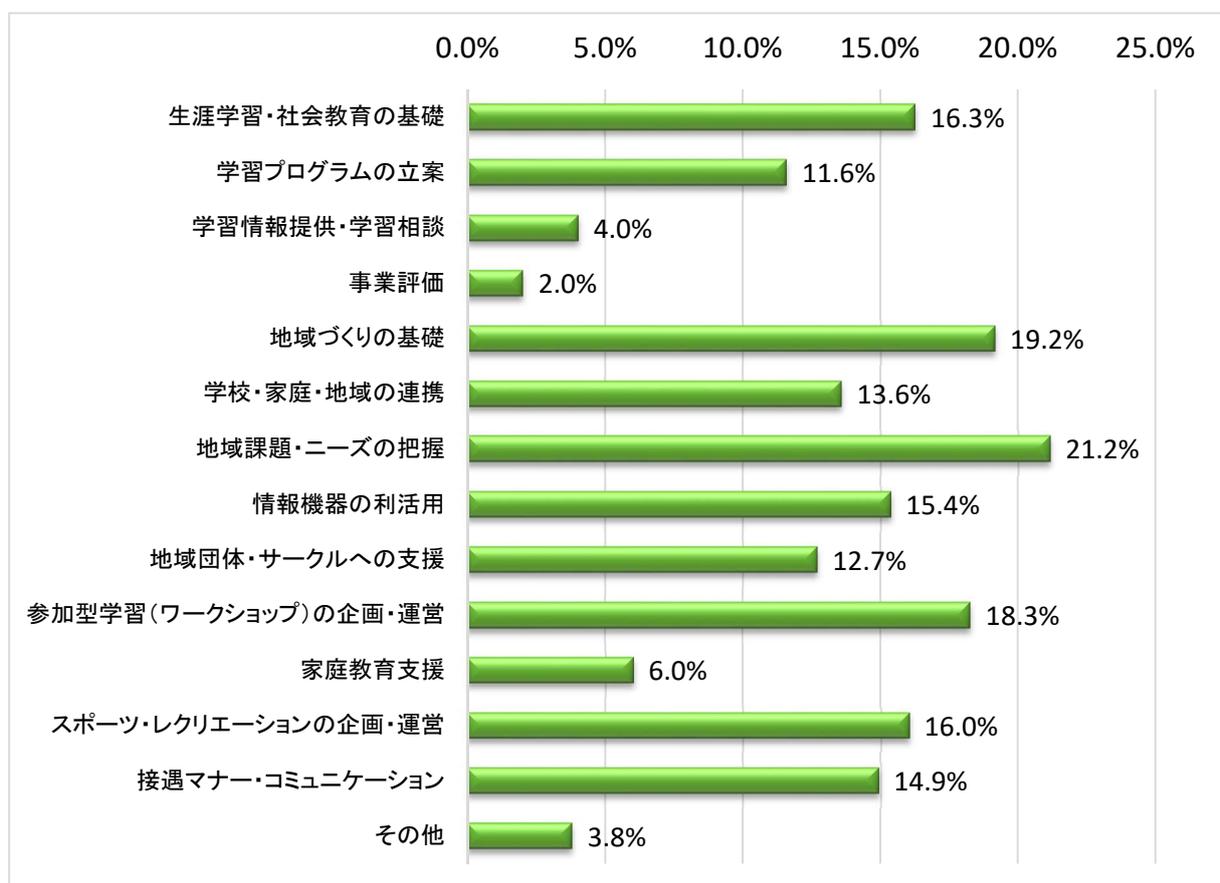


〈その他の記述〉 *臨時職員に研修会参加できるのかわからない。そんな話を聞いてもないので。 *研修が無い *業務上、全員の参加は無理 *上司からの指示が無かったため *研修対象外 *当日従事職員が不足するため研修会がなかった *立場上研修はない *そういう機会に恵まれなかった *参加するように言われなかった *参加する職員の順番があり、回ってこないため *夜間業務要員のため *職務は受付雑用のため *担当でないため。参加対象ではないため。従事内容にあたらなため。 *就業したばかりだから *臨時職員で行ったことがない *施設管理人のため *2019年まで仕事(土木) *講習には参加

前々問で「いいえ」と回答された方に、参加しなかった理由について聞いたところ、「業務等により多忙で時間の余裕がないため」が43.9%と最も多かった。

(4) 今後参加したい研修

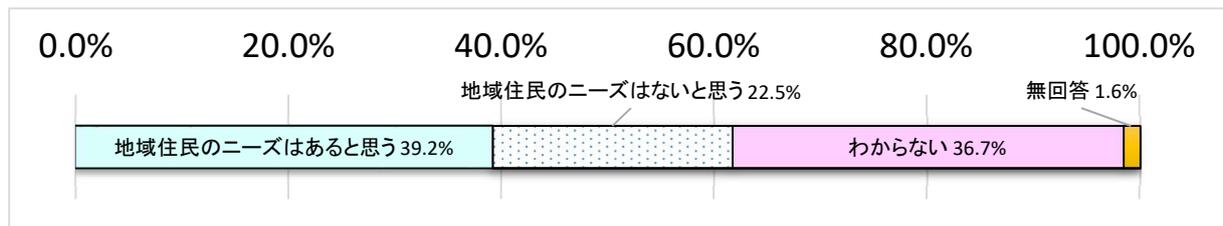
回答数 449 (総数 785) ※複数回答有



〈その他の記述〉 *避難所開設のノウハウ習得 *法令、通達等の総合的基礎知識 *施設の管理運営について *グローバル研修 *職務上必要ないと思われる *存在が相手にされていないので考えられない。職員と臨時職員の業務の線引きが時により職員により不鮮明で振り回されているような感じ。必要となるのかわからない。 *職務分担が施設維持管理のため、今のところは特にない *精神面、内面的改善につながるもの *自主防災組織の具体的訓練について *任意団体や町内会の合併 *施設管理人のため参加不可 *高年齢のため管理のみ *事務処理の基礎、執務マニュアル等

今後参加したい研修内容について聞いたところ、「地域課題・ニーズの把握」が21.2%と最も多く、次いで、「地域づくりの基礎」の19.2%だった。

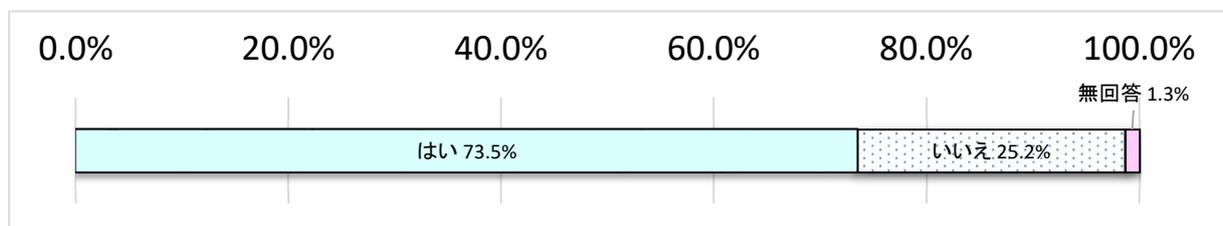
問5 社会人のキャリア形成を支援する取組として、若者・女性の就業や起業に向けた学び直しに関連する講座のニーズ 回答数 449



若者・女性の就業や起業に向けた学び直しに関わる講座について聞いたところ、「地域住民のニーズはあると思う」が39.2%と最も多く、次いで、「わからない」の36.7%だった。

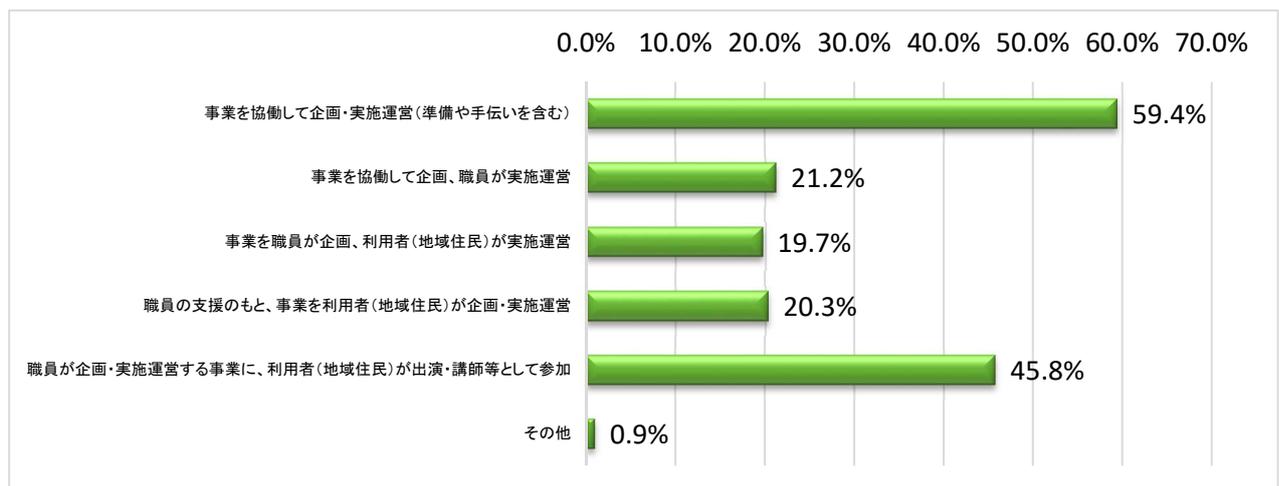
問6 主催事業における利用者（地域住民）との協働について

(1) 利用者（地域住民）と協働したことがあるか 回答数 449



主催事業を利用者（地域住民）と協働して実施したことがあるか聞いたところ、「はい」が73.5%と過半数を占めた。

(2) 協働の形態 回答数 330（総数 552）※複数回答有

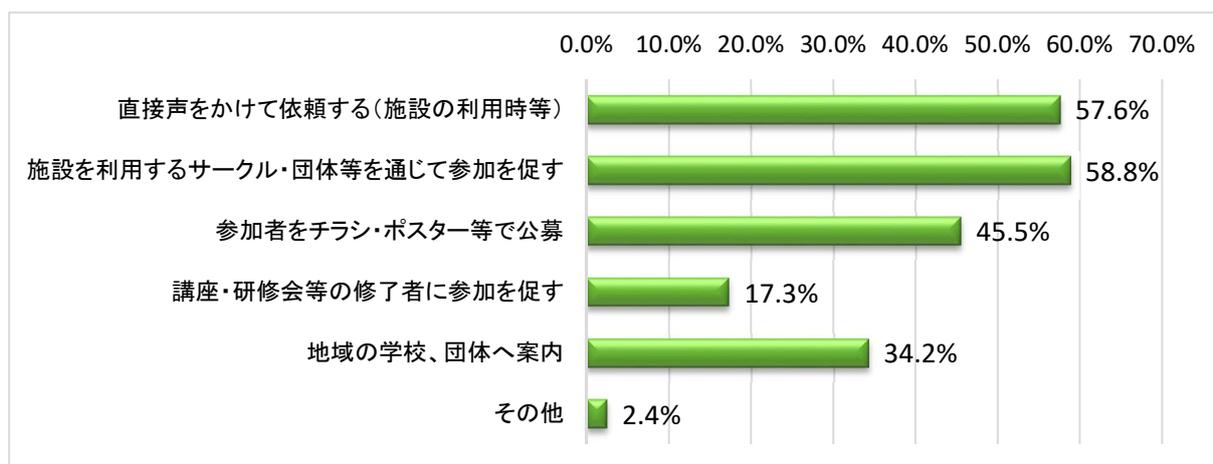


<その他の記述> *よくわからない *公民館まつり、クリスマス会

利用者（地域住民）と協働して実施した事業の形態について聞いたところ、「事業を協働して企画・実施運営（準備や手伝いを含む）」が59.4%と最も多く、次いで、「職員が企画・実施運営する事業に、利用者（地域住民）が出演・講師等として参加」の45.8%だった。

(3) 協働の働きかけ

回答数 330 (総数 712) ※複数回答有

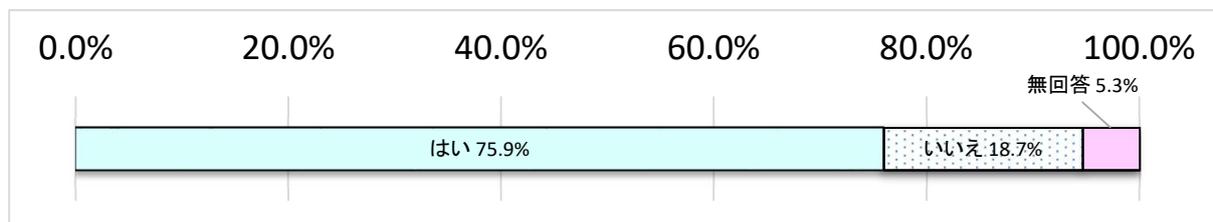


<その他の記述> *寿大学 *実行委員会の立ち上げ、会議実施 *利用者(地域住民)自ら公民館へ売り込みがあった *地域の町会や公民館への案内

利用者(地域住民)との協働の働きかけ方について聞いたところ、「施設を利用するサークル・団体等を通じて参加を促す」が58.8%と最も多く、次いで、「直接声をかけて依頼する(施設の利用時等)」の57.6%だった。

(4) 今後、協働して事業を実施したいか

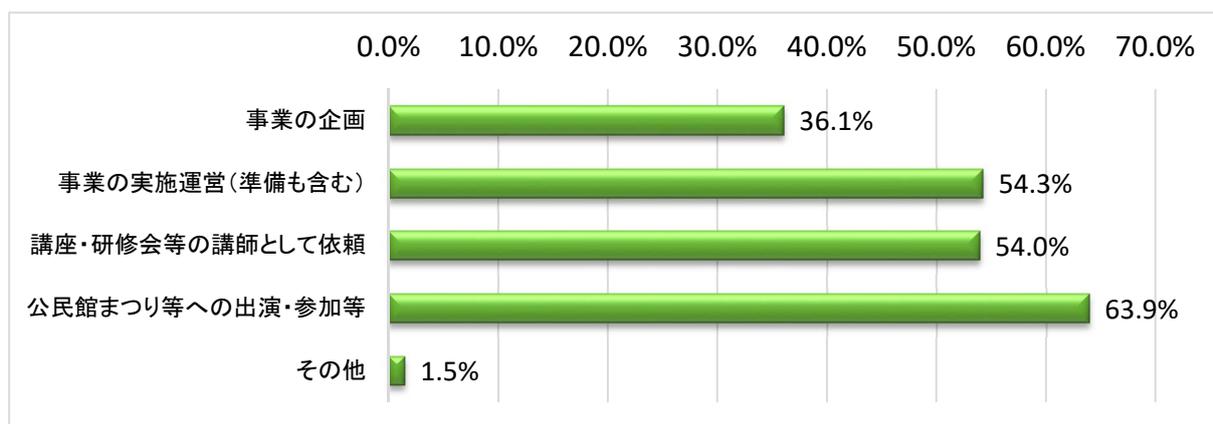
回答数 449



今後、利用者(地域住民)と協働して事業を実施したいか聞いたところ、「はい」という回答が75.9%と過半数を占めた。

(5) 今後、協働して事業を実施したいと考えている形態

回答数 341 (総数 715) ※複数回答有



〈その他の記述〉 *4 はすでに行っているが、1・2・3については内容等を細かく分析し質疑応答をしながら行うことが必要

今後、利用者（地域住民）と協働して事業を実施したいと考える形態について聞いたところ、「公民館まつり等への出演・参加等」が63.9%と最も多く、次いで、「事業の実施運営（準備を含む）」の54.3%、「講座・研修会等の講師として依頼」の54.0%だった。

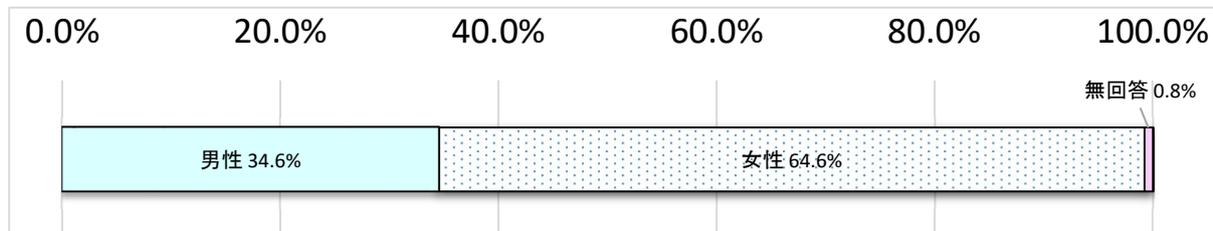
3 利用者の意識調査 利用者宛の調査票の回答の結果

◎結果数値（パーセント＝％）は、少数第2位を四捨五入して少数第1位まで表示しています。
標準の有効回答数はn＝882ですが、質問の分岐により回答者が絞られる場合はnの値が変動します。

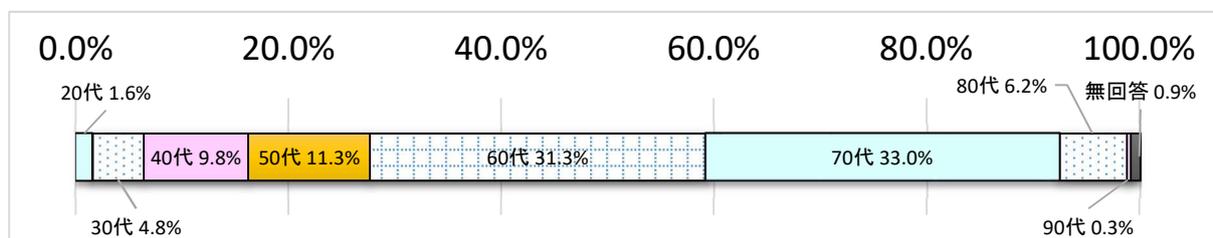
○属性について

回答数 882

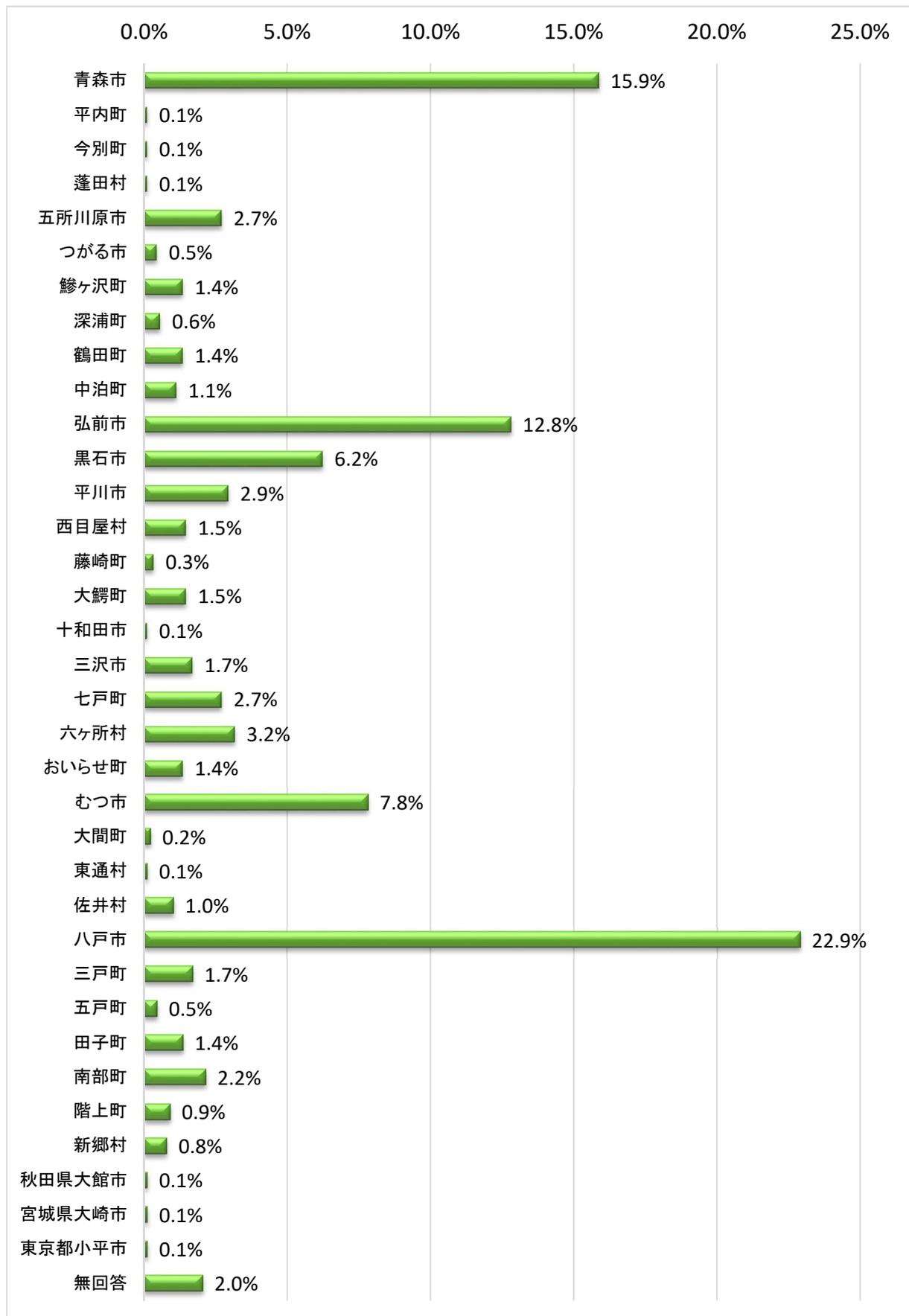
性別



年齢



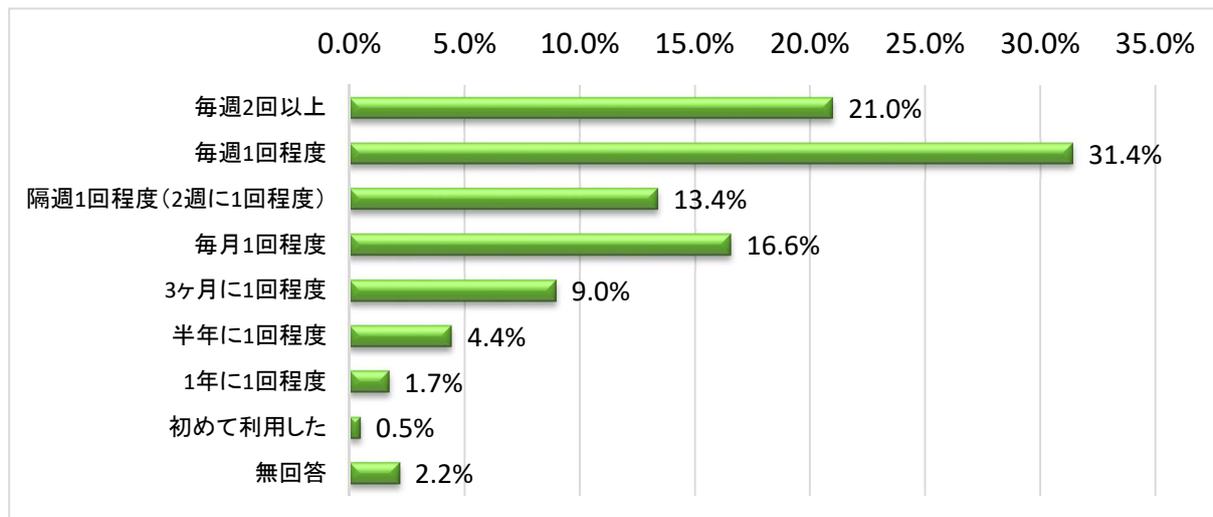
居住地



問1 公民館の利用について

(1) 公民館の利用回数

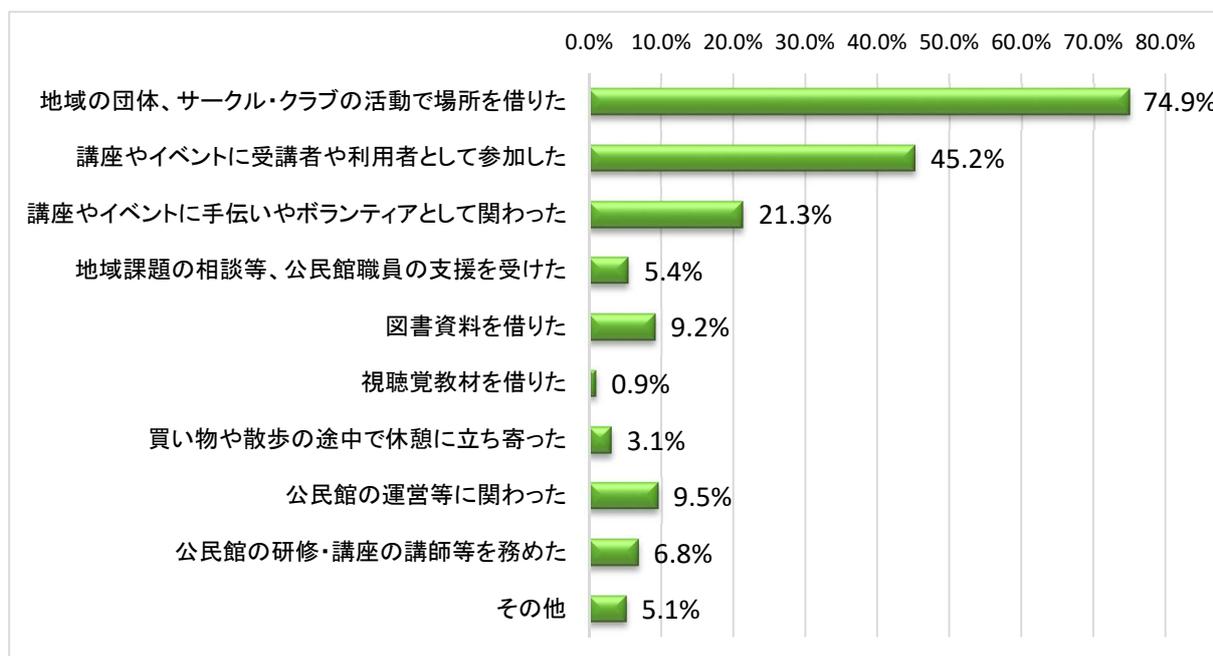
回答数 882



ここ1年間の利用頻度(回数)を聞いたところ、「毎週1回程度」が31.4%と最も多く、次いで、「毎週2回以上」の21.0%だった。

(2) 利用目的

回答数 882



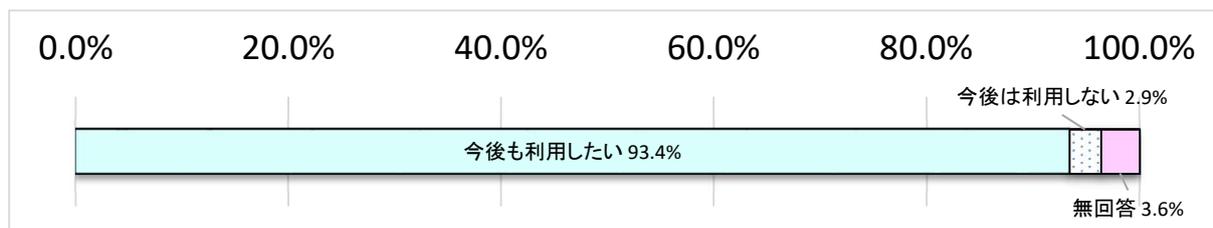
〈その他の記述〉 *カワイ音楽教室 *ゲートボール *サークル活動 *サークル活動(大正琴・コーラス) *スポーツ(パウンドテニス) *プール *りんごクラブ送迎、選挙など *会議、セミナー *学童保育 *関野準一郎などの展示を鑑賞した *郷土芸能(神楽練習等) *健康診断、検診 *公民館まつり *仕事 *事業で借りている *自主防災会、避難訓練の打ち合わせ等 *習い事の練習場所として *図書を借りた *選挙の投票 *葬儀 *村イベント終了後の反省会 *体育の授業 *地区・総会・婦人会の総会など *町内会、貼合町内会など会議の場として *町内会配布物、所属団体会議資料などの印刷のため、印刷機を借用した *南部町カラオケクラブ *放課後クラブを開設しているので仕事でも時々きます *役員会、講習会 *料理教室 *トイレを借りた *私は公民館協力会の副会長で、公民館より依頼があればすべて協力しています

どのように利用したか聞いたところ、「地域の団体、サークル・クラブの活動で場所を借りた」が74.9%と最も多く、次いで、「講座やイベントに受講者や利用者として参加した」の45.2%だった。

問2

(1) 今後の利用予定

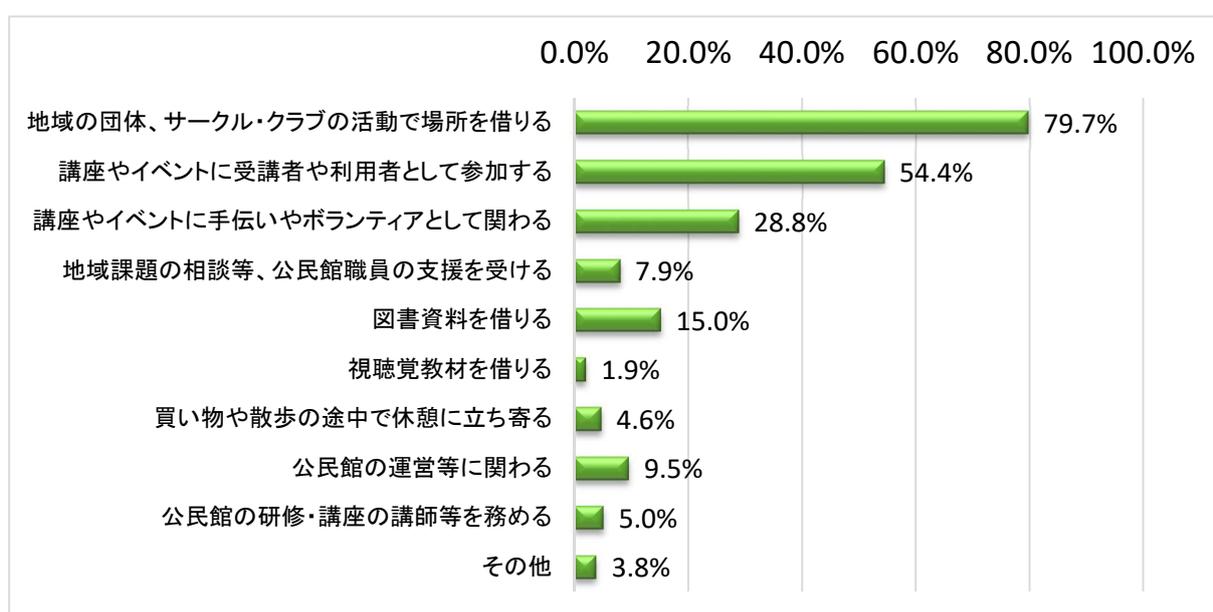
回答数 882



今後、公民館を利用したいか聞いたところ、「今後も利用したい」が93.4%と大多数を占めた。

(2) 利用する場合の目的

回答数 824 (総数 1,735) ※複数回答有

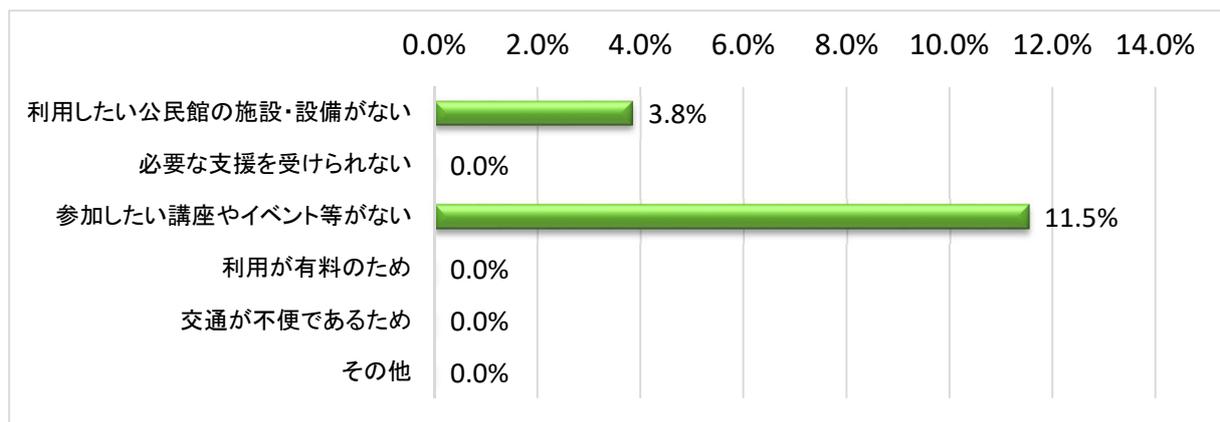


〈その他の記述〉 *カワイ音楽教室 *クラブ *ゲートボール *スポーツ *プール *印刷機の借用 *会議、セミナー *学童保育 *関野準一郎などの作品展示を鑑賞する *郷土芸能 *仕事 *社協・民児協会議など *習い事の練習場所として *親睦をはかる *図書利用 *葬儀 *体育の授業 *定期的な演劇公演 *反省会 *トイレを借りる

前問で「今後も利用したい」と回答された方に、今後の利用の仕方を聞いたところ、「地域の団体、サークル・クラブの活動で場所を借りる」が79.7%と最も多く、次いで、「講座やイベントに受講者や利用者として参加する」の54.4%だった。

(3) 利用しない場合の理由

回答数 26 (総数 4) ※複数回答有

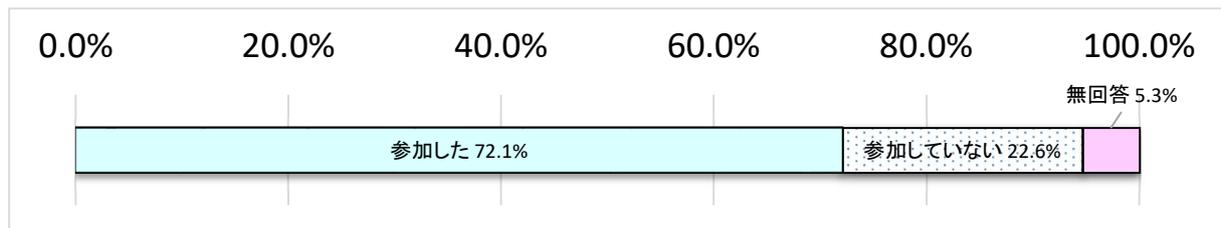


前々問で「今後は利用しない」と回答された方に、その理由を聞いたところ、「参加したい講座やイベントがない」という回答が 11.5%と最も多く、次いで、「利用したい公民館の施設・設備がない」の 3.8%だった。

問3 公民館が実施する講座やイベントについて

(1) 講座・イベントへの参加

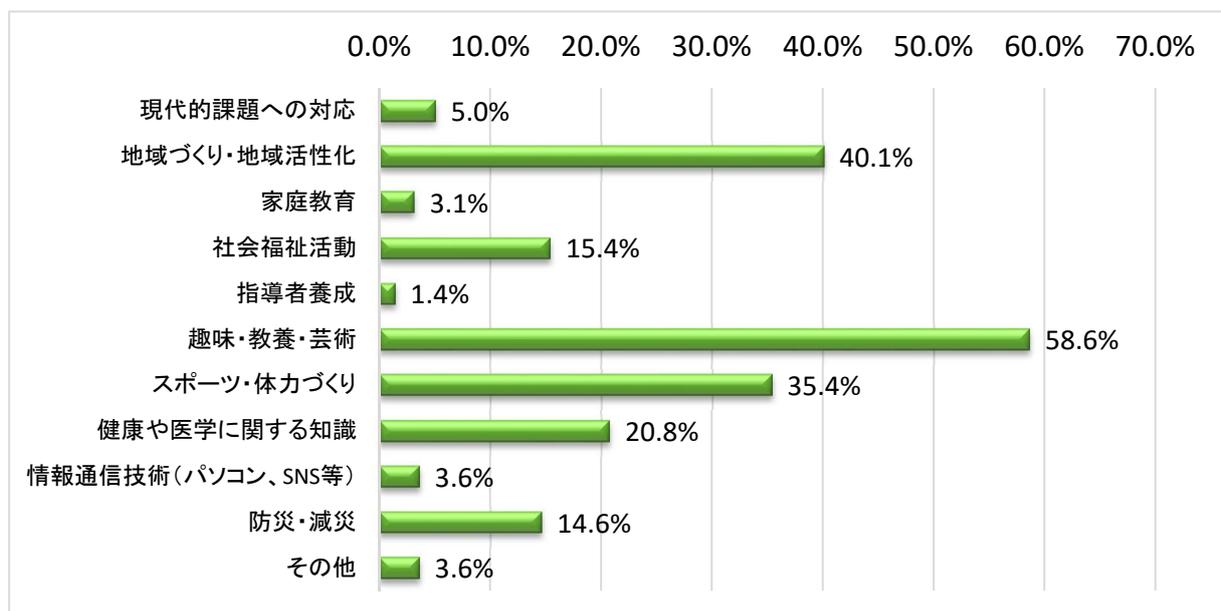
回答数 882



ここ1年間に公民館が実施する講座・イベントに参加したか聞いたところ、「参加した」という回答が72.1%と過半数を占めた。

(2) 参加した講座・イベントの内容

回答数 636 (総数 1,283) ※複数回答有

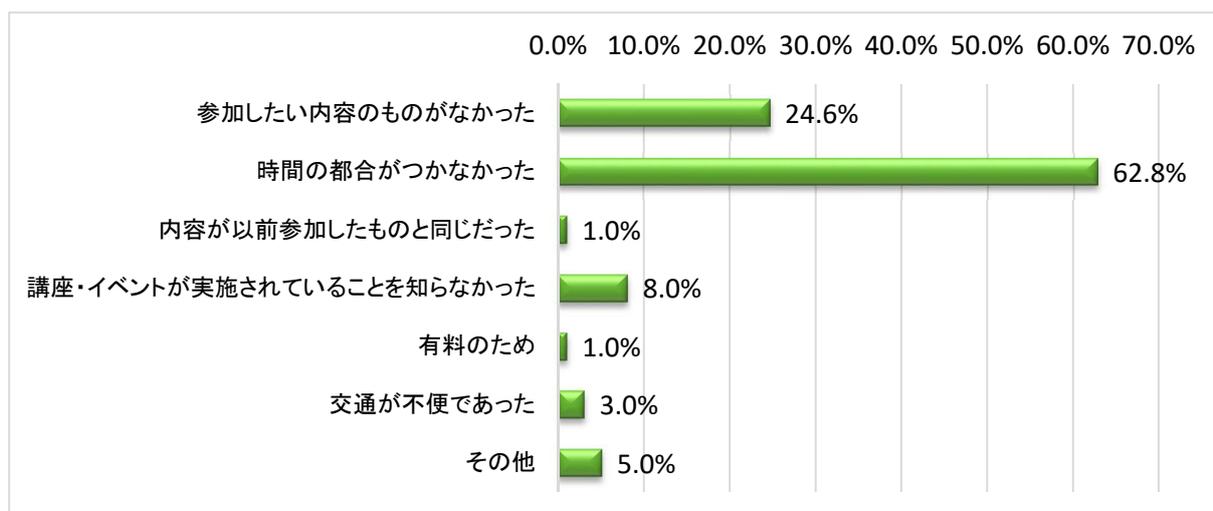


〈その他の記述〉 *7月納涼パーティー、10月文化祭～クラブ芸能発表会 *市民センター祭り *センターまつり *公民館まつり *文化センターフェスティバル *文化祭 *文化祭の設置・手伝い *料理 *みそ作り *救命法 *大掃除、樹木剪定

前問で「参加した」と回答された方に、参加した講座・イベントの内容について聞いたところ、「趣味・教養・芸術」が58.6%と最も多く、次いで、「地域づくり・地域活性化」の40.1%だった。

(3) 参加しなかった理由

回答数 199 (総数 210) ※複数回答有

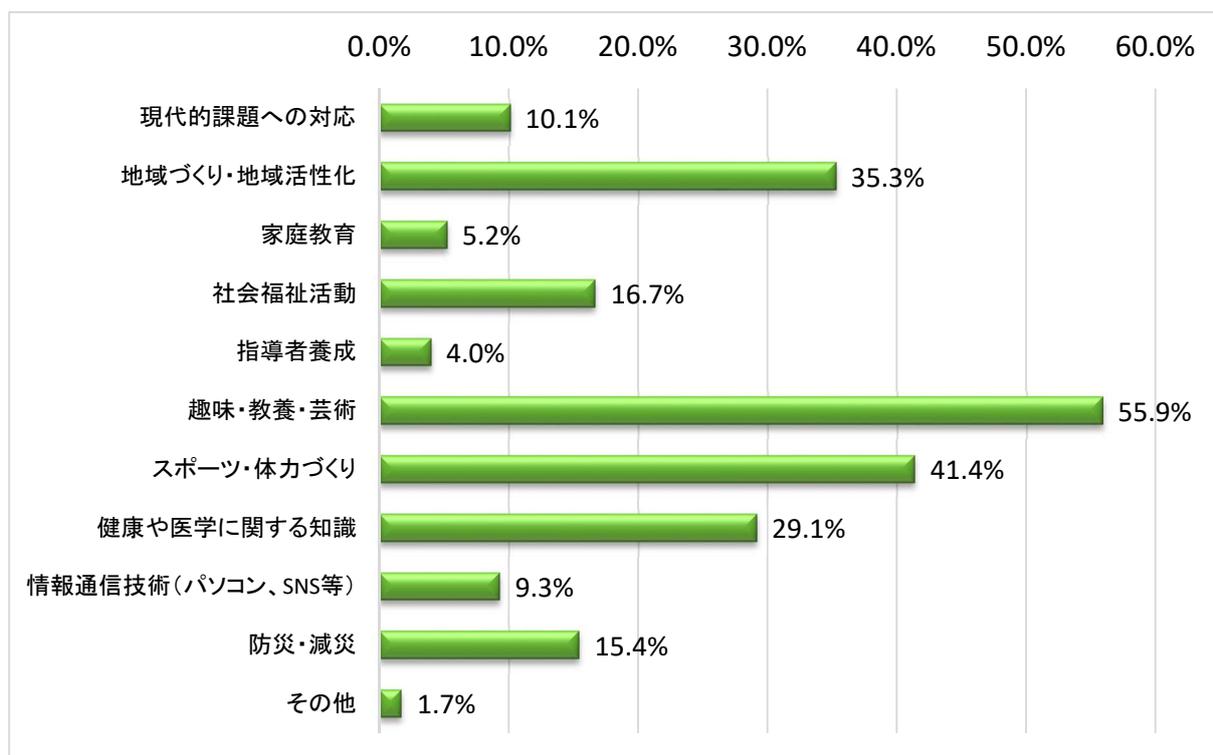


〈その他の記述〉 *足が悪く、来ることができなかった *都合が悪かった *人数不足 *イベントの内容が届いていない為
*歩くのが困難 *怪我をして入院し、その後大事をとった *講座、イベントがなかった

前々問で「参加していない」と回答された方に、その理由を聞いたところ、「時間の都合がつかなかった」が62.8%と過半数を占めた。

(4) 今後、参加したい講座・イベント

回答数 882 (総数 1,976) ※複数回答有



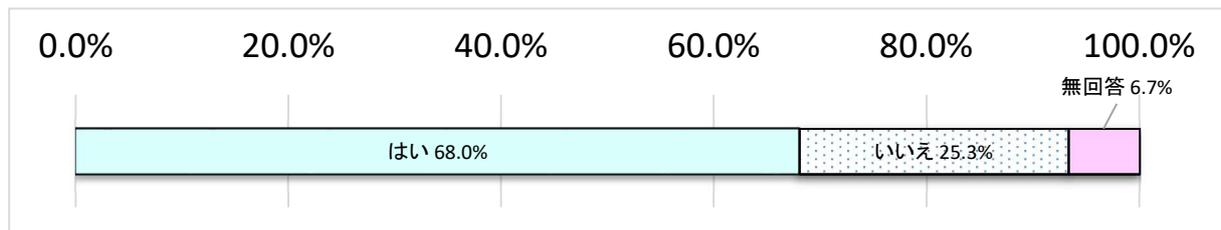
〈その他の記述〉 *カラオケクラブ *ゲートボール *センター祭り *公民館まつり *弘前市近郊の歴史講座、掃除、剪定
*文化講演会や弘前市の出前講座の開催

今後どのような講座・イベントに参加したいか聞いたところ、「趣味・教養・芸術」が55.9%と最も多く、次いで、「スポーツ・体力づくり」の41.4%だった。

問4 公民館への協力について

(1) 公民館主催の事業やイベントへの協力

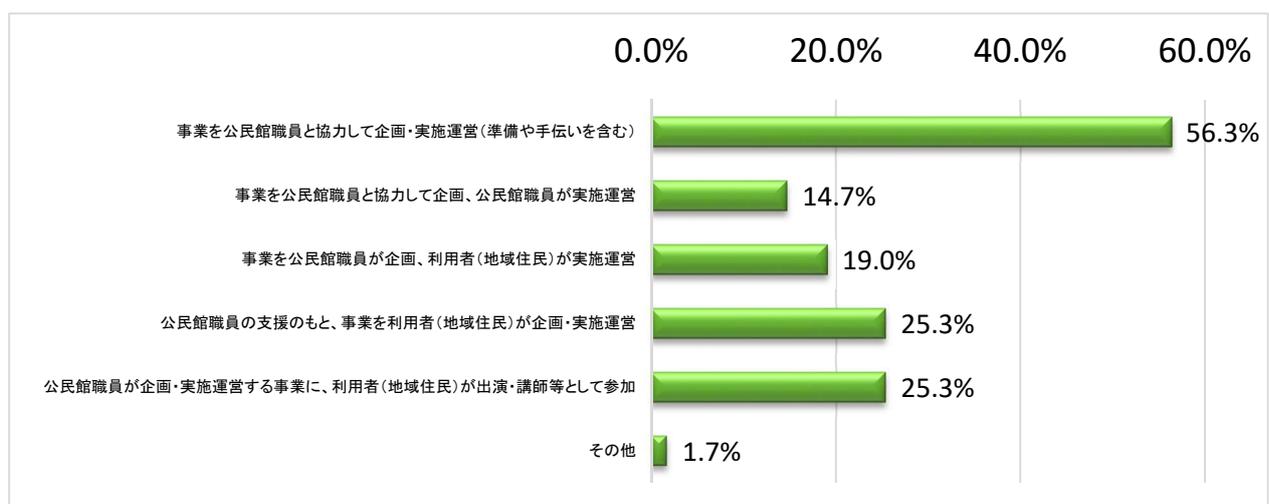
回答数 882



公民館主催の事業やイベントへの協力の有無を聞いたところ、「はい」が68.0%、「いいえ」が25.3%だった。

(2) 協力の仕方

回答数 600 (総数 854) ※複数回答有

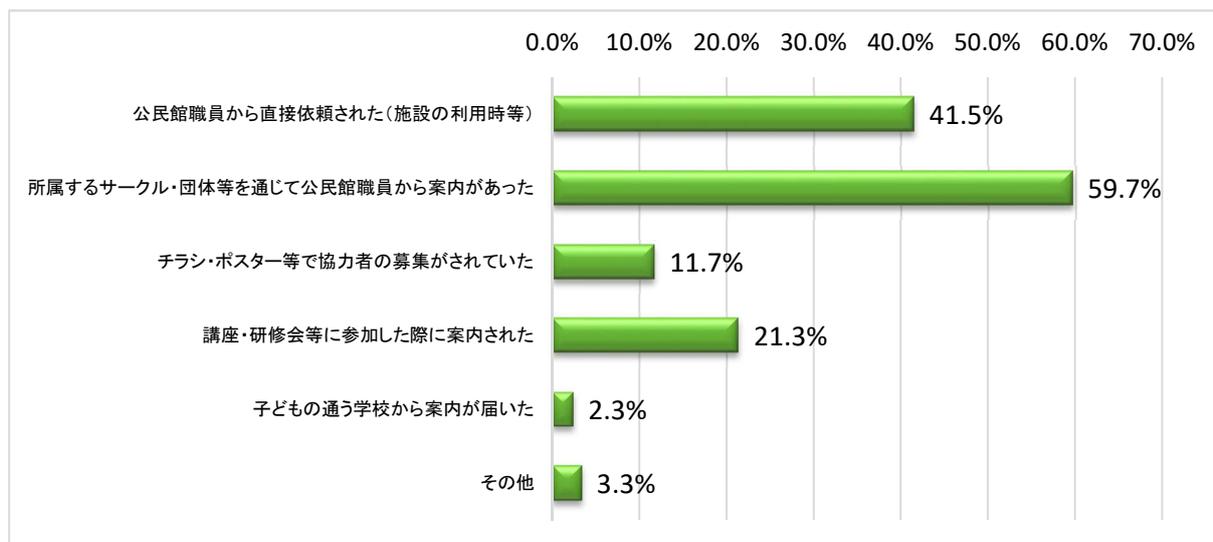


<その他の記述> *公民館のアイデアで参加した *文化祭への参加、協力 *文化祭への応援、会場設営 *私は公民館協会の副会長で、公民館より依頼があればすべて協力しています

前問で「はい」と回答された方に、公民館の事業への協力の仕方について聞いたところ、「事業を公民館職員と協力して企画・実施運営(準備や手伝いを含む)」という回答が56.3%と最も多かった。

(3) 協力のきっかけ

回答数 600 (総数 839) ※複数回答有

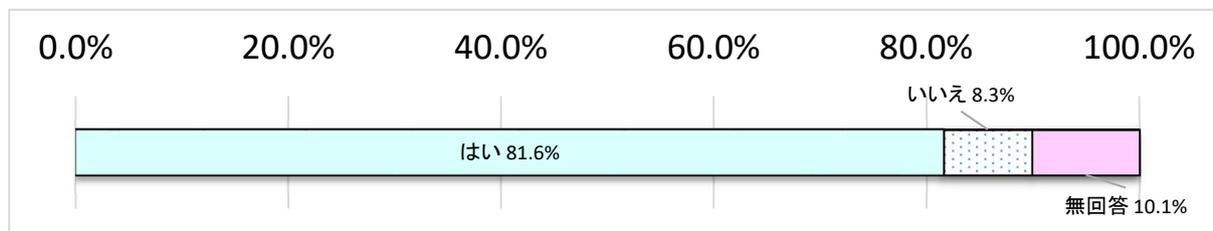


〈その他の記述〉 *東京都に住んでいた時にボランティアでパソコン相談に従事していた *深浦町でも何か協力できるのではないかと考えて公民館に相談した *広報 *地域の役員になっていたので *健康増進を目的とし、自動的に集まり、時にはおしゃべりやお茶、旅行など *団体として集いの場が必要となり、利用する *下北美術展への協力 町内会活動 *公民館協会役員として *町内会長から誘われて *公民館の大きな行事があるとき手伝い *町内 *町内会 *私は公民館協会の副会長で、公民館より依頼があればすべて協力しています *サークルよりお願いしている

公民館への協力はどのようなきっかけだったのか聞いたところ、「所属するサークル・団体等を通じて公民館職員から案内があった」が59.7%と最も多く、次いで、「公民館職員から直接依頼された(施設の利用時等)」の41.5%だった。

(4) 今後、公民館に協力したいか

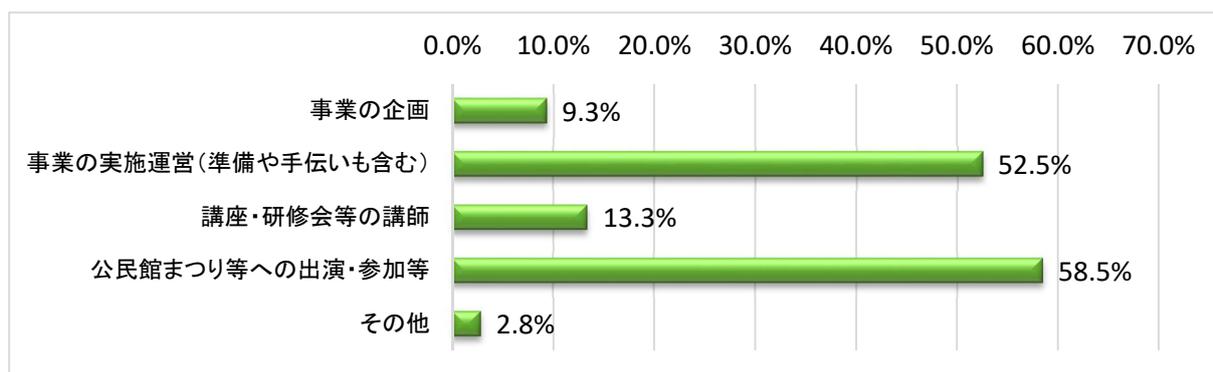
回答数 882



今後、公民館に協力したいか聞いたところ、「はい」が81.6%と過半数を占めた。

(5) 今後の公民館への協力の仕方

回答数 720 (総数 982) ※複数回答有

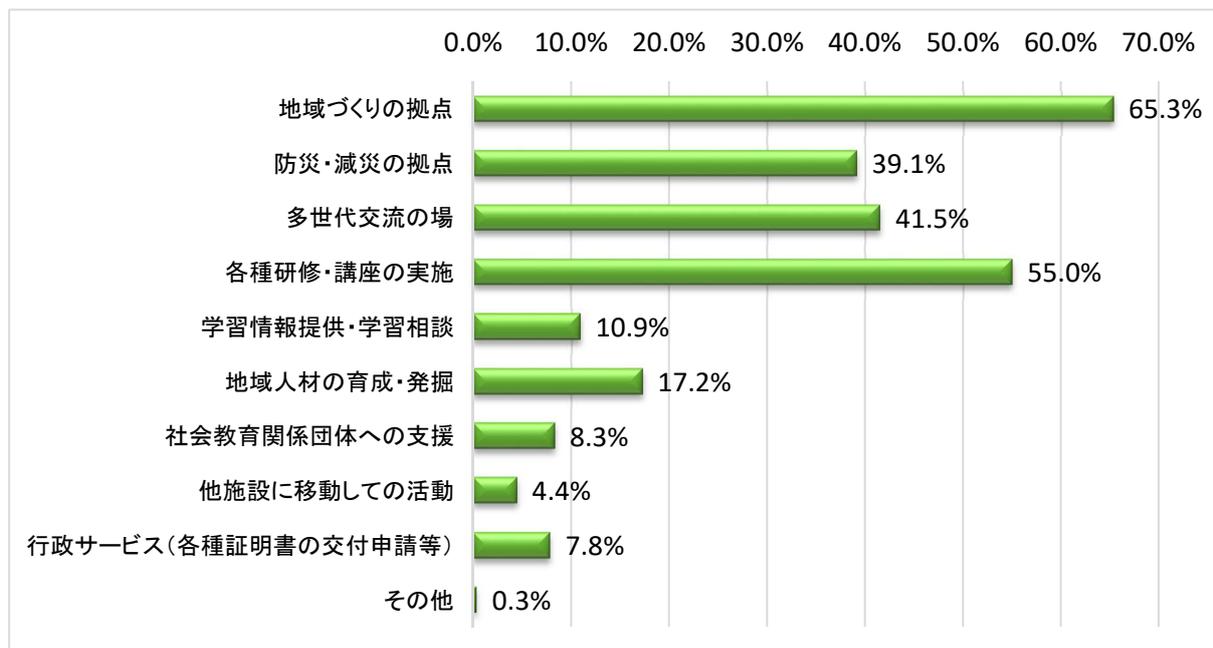


〈その他の記述〉 *公民館の事業に参加する *公民館祭りの準備 *研修 *自主クラブの講師 *卓球の練習 *協力できることに協力。上記の企画とくらなくても内容次第です。 *利用者として参加

前問で「はい」と回答された方に、今後の公民館への協力の仕方について聞いたところ、「公民館まつり等への出演・参加等」が58.5%と最も多く、次いで、「事業の実施運営(準備や手伝いを含む)」の52.5%だった。

問5 公民館に期待する事項

回答数 882 (総数 2,204) ※複数回答有



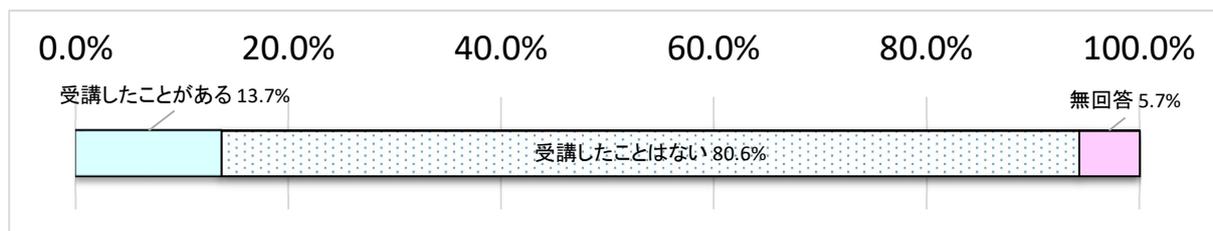
〈その他の記述〉 *職員のマナー、態度の改善 *各種団体（サークル）の順次（年1度は秋の文化祭だが、各季1度位のサイクルで）成果発表（展示その他）※場所が必要（前はあった！）

公民館に期待することは何か聞いたところ、「地域づくりの拠点」が 65.3%と最も多く、次いで、「各種研修・講座の実施」の 55.0%だった。

問6 社会人のキャリア形成を支援する取組について

(1) 若者・女性の就業や起業に向けた学び直しに関連する講座の受講

回答数 882



若者や女性の就業・起業に向けた学び直しに関わる講座を受講したことがあるか聞いたところ、「受講したことはない」が 80.6%と過半数を占めた。

(2) 今後、受講してみたいか

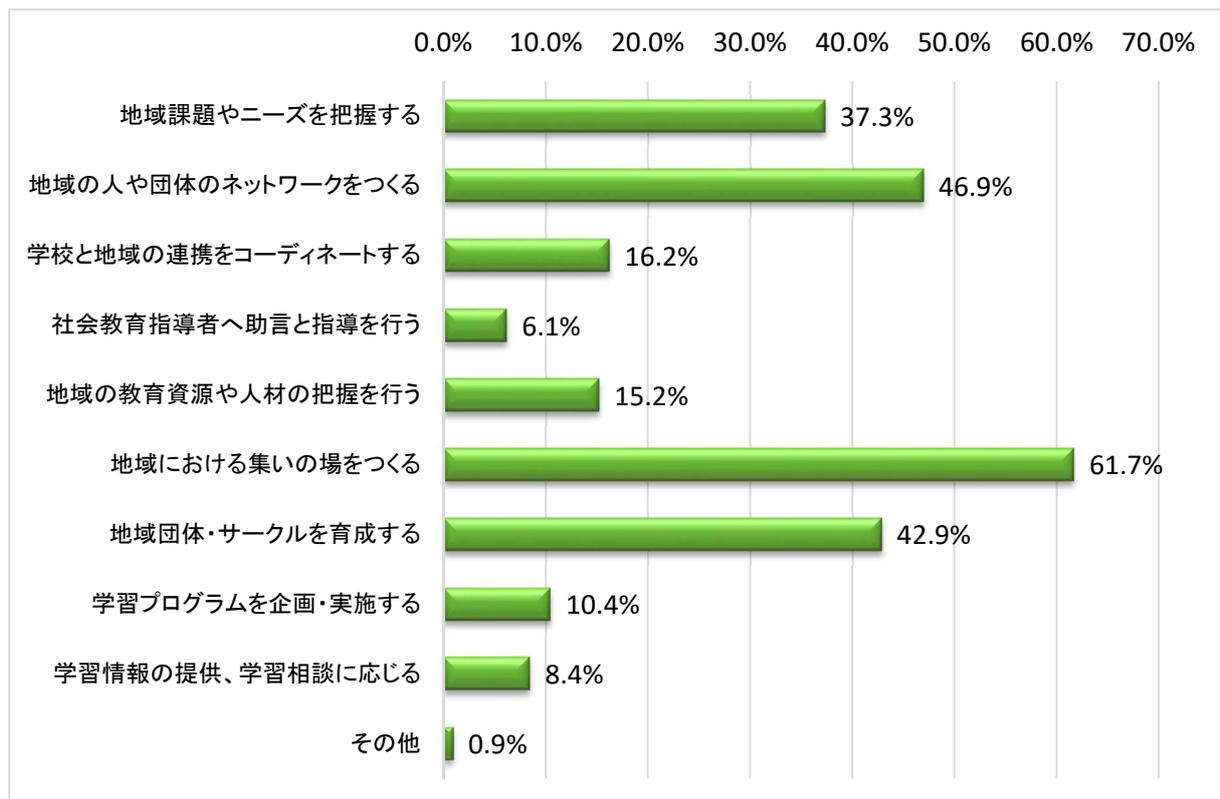
回答数 882



若者や女性の就業・起業に向けた学び直しに関わる講座が行なわれるのであれば、今後受講してみたいと思うか聞いたところ、「受講してみたい」が 37.8%と最も多く、次いで、「よくわからない」の 37.4%だった。

問7 公民館に期待する役割

回答数 882 (総数 2,170) ※複数回答有



<その他の記述> *職員は大変と思う。地域の人をお願いした方がよい。 *そこまで求めていない。普通に業務をしていただければ問題ない。 *職員には期待は無い。逆に使用者側に任せること。 *他のグループと平等な接遇、対応 *利用しやすい雰囲気、環境の拡大

公民館に期待する役割は何か聞いたところ、「地域における集いの場をつくる」が61.7%と最も多く、次いで、「地域の人や団体のネットワークをつくる」の46.9%だった。

問8 開講してほしい講座や実施してほしい研修、施設の整備等、公民館に望むこと

[東青地区]

*アンケートの結果を各公民館へ張り出して欲しい。問が難しい部分がありすぎ。なかなか書けないと思う。望むところはたくさんあるが時間が足りなくて書けない。
*公民館について理解できてない(目的)。
*防災、減災に少しずつ開講、継続していただけたらと思います。
*園芸、書道続けてほしい。
*すぐ思いつかないのですが。高齢者は必ずヒザ、コシ、カタが痛いといいます。予防法や痛みを緩和する集まりがあってもいいのかしら？
*東部市民センターは玄関からの窓口が小さく、中にある職員の顔がよく見えないのもう少し開放的に改装し交流できたら・・・と思う(ドアの上部をガラスにするとか・・・)。
*寒い時、体育館に暖房をお願いします(冬季中)。
*施設の整備、特に陶芸窯が古く、故障がたびたびあるので新設を希望します。
*ただただありがたい事だけです。又、職員に感謝感謝です。
*老老介護の講座
*色々な講座を実施していただいているので満足しています。職員の方も親切に接してくれるので今のところ満足しています。
*昨年、扇風機を設置して頂いたが、小さいので一部しか風がこない。容量の大きな扇風機が必要！(高齢者の利用も多いので熱中症対策は気になる)
*絵手紙
*スマホ教室などやってほしいです。
*臨機応変に柔軟な対応をしてほしい。
*休館日や夜間の図書返却ポストを作ってもらいたい。
*開館を午前9時にしてほしい。
*防災研修
*職員は地域の人(児童・高齢者を含めて)のことを考えて、講座や研修を実施しているので満足であると同時に感謝している。
*このままで、行事など頑張ってほしい。
*抽選時対応職員の接客を笑顔で対応してほしい。
*防災、その他
*人命救助の仕方、健康食事療法
*問7に関連して、他の市民センターに登録している団体等(サークル)を種類毎に分類し、その情報の開示。それによりサークル相互の繋がりが生まれると思う。分類としては運動系(水泳・卓球・バレー・・・)、文化系(合唱・吹奏楽・カラオケ・将棋・・・)、伝統芸能系(詩吟・能・手踊り・はやし・・・)等。
*中央市民センターは空調が必要です。
*防災に関する講座を開講してほしい。
*今までとかわりなく講座や研修などを実施してほしい。
*現状で良いです。
*施設の整備、利用法。回数を増やして広報して多くの人に知ってほしい。
*手品、写経、デッサン、簡単な彫刻、センター祭り中に体力測定等はどうでしょうか。
*高齢化時代となりましたので、地域の集いを実施して、ボケ防止のために賑やかに笑える会合ができればよいと思います。公民館の職員さんには毎度お世話になって感謝しております。
*今実施している講座で内容を充実してほしい。その為には講座開講月の取得日がなかなか取れないので、現在の内容充実しか考えられない。そこで施設の問題があるので具体的に検討が必要。
*急に聞かれても思い浮かばないので、アンケート(要望書)のかたちで意見を拾ってはどうか。
*受付で普通にあいさつ、マナー、普通にして頂くのが一番だと思います。
*高齢になると体を動かすことが大変です。ラジオ体操講座とかも良いと思います。今は写経を習いたいなあと思っています。
*多世代交流の場を作り、老若男女が一緒に楽しめる事業の企画・実施(多世代交流の料理教室やゲーム大会など)。*施設の雨漏りや破損箇所などが生じた場合は速やかな補修対策を行い、利用者に不便をかけないようにお願いしたい。
*満足している。多方面での活躍を期待しています。

*市民センターの数が足りていないように思います。 *交流の場を考えるなら Wi-Fi あってもいい気がします
*地域の皆さんが音楽に合わせて手・足・頭・身体をまんべんなく動かす運動が 3B 体操です。効果が現れ会員は仲良く楽しく元気になっています。シニアの皆様は体験していただく機会をぜひ作ってもらい沢山の元気なそして健康な方が増えていってくればうれしく思います。体験の講座の機会と実施を切に望みます。
*ボランティア活動の団体愛好会に対して施設の提供を望む *施設の未使用の時は回数に関係なく使用を認めてほしい *施設側で光熱費の負担が予想される時に使用を渋るのをやめてほしい。

[西北地区]

*マジック等、楽しくなるような講座。人生 100 歳時代をどう生きるかなど。健康でいられるような研修など。
*郷土料理教室（後世に残したい）、世代交流・国際交流（一緒にやるとおもしろい）
*料理教室
*料理、手芸
*私、高齢者は現状のままで満足です。
*暖房設備を取り入れてほしい（故障ありの部屋があるため）。
*地域住民が足を運びやすいように使いやすく、職員の対応も十分に満足できるよう配慮をこのまま維持してほしいと思います。
*ヨガサークルに参加しています。長く続けてほしい。
*パソコン教室、英会話教室。天井の強度が少し心配です。夏に網戸があれば嬉しいです。いつも気持ちよく利用させていただき感謝しています。
*エアコン設備
*スマートフォンの使い方
*ホールや会議室を利用しますが、机やイスなどを新しい物にしてもらいたい。

[中南地区]

*レザークラフト
*高齢者が元気で生活出来る為に今からでも出来る運動、食事のアドバイス
*高齢者に生きていく意欲と希望を抱かせる内容（病と取り組んで生きていく対策方法）等
*めずらしい料理の研修、陶芸もやってみたい。
*カメラの撮り方、SNS での情報発信など
*以前、社員研修で冠婚葬祭に出席する祭のマナーについて教えて頂いたのですが、頻繁に出席する事がない為忘れてしまっている、もしくは、正しいと思っている事が間違っていたりするので、そのような講座があってもよいのではないかなと思います。
*親子料理教室 *パティシエに教わるスイーツ教室 *韓国・ベトナムなど多国籍な人々との料理教室 *夏休み・冬休みの子供の宿題をやる教室（中央公民館でやっているのは時間が 10：00～だったので利用しづらい） *調理実習室のフライパンはテフロン加工などのくっつきにくいものにしてほしい。
*英会話教室など習い事
*鏡があるとヨガなどさまざまな運動につかう事が出来、幅が広がると思う。
*医療系講座
*公民館は老朽化しており、改築してもらえるように関係先をお願いしてほしい。
*現在にスタッフは全員大変良く行動されております。これからも継続して地域の為に頑張ってください！
*大変お世話になりありがとうございます。
*発達障害に関する情報
*学習センターに Wi-Fi がつながらないので大変不便。有線の電波につなぐ方法もあると思うんですが。
*麻雀大会
*現在、実施されている講座（スポーツ・体力づくり等）の回数が増えてくれると嬉しいです！
*クレーンが欲しい。夜、会合があると夏は暑いので。
*文化講演会や福祉座談会等の開催。公民館敷地内の駐車場が狭隘の為、行事等開催の時は近隣の敷地の“駐車場借り上げ”
*駐車場
*気楽にやってほしいです。
*清掃が良く快適に使っています。今後もこの場を与えてくださるようお願いいたします。

*畳替え、照明等改善
*トイレ、冷暖房
*トイレ
*公民館が新しくなったばかりでなく、職員さんの配慮がゆき届いていて気持ち良かったです。
*利用者（参加者）が全員机を利用出できるようにしてほしい。
*足の長いテーブルとイスがこれからは必要だと思うので用意してほしい。地区の敬老会開催できるくらいに！
*玄関先の改修、水道管の凍結防止のための改修、大屋根の改修、将来的にみて公民館の建て替えを切望する。
*公民館を新築してほしい。
*体育館、グラウンドの整備
*土、日以外の子どもの休みの間に講座、その他をしたらどうか？
*子供達が活動できる事、講座を実施してほしい。
*防災等の拠点としてももう少し強化してほしい。建物自体が老朽化している。
*最初と最後はお互い声がけをしましょう。他団体であっても会ったらあいさつをしましょう。利用者も職員もお互いしましょう。
*夏休みなどに子供達が勉強している姿がみらいいいなと思う。 *作品のギャラリーができてから平川市にもいろんな作品を製作する人がいることが分かって良かった。
*これからも子供達が夏休みや冬休みに自由に勉強できるようにしてほしいです。
*館内がいつもきれいに掃除されていて気持ちよく利用しています。ありがとうございます。
*Wi-Fi の充実
*サークル・団体活動等で市民を対象にした講座を開催する際に参加費（講師料・資料代の経費がかかるため）を頂くことを考慮願いたい。
*Wi-Fi を全館内で使用できたらうれしい。
*健康意識を高めるような講座 *地域を知ることができるような講座
*講座、研修会等（碓ヶ関の歩み、歴史について）
*シニア向けの運動やゲーム（例えば百人一首等）日本の昔からの室内でできる脳トレ用のゲームがあれば良いのですが。
*講座を希望するのですが、みんな日付けが重なって行きたくても出られなくなるのが困った。
*公民館に協力したのは若い時の事です。今は公民館へ行くことが大変楽しみです。職員の方達も優しくしてくれるし、皆さんに会えてお話しできるからです。感謝、感謝の気持ちです。
*手軽にやれるスポーツ（例えばボッチ等）や映画教室等は隔月くらいにやって欲しい。 *舞台の後列の蛍光灯つかないので早く直してほしい。（1～2年前から言ってるのに）
*自分の住んでる所がどうしてこの地区名になったのか、また（サンスケ）という木像が神社に置かれるようになったのか。町の歴史が知りたいので、そういう学習の場が欲しいです。
*網戸を付けて欲しい（和室）。
*ボルダリングの設置（常設）
*地域交流の仕方、関わり方とか

[上北地区]

*珈琲の入れ方、和菓子等の作り方
*予算の都合もあるでしょうが、施設を安心して使える様に整備を進めてほしい。
*郷土史講座。長期計画で毎年行う。テーマは縄文だったり、近世、現代だったり尽きない。 *「とっておきの話懇話会」への支援（記録保存、広報）。 *問5に書いたように、事業活動が見える様に展示棚、掲示板が必要。 *参加活動終了後、しばらく雑談できるロビーがほしい（ソファ、テーブル等も）。
*その年により年代問わず感心があるので、健康、音楽、絵（製作）、料理など、幅広く講座に取り入れて欲しい。
*古い建物ですが、掃除が行き届いていて、気持ちよく利用できます。
*現在実施しているものを頑張って下さい。
*地域の人材の特技を把握し、それを地域の人々に公開するような講座があればと思う。
*誰でも立ち寄れる、寄りたくなるような場としてあってほしい。具体的にはロビー（ある程度の広さがあり、3～4人が集まって話せるような）があった方がよいと思う。そうすれば男性も気軽に出来来る。
*20年以上公民館のお世話になり、大変感謝しています。
*趣味的な講座も良いのですが、スキルアップ研修などがあると嬉しいです。

*体力づくり講座、地域の歴史についての講座、音楽に関する講座。
*冷暖房完備にして欲しいです（部屋単位での個別に設定できるように）。暖房は一括管理のため、2階の部屋（暑すぎる）と1階の部屋の温度差がひどい。冷房は2階の和室にだけ設置されましたが、他の部屋にないので、夏、辛すぎます。
*ペン習字、編み物
*公民館に町職員が常駐していないので、顔が見えない。
*健康づくりの一環として、小規模な老人を対象としたスポーツ体操のような企画をして欲しい。
*週2回の活動に配慮してもらって感謝しています。
*電気
*現状で可。

[下北地区]

*シニア世代の交流の企画などを希望。
*中級程度のパソコン講座
*いつもありがとうございます。
*市政だよりだけだと、見逃すことがあります。
*移動図書館は来ていますか？曜日とか利用の方法などお知らせして欲しいです。
*公民館の整備等老朽化に伴い不便な先が多い。
*コミュニティスクールのコーディネートを積極的にやってほしい。 *今後も児童生徒の先品発表の場を提供下さるようお願いいたします。
*公民館使用料、目的によってかかる講座、かからない講座があるがその点もう少し考え下さい。
*サークルに入るまで公民館でこういう活動が行われていることを知りませんでした。存在や活動内容をもっとPRしてください。
*いつもご利用させて頂きありがとうございます。とてもいい環境で感謝しております。
*大畑公民館は週1回の割合で利用させて頂いているが、館員の皆さん、とても好意的で助けられています。
*地域の現状と今後の生活についての研修 *地域の集まりの場として重要なので施設の整備をお願いしたい。
*施設の整備等をしてもらいたい。特に外壁、屋根等の定期的な点検、補修等を実施してもらいたい。
*映画等の上映設備を設置してほしい。
*物づくりの講座を開催してほしい。
*興味のあるものは多いのですが時間があわず受講できないでいます。数回、夜の部で参加したことはあるのですが、なかなか夜の講習などはないので残念です。

[三八地区]

*網戸
*スキルアップの講座、若者向けの講座や研修があるとよい。
*今年度はとても充実した内容だったと思います。
*地元採用、地元就労を基本にして欲しい。知り合いが職員だと話しやすい、コミュニケーションをとりやすい。特に高齢者は、土地の言葉での交流が気持ち良い。東京弁は聞きにくい。
*ホール迄のエレベーター
*公民館ではなく行政に要望。近年の猛暑はお分かり戴けると思います。夏季の講習、サークル活動等受講者は勿論の事、職員、事務室の猛暑等最悪環境の改善を考慮願いたい。エアコン、クーラー導入の検討を宜しく。
*トイレの全面洋式化、季節ごとの手芸
*男の料理教室（酒の肴）
*館長さんと女子職員3名の皆さんには日々お世話になり感謝して居ります。公民館の設備は、年々よくなって居ります。わが老人クラブでも、職員4名の指導に感謝して居り、クラブ会員をまとめ小さな努力を数多く積み重ね、すべてに於いて、小さくてもやれば出来ることを忘れずに前進します。
*親子の集いを多く開催
*健康に関する講座（スポーツ、病気予防）、趣味に関する講座
*スマホの使い方、キャッシュレスへの対応など、社会生活上のツールについて、基本的なことを教えてくれる講座がほしい（高齢者対象として） *公民館の施設が老朽化してきているようです。
*健康で長生していく為の講座

*いつも大変お世話になっておりますので、特にありません。
*来館者を笑顔で迎えてほしい。
*軽自動車用の駐車スペースを見直して戴ければ駐車台数が増えると思われま（ブロック塀の軸壁に制約されているような印象です）。
*除雪についての希望です。いつも雪の日は除雪してくださってありがとうございます。サークル活動には高齢者が多い。公民館の出入口の除雪を階段だけでなく、歩道までの雪道を幅広くつけてくださるようお願いいたします。昨年度は階段下の道路がアイスバーン状態で会員には危ないといわれておりました。転倒や骨折の危険有り心配でした。大変細かいことですがよろしくお願いします。
*満足しています。
*エレベーター設置、監視カメラ
*公民館が狭く、活動に支障を来している。公民館の大形化を望む。定年後の20～30年の学び（生きがい）の場として重要な施設と考えている。
*公民館が手狭なのでなんとかしてほしい。
*公民館の使用頻度が多く、人数も多く、手狭に感ずるので公民館の建て直しが必要と思います。
*古い公民館なので、利用しやすい部屋などに建て替えを希望する（高齢者の増加に伴い、バリアフリーの部屋に）。
*トールペイント、布ぞうり、ペーパークラフトの小物の講座を希望します。男性も利用参加が出来る講座を増やしてほしいと思います。
*フラダンス、ウォーキング
*歴史講座の充実
*職員の方々の笑顔と親切丁寧な対応、気配りに気持ち良く利用できます。毎年、新講座・研修・イベント等々、多世代対象に興味津々ワクワクするものばかり楽しみにしています。今後共宜しくをお願いします。
*料理等の講座で「女性限定」として参加者を募るのは検討の余地があると思います。余談乍ら地域住民の交流・連帯の醸成に職員さんの力は大きい。
*移動教室の回数
*公民館独自でアンケートなどを取り、地域住民の要望を把握し企画してほしい。例えば、利用の項目、講座の項目他など。
*地域活性化の為、年齢問わず色々の企画をほしい。
*世代を越えてうまく生きて楽しい社会作りをできる講義がほしい（老齢・若者関係）。
*各地域団体の参加者が高齢化になっており、参加団体が減少傾向になっていると思う。
*①要望施設としてエレベーターとエアコン ②講座や自主活動で女性の参加が多く、男性が興味を示すような趣味の講座等があったらと思う。
*人材育成講座・趣味を含めた交流する講座等
*移動学習、施設の見学
*少数ですがカラオケ教室希望者がありました。
*トイレに手ふき用ジェットタオル
*読書界、歴史講座
*今のままで、ほぼ満足です。
*憲法や人権についての講座、子どもの権利についての講座や研修
*職員の対応が違う、三八域（公）お世話になってます。
*地域のコミュニケーションの場で大切な公民館です。出来る限り参加したいと思って居ります。
*昔からつたわる郷土料理講座
*調理道具の充実、健康体操等
*複数の公民館を利用させていただいてますが、それぞれに職員の皆様の対応がちがいます。いいところ、気になる所があるのですが、公民館職員の間で交流とか、うちはこうしてるとかあればいいかなあと思うところがあります。
*これまで通り、いろんなジャンルの講座や教室を開設してほしいと思います。
*図書の出し、デジカメ・スマホのコピー機の設置
*カラオケではない歌、合唱など大きな声でうたえる講座
*現在、公民館の利用にあたって前もって利用申込みが原則となっておりますが、高齢者が気楽にロビー等を利用できる（暖冷房を含め）ように事前の許可制度なしに出入りできるようになれば、新しい公民館像が描かれて来ると思います。

*ニュースポーツの講座
*男性向けの料理教室を企画してほしい。
*エレベーターがあれば、足が悪くても2Fのホール、部屋へいける。
*エレベーター、エアコンをつけてほしい。
*エレベーター、新しい倉庫、エアコン（ホール、事務所）きれいなトイレ（1F）、広い駐車場
*今後ともよろしくお願いします。
*防災・防犯のため講習会を開いて欲しい。高齢者が多くなっているので、忘れないうちに開催。
*トイレをウォシュレットにしてほしい。
*俳句・短歌等
*コピー事業を開始して足を運ぶ機会が増えて地域交流の拠点として効果は増している。職員の明るい対応に感謝している。月1程度で地域（有名人）人の講義などあってもよいか。
*高齢者に対応した軽微な体操
*スポーツクラブ等の開講
*一般歴史講座（地元ではなく）、パソコン（初期講座）、ワープロ講座
*男の料理を年3回位やってほしい。2階ホールの拡声設備をもう少し良いものにしてほしいです。
*1. 老人として生きがい 2. 家庭教育の講座（幼子の間にしつけておかなければならない親への教育） 3. 宗教（仏法）について
*洋式トイレを増やしてほしいです。
*絵画教室（水彩等）、音楽教室（ピアノ等）、視聴覚設備（ビデオ・DVD等）
*特にありません。大変良くしていただいているので。
*視聴覚教材や情報通信機器の充実
*広報に絵画をピーアールしていただきたい。
*公民館の活動をアピールしてどんなのがあるか知らせてほしい。
*民謡講座
*地域団体サークルの育成を進める事
*健康講座
*英会話サークル
*多世代交流の場を多く企画してほしい。

第3章 考察

I 公民館の管理・運営に関して

弘前学院大学 文学部 准教授 生島 美和

はじめに

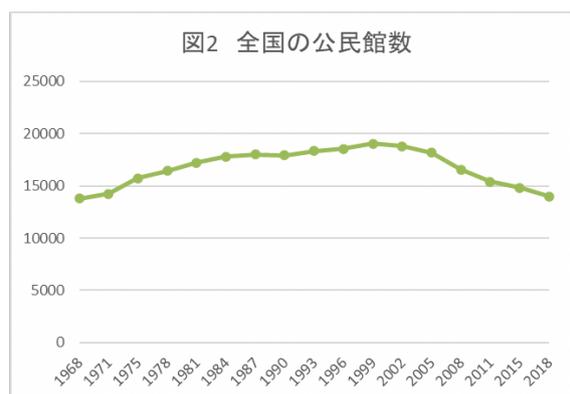
本調査は青森県内の公民館 169 館の館長（代表者）を対象とした悉皆調査および職員・利用者を対象とした意識調査である。公民館の管理・運営については、館長を対象とした 169 票のうち有効回答数は 128 票で回答率は 75.7%と比較的高い。このことから本調査が現在の青森県の公民館の傾向をおよそ示していると言えるであろう。以下では公民館の管理・運営の実態について、公民館の職員および利用者の関りや期待も重ねながら分析を行う。分析の対象とした問は章節タイトルにカッコで示した。「長」が館長対象、「職」が職員対象、「利」は利用者対象の調査であり、数字はそれぞれの調査票にある問の番号である。

なお、回答者の概要は次の通り。館長は、50～60代が 76.6%、男女比は 9：1 である。在職年数は 2 年以下が 54.7%と半数以上となっているが、直営で市町村の正規職員が就任し 3 年前後で異動があると想定される者も含まれる。一方で就任 5 年以上が 20.3%と 2 割を占めていた。職員は有効回答数が 449 で男女比が 1：2、回答者の半数が 40～50 代、勤務年数は 43.4%が 5 年以上である。利用者は有効回答数が 882 で男女比が 1：2、回答者の 64.3%が 60～70 代であり、80 代まで入れると 70%を超えていることから、高齢学習者が多く回答している。これらの回答者像をふまえていくことにしたい。

1 公民館運営の全体像

(1) 公民館施設・設備（長 2 1）

まず、ハードとしての公民館施設・設備について把握したい。回答のあった公民館の開設年は、最も早いもので文部次官通牒「公民館の設置及び運営について」が公布された年の 1946 年（1 館）であり、最も最近の開館が 2012 年（1 館）のものである。全体の 44.6%は 1966～1980 年、さらに 30.5%が 1980 年以降の開館である。このデータからは青森県において公民館が着々と開設されてきたように見えるが、しかし社会教育調査によれば青森県の公民館の全体数は 1978 年をピークに減少していること



から（図1）、分館や類似施設を含み統廃合し新規の公民館として設置されてきたことが予測される。この動向は、市町村合併やコミュニティセンター化により1999年をピークに減少している全国の動向とは異なっているとも言える（図2）。

また、現在使われている施設の建設年を見ると、1980年以前のもものが46.1%である。築40年以上の公民館が半数近くであり、老朽化による修繕や改築の必要性とともに、現代の学習ニーズ・求められる公民館機能に対応できているかといった課題が浮かび上がる。

（2）公民館の管理運営体制（長1・3・4）

2018年の社会教育調査（速報値）によると、全国の公民館14,281館のうち指定管理者制度を導入しているのは1,407（9.9%）であり、その割合は2008年以降それほど急激な変化がない。本調査で回答のあった公民館のうち施設管理及び事業の企画運営すべてを指定管理者に委託しているのは22館（17.2%）と全国に比して高い数値となっている。指定管理者の多くは「自治会や町会を母体とした組織」であることから、設置者である市町村側が公民館を地域自治の拠点としたり、公民館運営を通じた自治活動を期待していることが推察される。

開館時間は49.1%とおよそ半数が9時開館であり、さらに9時から22時までが全体の27.3%と最も高い率を示しており、かなり遅い時間までの開館により利便が図られていることがうかがえる。一方で「申請・必要に応じて開館」への回答が21.9%と2番目に高いことは留意しておくことにしたい。

休館日については、年末年始は80.5%が閉館となっている。平時については日曜・祝日を休館としているところが多い。

（3）公民館長が捉える近年の変化（長18）

公民館の「ここ3年程度に感じている変化」（公民館長対象、問18）の結果によると「予算が減った」と回答した率が42.2%である。4割もの公民館の予算が減らされていると見ることができ、裏を返せば6割弱の公民館は「この3年ではそれほど変わっていない」と見ることもできよう。また「住民の利用が増えた（23.4%）」「地域団体とのつながりが強まった（23.4%）」「公民館の活気が出た（14.1%）」と住民と公民館との関係強化、利活用の促進が図られていることが一定数見られる。一方で、「住民の利用が減った（35.2%）」「地域団体とのつながりが弱まった（12.5%）」「公民館の活気がなくなった（15.6%）」との回答もあり、住民と公民館との関係について深まる館と希薄になる館という具合に二極分化してきていることが懸念される。

2 公民館職員

（1）職員体制・職務について（長2）

まず館長の雇用形態は表1の通りで、常勤（専任・兼任）で40.6%、非常勤の嘱託職員が36.7%と大きく占めている。一方、前述のとおり指定管理者に施設管理及び事業の企画運営すべてを委託しているのが17.2%に対し、館長が指定管理者等の職員で

あるのは 10.2%と数値に開きがある。数値の分布で見ると、指定管理者に委託している 22 館の館長のうち、常勤・専任に 2、非常勤・嘱託職員が 9、指定管理者の職員が 8、その他が 1、無回答が 2 となっており、選択肢に雇用形態と雇用者が混同したことにより回答が割れたものと考えられる。

職員については、回答のあった 124 館のうち雇用形態に関わらず指導・事業系職員が一人もいないのが 41 館 (33.1%) である。また庶務・管理系職員を合わせてもいないのが 15 館 (12.0%) で、これらの多くは 1 (2) で見た「申請・必要に応じて開館」に回答しており、公民館が集会的な機能を持つものとして使われているとも捉えられる。

表 1 公民館長の雇用形態

	常勤・専任	常勤・兼任	非常勤・嘱託職員	指定管理者等職員	その他	無回答
館長の雇用形態	11.7%	28.9%	36.7%	10.2%	3.1%	9.4%

(2) 職員の研修 (長 17、職 4)

公民館機能を高めていこうとするのであれば、公民館職員の力量形成は不可欠であり、研修を通じた職員同士の学び合いの機会を得ることは重要である。研修の機会は民間事業者などが行うものもあるが、身近なところでは県や地域・市町村等でそれぞれ設けられている。

館長を対象とした調査において「貴館の職員に必要な研修はどのようなものだと考えるか」と 3 つまで複数回答で問うたところ、「地域課題・ニーズの把握」(46.9%) 「生涯学習・社会教育の基礎」(40.6%)、「地域づくりの基礎」(38.3%) といった社会教育施設および地域活動の拠点としての公民館運営を行うにあたり基礎的な内容について高い割合を示していた。この結果は職員を対象とし「あなたが今後参加したい研修の内容」という問いの回答とも共有するものである(順に、21.2%、16.3%、19.%)。一方で職員からは「参加型学習(ワークショップ)の企画・運営」(18.3%) や「スポーツ・レクリエーションの企画・運営」(16.0%) と実際に事業を充実化させるための方法論についても関心が高い。

では職員の研修への参加はどのような実態となっているか。ここ 1 年間での業務に関する研修会へ参加したのは 51.4% であり、その内容は「生涯学習・社会教育の基礎」(37.7%) や「地域づくりの基礎」(22.9%) が高い値を示している。そのほか、職員が参加した研修で多いものに「学校・家庭・地域の連携」(21.2%) があるが、これは今日の教育施策を反映し、県や地域レベルで研修の機会が多く設けられていたことが影響していると考えられる。また、研修への不参加理由について「業務が多忙」(43.9%) や「参加したい内容のものが無かった」(29.7%) が率の高いところであるが、「その他」で「情報や声かけが無い」「自分は対象外」といった内容が複数見られる。これらから、より多くの職員に研修の機会が回るためにも人員の配置や業務分掌、さらに館の職員内での情報提供が求められると言える。

3 公民館運営における住民参加（長5）

（1）公民館運営審議会などの組織

公民館は運営にあたり、住民が意見を述べたり運営に参加・参画することで住民の主体性の涵養や公民館活動の充実化が図られることも企図される。公民館運営審議会はその制度化されていたものであったが、平成11年（1999年）の社会教育法改正で必置から任意設置になったことにより、地域ごとの名称の変更による運用や住民参加の回路そのものの縮小も想定されてきた。本調査では「公民館運営審議会や公民館運営委員会」と例に出しながら、館長にその実態をたずねた。128館のうち「ある」の回答は75館（58.6%）であり、平均25.4名（最小値5、最大値300、中央値は19）で構成されている。会議の回数は1～12回まで開きがあるが平均では2.9回であり、協議内容は「年間事業計画に関すること」（82.7%）、「運営方針に関すること」（80.0%）、「事業の企画実施に関すること」（61.3%）が高くなっている。

（2）運営や主催事業への住民からの協力

また、公民館運営審議会や公民館運営委員会といった組織に関わらず、すべての公民館において運営や主催事業に住民からの協力が得られているかの問については、82.1%もの館が「積極的に協力してもらっている」「ある程度協力してもらっている」に回答した。これについて、先の住民参加組織の有無とのクロス集計を行ったところ、表2のようになった。母数が少ないので大きな差となっていないとはいえ、住民参加の組織が「ある」方が「ない」に比べて協力してもらっている割合が高くなっている。公民館運営や主催事業への住民からの協力にあたり、公民館がそれぞれで持っている住民の組織は参加の回路として比較的有用だと言えそうである。

表2 住民参加の組織の有無と住民の協力度のクロス表

住民参加の組織	積極的に協力してもらっている	ある程度協力してもらっている	あまり協力してもらえてない	ほとんど協力してもらえてない	無回答	計
ある	26 (34.7%)	41 (54.7%)	3 (4.0%)	0 (0%)	5 (6.7%)	75 (100%)
ない	13 (26.5%)	21 (42.9%)	11 (22.4%)	4 (8.2%)	0 (0%)	49 (100%)

4 公民館における防災・減災への取組（長19）

（1）災害への備え

公民館は東日本大震災そして近年の大雨・台風などの自然災害時などに避難所となり、住民の命を守り暮らしの再建へと踏み出す場となる経験をしてきた。平成24年時の調査にはなかったが、本調査では各公民館におけるこうした災害への備えについて、まず公民館施設そのものの状況を把握しようとしている。公民館が指定避難所になっているか否かについて、「なっている」に82.7%が回答しているが、表3のように耐震化の状況とのクロス集計を行うと、そのうち施設の耐震化がされていない館が35.2%あることは指摘しておきたい。また防災備品について、水や食料については地域状況によることも考えられる。自家発電（56.3%）、投光器（46.1%）、防災無線（53.1%）はおよそ半数の館で設置されているものの、電気・電力、情報はライフラインという

だけでなく、避難者に安心・安全をもたらすことから、より一層の配備が求められる。

さらに公民館が避難所になった場合に備え、「避難所運営マニュアル」の有無については、全体の49.2%が「ある」と回答しているが、これも指定避難所とのクロスで見ると（表4）、指定避難所になっていながらマニュアルがないところが38.1%析出され、早急に準備がなされ実用化に向けた周知が図られることを期待する。

表3 指定避難所と耐震化の有無のクロス表

	耐震化 されている	耐震化 する予定	耐震化 されていない	無回答	計
指定避難所 になっている	64 (61.0%)	1 (1.0%)	37 (35.2%)	3 (2.9%)	105 (100%)
指定避難所 になっていない	8 (38.1)	0 (0%)	11 (52.4%)	2 (9.5%)	21 (100%)

表4 指定避難所と運営マニュアルの有無のクロス表

	マニュアルが ある	マニュアルが ない	無回答	計
指定避難所 になっている	60 (57.1%)	40 (38.1%)	5 (4.8%)	105 (100%)
指定避難所 になっていない	3 (13.6%)	17 (77.3%)	2 (9.1%)	22 (100%)

(2) 公民館における防災活動への取組

防災・減災に向けては、施設・設備のみならず、「日常でできないことは非日常でもできない」と言われるように、平時からの地域づくりや住民一人一人の意識や学習が求められる。公民館において防災・減災についての取組実態については、「毎年実施している」への回答が49.2%となっている一方で、39.1%が「実施していない」と回答している。こうした防災・減災についての取組実態は、表5で分かるように避難所運営マニュアルの有無と大きく関連している。すなわち、運営マニュアルがある館の70%以上は毎年もしくは2、3年に一度取組を実施しているが、運営マニュアルがない館の半数は実施していないということが明らかとなった。

表5 避難所運営マニュアルの有無と防災への取組のクロス表

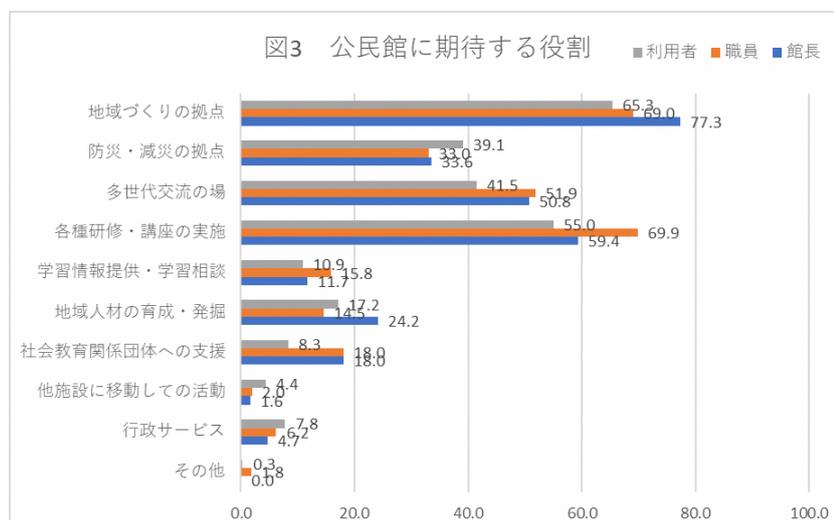
	防災への取組				計
	毎年実施	2, 3年に 一度実施	実施 していない	無回答	
運営マニュアルが ある	41 (65.1%)	4 (6.3%)	17 (27.0%)	1 (1.6%)	63 (100%)
運営マニュアルが ない	18 (31.0%)	5 (8.6%)	32 (55.2%)	3 (5.2%)	58 (100%)

なお、事業を実施している73館のうち、82.2%の館で避難訓練・避難所運営体験といった災害時の動きを実際にシミュレーションしようとする事業が実施されている。

また、「防災・減災の基礎知識習得」や「災害対策や応急手当などの技術講習会」、「地域の防災マップや避難経路確認などの実践的講座」について率が高く、今後ますます拡がり、防災を含んだ地域づくりへの学びと深化することが期待される。

5 公民館への期待（長16、職1・2・3、利5・7）

最後に、それぞれの立場から公民館にどのような役割が期待されているのか、重ね合わせて検討することにした。この質問は3者それぞれに対して問われているが、設定されている選択肢は共通するものである。公民館に対し期待していること（利用者）、または住民が期待していると考えること（館長・職員）を比較すると（図3）、その傾向はほとんど似通ったものであり、「地域づくりの拠点」（利用者65.3%、職員69.0%、館長77.3%）と「各種研修・講座の実施」（利用者55.0%、職員69.9%、館長59.4%）が高い率を示し、そのほか「多世代交流の場」や「防災・減災の拠点」としても期待されていることがわかる。



これを受けて、館長が「実施するために最も必要なことは何か」について「地域住民の参加・協力」（70.3%）が群を抜いて高い率を示し、さらに「地域人材・地域資源の把握」（28.1%）、「社会教育関係団体との連携」（26.6%）と地域住民・団体との連携・協力そして参加が必要と考えていることがわかる。一方で学校以外の教育関係機関、他の社会教育施設、民間企業・NPO、県・市町村といった公民館が対象とする地域から外に目を向けたところにある機関・団体との連携の値が低い。また「職員のスキルアップ」（26.6%）と共に、その他のコメントとして職員数不足・人材確保等が挙げられており、こうした地域との連携をするにあたって職員が果たす役割の大きさが認識されていることが読み取れよう。そしてこのことは、職員を対象とした調査における「地域から期待されている役割」および「実務上の比重が大きいもの」の問いのいずれにも「地域における集いの場をつくる」（順に72.6%、55.5%）や「地域の人や団体とのネットワークをつくる」（48.3%、32.5%）の比率が高いことにも反映されていると捉えられる。

また職員を対象とした調査において、「地域から期待されている役割」として「地域団体・サークルの育成」（32.7%）が「学習プログラムの企画・実施」（26.5%）を上

回っているが、「実務上の比重が大きいもの」では「団体・サークルの育成」(26.5%)よりも「学習プログラムの企画・実施」(34.7%)が上回っており、期待として感じていることと実務の齟齬があることが浮かび上がる。このことについて、利用者が職員に期待する役割としては「学習プログラムの企画・実施」が10.4%であるのに対し「地域団体・サークルの育成」が42.9%と高い率を示している。地域団体・サークルの育成を通じ住民の力量や主体性の形成、ひいてはネットワークの一員となっていくことが期待されることから、実務上の「学習プログラムの企画・実施」にあたり、「地域団体・サークルの育成」が目的意識化されることが求められるのではないだろうか。

おわりに

青森県の公民館の管理・運営の状況について、本調査を通じて見えたことを次の3点にまとめることにしたい。

1点目は、公民館が「地域づくりの拠点」として機能することが、多様な主体から期待され、また実態化されようとしていることである。公民館の設置者である市町村が町内会やまちづくり協議会を母体とする団体を指定管理者として運営を委託する、館長や職員が地域住民との連携・協力・ネットワークづくりや地域における集いの場づくりを重要とすることが浮かび上がっている。このことは、近年様々に想定される自然災害時に防災拠点として実質的に機能することにもつながるものである。調査からは施設の老朽化の実態も捉えられたが、住民主体の地域づくりの拠点として必要な施設・設備、そして災害時の備品などの整備も求められる。

こうした「地域づくりの拠点」としての機能が求められる一方で、2点目として職員体制の脆弱性が指摘される。公民館が地域住民との連携やネットワークづくり、また住民のニーズや地域課題に即した学習機会の提供を行うためには、それを実務とする館長・職員の力量に寄るところが大きい。しかし調査から見えたのは、職員(特に指導・事業系)がいない・少ない実態や兼任・非常勤・嘱託職員といった雇用状況であった。また「生涯学習・社会教育の基礎」や「地域課題・ニーズの把握」といった公民館運営を行うにあたり基礎的な内容の研修が求められる一方で、職員不足により研修に参加できないといった悪循環も生じている実態が見られる。公民館が住民主体の地域づくり・地域自治の基点となっていこうとするのであれば、各自治体において公民館職員の配置や処遇について改善が図られることが期待される。

上記をふまえ3点目として、公民館が単に「地域づくりの拠点」となるのではなく、地域づくりの担い手となる住民の主体的な学びの機会を提供し、住民の力量形成を通じて地域づくりの拠点になることが期待される。詳細は事業に関する結果の考察に委ねたいが、公民館が主催事業・イベントの実施を担うことから、地域団体・サークルを育成することへのシフトチェンジも求められているのではないか。これは住民の力量や主体性の形成、そしてネットワークの一員となる可能性を持つものである。このプロセスに寄り添うことこそが社会教育施設としての公民館だからできることであり、公民館を基点に住民主体の地域づくりを実態化させることになるだろう。

II 青森県における公民館事業の状況

弘前大学 教育学部 准教授 松本 大

●ポイント

1. 平成 24 年度調査と比較すると、主催事業を行う公民館の割合が低下している。
2. 平成 24 年度調査と同様に、主催事業において趣味・教養に関する講座・イベントが最も多い。
3. 社会的困難を抱える人びとに関する事業を実施している公民館はかなり少ない。
4. 平成 24 年度調査と同様に、地域づくりを重視する公民館は多いものの、実際に地域づくりに関する事業を行う公民館は少ない。
5. 平成 24 年度調査と比較すると、「外部との連携・協働」による事業は増えているものの、「利用者や住民との協働のレベル」が低下している。
6. 平成 24 年度調査と比較すると、「学習成果の活用」も低下している。
7. 政策的示唆
 - ① 地域づくりにつながる社会教育的方法のあり方を改めて問い直し、研修等とおして共有していく必要があるのではないか。
 - ② 連携・協働の目的や意味を改めて共有する必要があるのではないか。

はじめに

本考察では、公民館の「事業」に着目して調査結果を整理していく。青森県教育委員会では、同じく公民館をテーマに平成 24 年度に県民調査を実施している（青森県教育委員会『公民館機能に関する現状調査報告書』、平成 25 年 3 月）。そこで**本考察では、主に平成 24 年度調査と今回の調査との単純集計を比較しながら、公民館の事業に関する現状を明らかにし、青森県における政策的な示唆を提示する¹**。要点は最初に示したとおりであり、その順番で説明を加えていく。

1 主催事業を行う公民館の割合の変化

表 1 運営状況（館長調査「問 6」） (%)

	常時開館し、 主催事業がある	常時開館だが、 主催事業はない	集会等の利用が あった際に開館	無回答
今回（令和元年度）	73.4	10.2	16.4	0.0
前回（平成 24 年度）	78.1	10.5	10.5	0.9

表 1 は、今回の調査と平成 24 年度調査の運営状況に関する結果を比較したものである。平成 24 年度調査と比較して、「常時開館し、主催事業がある」公民館の割合が減少した一方、「集会機能が主で、集会等の利用があった際に開館する」公民館の割合が増加していることがわかる。公民館は社会教育施設であり、単なる集会施設では

¹ なお平成 24 年度調査については、当時の単純集計表をもとに筆者の方で適宜再集計を行った。そのため、当時の報告書の数値とは異なる場合がある。

ない。社会教育施設としての公民館の柱となっているのが、住民の学習活動に対する職員による支援である。そしてその住民の学習活動に対する職員の支援の中心となるのが主催事業である。主催事業を行う公民館の減少、そして主催事業のない公民館の増加は、社会教育行政の根幹に関わることであると思われる。

なおこの「運営状況」について、「管理運営形態」（館長調査：問1）とクロス集計してみたが、直営や指定管理者によって主催事業の有無が大きく異なることはなかった。管理運営形態に関わらず、全体的に減少しているのである。

2 主催事業の内容

表2 主催事業回数で「回数が多いテーマ上位3つの割合²」と「地域づくりの割合」（館長調査「問7」）（%）

	趣味・教養・芸術 ³	スポーツ・体力づくり ⁴	家庭教育支援	地域づくり・地域活性化
今回（令和元年度）	46.8	20.9	9.7	5.6
前回（平成24年度）	60.2	54.0	37.2	34.5

表2は、主催事業を実施している公民館における主催事業実施回数の割合を整理したものである。平成24年度調査も今回の調査も、実施回数の多いテーマの上位3つに変化はなかった。どちらも、最も多いのは「趣味・教養・芸術」であり、その次に「スポーツ・体力づくり」が続く。青森県における公民館主催事業の約半分は「趣味・教養・芸術」であるということがわかる。

公民館の講座において趣味・教養を学ぶテーマが多いことは経験的に知られており、一般的には、そうした講座はカルチャーセンターとどう違うのかとネガティブに評価されることが多かった。しかし、特に青森県の場合、公民館における「趣味・教養」講座を一面的に否定的に評価することは避けた方がよい。とりわけ農村部では、公民館は農閑期に高齢者が趣味・教養の学びをとおして集うことで、生きがい形成に重要な役割を果たしてきている。むしろ問うべきは、「何を学ぶのか」というよりも、それを「いかに学ぶのか」ということである。「いかに学ぶのか」ということをめぐる課題については後述する。

3 社会的困難を抱える人びとに関する事業の現状

「何を学ぶのか」よりも「いかに学ぶのか」が重要であると指摘したが、今回の調査結果で私が最も衝撃を受けたのは、社会的困難を抱えた人びとを対象とした講座の現状である。具体的には、障害者支援に関する主催事業を実施している公民館は（館長調査「問9」）、2.1%しか青森県に存在しない。これはあまりにも少なすぎるのではないか。関係機関には早急な対応をお願いしたい。学齢期は学校教育を中心とした支援が整備されているが、卒業後の学習や社会参加を保障するのは社会教育の役割であ

² 今回の調査と平成24年度調査では調査票の選択肢が異なっている。今回の調査では、1年間の実施回数を記入してもらった。平成24年度調査では（館長調査「問9」）、「1回」「2回以上5回未満」「5回以上10回未満」「10回以上」から選択するものであった。表2における平成24年度調査の数値は、「1回」から「10回以上」までの合計回答数を、主催事業実施館数（113館）で割ったものである。

³ 平成24年度調査では「趣味・芸術」

⁴ 平成24年度調査では「健康・体力づくり」

る。同様に、若者・女性の就業や起業に向けた学び直しに関わる講座を実施したことがある公民館も（館長調査「問12」）、3.2%しかない。地域づくりに関心をもつ施設や職員は多いが、こうした一人ひとりの生活課題や「困り事」を解決することが地域づくりにつながる。なぜ地域づくりに関心はあるのに、これら社会的困難を抱えた人びとへの取組にならないのか。地域づくりの概念そのものを再検討する必要があると思われる。

4 地域づくりを重視しているのに、地域づくりに関する事業は少ない

表3は、今後重要だと思う講座・イベントや、公民館が住民から期待されている役割として「地域づくり」「地域づくりの拠点」と回答した割合である。館長の約7割は、地域づくりに関する講座・イベントが今後重要だと回答し、住民から期待されている役割も「地域づくりの拠点」と回答している。これは選択肢のなかで最も多い割合となっている。また、利用者自身も約6割が公民館に「地域づくりの拠点」となることを期待しており、これも全ての選択肢のなかで最も多い。

しかしながら、表2でみたように、実際の「地域づくり・地域活性化」に関する主催事業の実施回数の割合は全体の5.6%である。公民館としても利用者としても地域づくりに多大な関心を持っているが、実際には地域づくりに関する事業は少ないのである。これをどう理解したらよいのだろうか。そこで職員の実際の業務の割合をみってみる。

表3 今後重要だと思う講座・イベント（館長調査「問15」）／公民館が住民から期待されている役割（館長調査「問16」、利用者調査「問5」） (%)

	今後重要だと思う講座・イベント（地域づくり）	住民から期待されている事項（地域づくりの拠点）
館長対象	71.3	77.3
利用者対象	—	65.3

表4 職員として実務上の比重が大きいもの（職員調査「問3」） (%)

	地域課題やニーズ	ネットワーク	学校と地域の連携	助言と指導	地域資源や人材把握	集いの場をつくる	団体・サークル育成	学習プログラム企画実施	情報提供・学習相談
今回（令和元年度）	33.4	32.5	13.1	5.1	13.8	55.5	26.5	34.7	9.1
前回（平成24年度） ⁵	35.9	—	25.2	5.7	18.2	—	33.9	40.1	14.2

表4は、職員としての実際の業務の割合を示している。これをみると、今回の調査で最も割合が高かったのは、「地域における集いの場をつくる」で55.5%であった。ただし、この選択肢は今回の調査から新しく設けたものである。注目したいのは、平成24年度調査と比較すると、全ての選択肢において今回の調査結果が下回っていることである。表4の項目は、職員としての具体的な方法論・支援論の実際を意味しているわけだが、つまりこの結果は、それら公民館職員としての方法論・支援論が弱体化していることを示しているのではないかと。地域づくりが重要な課題であることはもちろん十分理解されており、住民の集いの場をつくることもかなり意識されているが、そのための方法論・支援論が曖昧になっているといえる。表4の項目は、公民館職員

⁵ 平成24年度調査の数値は、回答数を回答者数（401名）で割って算出した。

の伝統的で日常的な方法論であり、それぞれが地域づくりにつながる要素を持っている。にもかかわらず、それらの方法論・支援論が弱体化しており、そのことが地域づくりに関する事業の減少につながっているように予想できる。

5 外部との連携・協働による事業の現状

表5は、主催事業を関係機関・団体と連携・協力して実施した割合である。今回の調査と平成24年度調査では選択肢が異なっており、さらに表5における平成24年度調査の数値は「講座・研修会」に限定したものである。そのため単純に評価することはできないが、ほとんどの項目で前回調査よりも関係機関・団体と連携・協力して事業実施に取り組む公民館は増加していると言えそうである。

しかしながら、平成24年度調査と比較すると、利用者（住民）との協働による事業実施が、実態としても意向としても低下しているのは気になるところである（表6）。つまり外部との連携・協働による事業実施は増加しているものの、肝心な利用者や住民との連携・協働はやや停滞している。公民館にとって重要なのは、そこで暮らす住民自身であり、学ぶ利用者自身である。連携・協働の本来的な意義とは、利用者（住民）にとってより良い学びをつくることにある。利用者（住民）との協働は、彼らの主体的な学びを引き出し、地域づくりの主人公を育てていくうえで有益である。

表5 主催事業を関係機関・団体と連携・協力して実施した割合（館長調査「問8」）（%）

	社会教育関係団体	他の公民館	公民館以外の社会教育施設	児童館・学童保育	福祉施設・社協	小・中・高・特	大学等	NPO法人	教育委員会以外の他部局
今回（令和元年度） ⁶	37.2	24.5	20.2	42.6	40.4	52.1	14.9	8.5	30.9
前回（平成24年度） ⁷	22.1	5.3	8.8	-	-	10.6	6.2	4.4	8.0

表6 主催事業を利用者（住民）と協働で実施した状況（職員調査「問6」）（%）

	問6（1） 利用者（住民）との協働による事業実施の経験	問6（2） 事業を協働して企画・実施運営	問6（4） 今後、利用者（住民）と協働して実施したいか
今回（令和元年度）	73.5	59.4	75.9
前回（平成24年度）	78.3	65.9	84.5

6 学習成果の活用

表7 学習成果等を活用できる場の設定や機会の提供（館長調査「問13」）（%）

	行っている	行っていない	無回答
今回（令和元年度）	26.6	68.1	5.3
前回（平成24年度） ⁸	31.0	43.4	0.1

表7は、講座や研修の修了者に対して学習成果等を活用できる場の設定や機会の提供をしている公民館の割合を整理したものである。平成24年度調査から比べると、

⁶ 今回の調査では、「1～2回」「3～5回」「6回以上」の3つで質問している。ここでは、その3つを合わせた回答数の割合で算出した。

⁷ 平成24年度調査では、「講座・研修会」で連携・協力している関係機関・団体の割合。回答数を回答者数（113館）で割って算出した。

⁸ 平成24年度調査の数値は、回答数を、主催事業を実施している館数（113館）で割ったものである。

学習成果を活用できる場の設定や機会提供を「行っている」公民館の割合は減少している。 本当の意味での学習支援とは、学習者が公民館をとおして学んだことを自ら発展させていき、その人の生き方や暮らしをより豊かにしていくことである。そのためにも講座修了者を公民館のなかでつなげていき、講座や公民館そのものへの参加を発展させていくことが必要である。それが先ほど言及した、利用者（住民）との連携・協働にも結びついていく。そしてこれが「いかに学ぶのか」の1つの要素でもある。

おわりに — 政策的示唆 —

- ① 「地域づくり」は重大な関心事として受け止められているが、実際には「地域づくり」に関する事業数は少ない。ニーズを把握し、講座をつくり、団体を育成し、ネットワークを作っていくという公民館職員の伝統的な方法論・支援論も弱体化しつつある。しかし本来これらは地域づくりの方法論そのものでもある。公民館関係者のなかで「地域づくりとは何か」が曖昧になっている恐れがある。社会的困難を抱える人を対象とした事業も少ない。地域づくりにつながる社会教育的方法のあり方を改めて問い直し、研修等をとおして共有していく必要があるのではないか。地域課題を考えるワークショップだけが地域づくり事業ではないのだから。
- ② 平成24年度調査と比較すると、外部との連携・協働による事業は著しく増えている。これは近年の政策的な成果であるといえるが、今後は利用者（住民）との連携・協働をいかにつくるのか、利用者（住民）の学習を地域でいかに循環させていくのかということにも目を向ける必要がある。公民館に参加し、連携・協働する主体はあくまで利用者（住民）である。連携・協働の目的や意味を改めて共有する必要があると思われる。

第4章 資料

調査結果単純集計表

対象:公民館の館長(代表者)

問1(1) 管理運営形態について、次の選択肢のどれか。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 直営(設置者が施設の管理・事業の企画運営を行う)	88	68.8%	68.8%	68.8%
2 直営だが、施設の管理は指定管理者に委託している	4	3.1%	3.1%	71.9%
3 直営だが、事業の企画運営は指定管理者に委託している	3	2.3%	2.3%	74.2%
4 すべてを指定管理者に委託している	22	17.2%	17.2%	91.4%
5 その他	11	8.6%	8.6%	100.0%
小計	128	100.0%	100.0%	
無回答	0	0.0%		
合計	128	100.0%		

問1(2) 指定管理者の種別について、次の選択肢のどれか。 ※(1)で2・3・4と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 自治会や町内会を母体とした組織(〇〇協議会、〇〇振興会など)	24	82.8%	82.8%	82.8%
2 市民団体、NPO法人	1	3.4%	3.4%	86.2%
3 1、2以外の財団法人、社団法人	0	0.0%	0.0%	86.2%
4 民間企業	4	13.8%	13.8%	100.0%
5 その他	0	0.0%	0.0%	100.0%
小計	29	100.0%	100.0%	
無回答	0	0.0%		
合計	29	100.0%		

問1(3) 指定管理者制度の契約期間 ※(1)で2・3・4と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1年契約の1年目	1	3.4%	3.8%	3.8%
2年契約の2年目	1	3.4%	3.8%	7.7%
4年契約の1年目	1	3.4%	3.8%	11.5%
5年契約の1年目	4	13.8%	15.4%	26.9%
5年契約の2年目	9	31.0%	34.6%	61.5%
5年契約の3年目	1	3.4%	3.8%	65.4%
5年契約の4年目	2	6.9%	7.7%	73.1%
5年契約の5年目	6	20.7%	23.1%	96.2%
15年契約の14年目	1	3.4%	3.8%	100.0%
小計	26	89.7%	100.0%	
無回答	3	10.3%		
合計	29	100.0%		

問2(1) 職員数

(館長)	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1.設置者職員 常勤 専任	15	11.7%	12.9%	12.9%
2.設置者職員 常勤 兼任	37	28.9%	31.9%	44.8%
3.設置者職員 非常勤・嘱託職員	47	36.7%	40.5%	85.3%
4.指定管理者等職員	13	10.2%	11.2%	96.6%
5.その他	4	3.1%	3.4%	100.0%
小計	116	90.6%	100.0%	
無回答	12	9.4%		
合計	128	100.0%		

(指導・事業系職員)	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1.設置者職員 常勤 専任	51	19.8%		
2.設置者職員 常勤 兼任	54	20.9%		
3.設置者職員 非常勤・嘱託職員	106	41.1%		
4.指定管理者等職員	44	17.1%		
5.その他	3	1.2%		
合計	258	100.0%		
<設置者職員 常勤 専任>				
0人	107			
1人	11			
2～5人	3			
6～10人	2			
11人以上	1			
無回答	4			
合計	128			
<設置者職員 常勤 兼任>				
0人	104			
1人	10			
2～5人	8			
6～10人	2			
11人以上	0			
無回答	4			
合計	128			
<設置者職員 非常勤・嘱託職員>				
0人	89			
1人	7			
2～5人	27			
6～10人	0			
11人以上	1			
無回答	4			
合計	128			
<指定管理者等職員>				
0人	111			
1人	2			
2～5人	9			
6～10人	2			
11人以上	0			
無回答	4			
合計	128			
<その他>				
0人	122			
1人	1			
2～5人	1			
6～10人	0			
11人以上	0			
無回答	4			
合計	128			

(庶務・管理系職員)	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1.設置者職員 常勤 専任	31	11.9%		
2.設置者職員 常勤 兼任	44	16.9%		
3.設置者職員 非常勤・嘱託職員	113	43.3%		
4.指定管理者等職員	64	24.5%		
5.その他	9	3.4%		
合計	261	100.0%		

<設置者職員 常勤 専任>				
0人	108			
1人	10			
2～5人	6			
6～10人	1			
11人以上	0			
無回答	3			
合計	128			
<設置者職員 常勤 兼任>				
0人	104			
1人	11			
2～5人	8			
6～10人	2			
11人以上	0			
無回答	3			
合計	128			
<設置者職員 非常勤・嘱託職員>				
0人	81			
1人	19			
2～5人	23			
6～10人	0			
11人以上	2			
無回答	3			
合計	128			
<指定管理者等職員>				
0人	112			
1人	3			
2～5人	7			
6～10人	0			
11人以上	3			
無回答	3			
合計	128			
<その他>				
0人	119			
1人	3			
2～5人	3			
6～10人	0			
11人以上	0			
無回答	3			
合計	128			

問2(2) 館長の性別、年齢、在職年数

(性別)	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 男	111	86.7%	88.8%	88.8%
2 女	14	10.9%	11.2%	100.0%
小計	125	97.7%	100.0%	
無回答	3	2.3%		
合計	128	100.0%		

(年齢)	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 39歳以下	1	0.8%	0.8%	0.8%
2 40～49歳	4	3.1%	3.2%	4.0%
3 50～59歳	45	35.2%	36.0%	40.0%
4 60～69歳	52	40.6%	41.6%	81.6%
5 70歳以上	23	18.0%	18.4%	100.0%
小計	125	97.7%	100.0%	
無回答	3	2.3%		
合計	128	100.0%		

(在職年数)	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 1年	38	29.7%	30.6%	30.6%
2 2年	32	25.0%	25.8%	56.5%
3 3年	17	13.3%	13.7%	70.2%
4 4年	11	8.6%	8.9%	79.0%
5 5年以上	26	20.3%	21.0%	100.0%
小計	124	96.9%	100.0%	
無回答 無回答	4	3.1%		
合計	128	100.0%		

問2(3) 館長を除く職員の性別、年齢、勤務年数

(男性 年齢別)		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	29歳以下	22	10.8%		
2	30～39歳	33	16.3%		
3	40～49歳	45	22.2%		
4	50～59歳	33	16.3%		
5	60歳以上	70	34.5%		
合計		203	100.0%		
<29歳以下>					
	0人	111			
	1人	11			
	2～5人	4			
	6～10人	0			
	11人以上	0			
	無回答	2			
	合計	128			
<30～39歳>					
	0人	99			
	1人	23			
	2～5人	4			
	6～10人	0			
	11人以上	0			
	無回答	2			
	合計	128			
<40～49歳>					
	0人	95			
	1人	23			
	2～5人	8			
	6～10人	0			
	11人以上	0			
	無回答	2			
	合計	128			
<50～59歳>					
	0人	101			
	1人	19			
	2～5人	6			
	6～10人	0			
	11人以上	0			
	無回答	2			
	合計	128			
<60歳以上>					
	0人	87			
	1人	26			
	2～5人	12			
	6～10人	1			
	11人以上	0			
	無回答	2			
	合計	128			

(女性 年齢別)		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	29歳以下	20	6.2%		
2	30～39歳	51	15.9%		
3	40～49歳	78	24.3%		
4	50～59歳	110	34.3%		
5	60歳以上	62	19.3%		
合計		321	100.0%		
<29歳以下>					
	0人	111			
	1人	11			
	2～5人	4			
	6～10人	0			
	無回答	2			
	合計	128			
<30～39歳>					
	0人	91			
	1人	24			
	2～5人	11			
	6～10人	0			
	無回答	2			
	合計	128			
<40～49歳>					
	0人	81			
	1人	23			
	2～5人	22			
	6～10人	0			
	無回答	2			
	合計	128			
<50～59歳>					
	0人	68			
	1人	30			
	2～5人	25			
	6～10人	3			
	無回答	2			
	合計	128			
<60歳以上>					
	0人	92			
	1人	19			
	2～5人	13			
	6～10人	2			
	無回答	2			
	合計	128			

(男性 勤務年数別)		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	1年以下	53	24.9%		
2	1～3年	72	33.8%		
3	3～5年	26	12.2%		
4	5年以上	62	29.1%		
合計		213	100.0%		
	<1年以下>				
	0人	89			
	1人	26			
	2～5人	10			
	6～10人	0			
	11人以上	0			
	無回答	3			
	合計	128			
	<1～3年>				
	0人	79			
	1人	29			
	2～5人	16			
	6～10人	1			
	11人以上	0			
	無回答	3			
	合計	128			
	<3～5年>				
	0人	106			
	1人	14			
	2～5人	5			
	6～10人	0			
	11人以上	0			
	無回答	3			
	合計	128			
	<5年以上>				
	0人	95			
	1人	15			
	2～5人	14			
	6～10人	1			
	11人以上	0			
	無回答	3			
	合計	128			

(女性 勤務年数別)		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	1年以下	39	12.9%		
2	1～3年	89	29.5%		
3	3～5年	42	13.9%		
4	5年以上	132	43.7%		
合計		302	100.0%		

合計	<1年以下>				
	0人	96			
	1人	23			
	2～5人	4			
	6～10人	1			
	11人以上	0			
	無回答	4			
	合計	128			
	<1～3年>				
	0人	81			
	1人	23			
	2～5人	17			
	6～10人	2			
	11人以上	1			
	無回答	4			
	合計	128			
<3～5年>					
0人	93				
1人	22				
2～5人	9				
6～10人	0				
11人以上	0				
無回答	4				
合計	128				
<5年以上>					
0人	66				
1人	24				
2～5人	31				
6～10人	3				
11人以上	0				
無回答	4				
合計	128				

問3 開館時間(自由記載)		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
	8:00～17:00	1	0.8%	0.8%	0.8%
	8:00～21:00	2	1.6%	1.6%	2.4%
	8:15～17:00	7	5.5%	5.7%	8.1%
	8:15～21:00	4	3.1%	3.3%	11.4%
	8:30～17:00	9	7.0%	7.3%	18.7%
	8:30～21:00	2	1.6%	1.6%	20.3%
	8:30～22:00	2	1.6%	1.6%	22.0%
	9:00～17:00	11	8.6%	8.9%	30.9%
	9:00～18:00	3	2.3%	2.4%	33.3%
	9:00～21:00	14	10.9%	11.4%	44.7%
	9:00～22:00	35	27.3%	28.5%	73.2%
	12:00～18:00	5	3.9%	4.1%	77.2%
	申請・必要に応じて開館	28	21.9%	22.8%	100.0%
小計		123		100.0%	
	無回答	5	3.9%		
合計		128	100.0%		
	申請に応じて時間変更	16	12.5%		

問4 休館日(自由記載・複数回答可)		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
	年末年始	103	80.5%		
	お盆	5	3.9%		
	毎週土曜日	9	7.0%		
	毎週日曜日	21	16.4%		
	祝祭日	30	23.4%		
	祝祭日の翌日	3	2.3%		
	毎週月曜日	12	9.4%		
	第1日曜日	5	3.9%		
	第3日曜日	25	19.5%		
	第5日曜日	4	3.1%		
	第3火曜日	1	0.8%		
	指定なし	8	6.3%		
合計		226	176.6%		

問5(1) 公民館運営審議会や公民館運営委員会のような組織はあるか。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 ある	75	58.6%	60.5%	60.5%
2 ない	49	38.3%	39.5%	100.0%
小計	124	96.9%	100.0%	
無回答	4	3.1%		
合計	128	100.0%		

問5(2) (1)の組織が協議する内容(複数回答可) ※(1)で1と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 運営方針に関すること	60	80.0%		
2 年間事業計画に関すること	62	82.7%		
3 事業の企画実施に関すること	46	61.3%		
4 利用団体に関すること	18	24.0%		
5 施設・設備等の利用に関すること	30	40.0%		
6 その他	4	5.3%		
合計	220	293.3%		

問5(3) (1)の組織の今年度の構成人数、会議の回数 ※(1)で1と回答した方のみ

(構成人数)	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
10人以下	27	36.0%	37.0%	37.0%
11～20人	12	16.0%	16.4%	53.4%
21～30人	13	17.3%	17.8%	71.2%
31～40人	15	20.0%	20.5%	91.8%
41人以上	6	8.0%	8.2%	100.0%
小計	73	97.3%	100.0%	
無回答	2	2.7%		
合計	75	100.0%		

(会議の回数)	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1回	20	26.7%	27.0%	27.0%
2回	19	25.3%	25.7%	
3回	21	28.0%	28.4%	
4回	4	5.3%	5.4%	
5回	3	4.0%	4.1%	
6回以上	7	9.3%	9.5%	
小計	74	98.7%	100.0%	
無回答	1	1.3%		
合計	75	100.0%		

問5(4) 運営や主催事業には、住民からどの程度協力してもらっているか。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 積極的に協力してもらっている	39	30.5%	31.7%	31.7%
2 ある程度協力してもらっている	66	51.6%	53.7%	85.4%
3 あまり協力してもらえていない	14	10.9%	11.4%	96.7%
4 ほとんど協力してもらえていない	4	3.1%	3.3%	100.0%
小計	123	96.1%	100.0%	
無回答	5	3.9%		
合計	128	100.0%		

問6 運営状況について、次の選択肢のどれか。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 常時開館し、当施設の主催事業がある	94	73.4%	73.4%	73.4%
2 常時開館しているが集会機能のみで、当施設の子催事業はない	13	10.2%	10.2%	83.6%
3 集会機能が主で、集会等の利用があった際に開館する	21	16.4%	16.4%	100.0%
小計	128	100.0%	100.0%	
無回答	0	0.0%		
合計	128	100.0%		

問7 主催事業として今年度実施した(する)講座やイベントの実施回数(複数回答可) ※問6で1と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①現代的課題への対応	245	4.4%		
②地域づくり・地域活性化	312	5.6%		
③家庭教育支援	543	9.7%		
④社会福祉活動	96	1.7%		
⑤指導者養成	62	1.1%		
⑥趣味・教養・芸術	2,616	46.8%		
⑦スポーツ・体力づくり	1,167	20.9%		
⑧健康や医学に関する知識	263	4.7%		
⑨情報通信技術(パソコン、SNS等)	144	2.6%		
⑩防災・減災	52	0.9%		
⑪その他	95	1.7%		
合計	5,595	100.0%		

問8 今年度に実施した(する)事業において、次の①～⑩の関係機関・団体との連携・協力の回数 ※問6で1と回答した方のみ

①社会教育関係団体		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	1～2回	20	21.3%	57.1%	57.1%
2	3～5回	7	7.4%	20.0%	77.1%
3	6回以上	8	8.5%	22.9%	100.0%
小計		35	37.2%	100.0%	
	無回答	59	62.8%		
合計		94	100.0%		

②他の公民館		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	1～2回	8	8.5%	34.8%	34.8%
2	3～5回	6	6.4%	26.1%	60.9%
3	6回以上	9	9.6%	39.1%	100.0%
小計		23	24.5%	100.0%	
	無回答	71	75.5%		
合計		94	100.0%		

③公民館以外の社会教育施設		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	1～2回	14	14.9%	73.7%	73.7%
2	3～5回	3	3.2%	15.8%	89.5%
3	6回以上	2	2.1%	10.5%	100.0%
小計		19	20.2%	100.0%	
	無回答	75	79.8%		
合計		94	100.0%		

④児童館・学童保育		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	1～2回	25	26.6%	62.5%	62.5%
2	3～5回	8	8.5%	20.0%	82.5%
3	6回以上	7	7.4%	17.5%	100.0%
小計		40	42.6%	100.0%	
	無回答	54	57.4%		
合計		94	100.0%		

⑤福祉施設・社会福祉協議会		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	1～2回	24	25.5%	63.2%	63.2%
2	3～5回	8	8.5%	21.1%	84.2%
3	6回以上	6	6.4%	15.8%	100.0%
小計		38	40.4%	100.0%	
	無回答	56	59.6%		
合計		94	100.0%		

⑥幼稚園・保育園・認定こども園		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	1～2回	28	29.8%	80.0%	80.0%
2	3～5回	6	6.4%	17.1%	97.1%
3	6回以上	1	1.1%	2.9%	100.0%
小計		35	37.2%	100.0%	
	無回答	59	62.8%		
合計		94	100.0%		

⑦小学校・中学校・高等学校・特別支援学校		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	1～2回	33	35.1%	67.3%	67.3%
2	3～5回	9	9.6%	18.4%	85.7%
3	6回以上	7	7.4%	14.3%	100.0%
小計		49	52.1%	100.0%	
	無回答	45	47.9%		
合計		94	100.0%		

⑧大学・短期大学・専修学校・各種学校		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	1～2回	8	8.5%	57.1%	57.1%
2	3～5回	4	4.3%	28.6%	85.7%
3	6回以上	2	2.1%	14.3%	100.0%
小計		14	14.9%	100.0%	
	無回答	80	85.1%		
合計		94	100.0%		

⑨NPO法人		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	1～2回	7	7.4%	87.5%	87.5%
2	3～5回	0	0.0%	0.0%	87.5%
3	6回以上	1	1.1%	12.5%	100.0%
小計		8	8.5%	100.0%	
	無回答	86	91.5%		
合計		94	100.0%		

⑩県・市町村の教育委員会以外の部局		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	1～2回	22	23.4%	75.9%	75.9%
2	3～5回	5	5.3%	17.2%	93.1%
3	6回以上	2	2.1%	6.9%	100.0%
小計		29	30.9%	100.0%	
	無回答	65	69.1%		
合計		94	100.0%		

⑪民間企業		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	1～2回	7	7.4%	30.4%	30.4%
2	3～5回	5	5.3%	21.7%	52.2%
3	6回以上	11	11.7%	47.8%	100.0%
小計		23	24.5%	100.0%	
	無回答	71	75.5%		
合計		94	100.0%		

⑫町内会・自治会		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	1～2回	22	23.4%	48.9%	48.9%
2	3～5回	10	10.6%	22.2%	71.1%
3	6回以上	13	13.8%	28.9%	100.0%
小計		45	47.9%	100.0%	
	無回答	49	52.1%		
合計		94	100.0%		

問9(1) 主催事業において、障害者の支援に関する取組があるか。 ※問6で1と回答した方のみ

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	ある	2	2.1%	2.2%	2.2%
2	ない	90	95.7%	97.8%	100.0%
小計		92	97.9%	100.0%	
	無回答	2	2.1%		
合計		94	100.0%		

問10 主催事業において、多世代が交流できる取組があるか。 ※問6で1と回答した方のみ

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	ある	56	59.6%	60.9%	60.9%
2	ない	36	38.3%	39.1%	100.0%
小計		92	97.9%	100.0%	
	無回答	2	2.1%		
合計		94	100.0%		

問11(1) 館内で実施するのではなく、他施設に移動して実施する「移動公民館」のような取組を実施しているか。 ※問6で1と回答した方のみ

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	実施している	38	40.4%	42.2%	42.2%
2	実施していない	52	55.3%	57.8%	100.0%
小計		90	95.7%	100.0%	
	無回答	4	4.3%		
合計		94	100.0%		

問12(1) 若者・女性の就業や起業に向けた学び直しに関連する講座を実施したことがあるか。 ※問6で1と回答した方のみ

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	実施したことがある	3	3.2%	3.2%	3.2%
2	実施したことはない	90	95.7%	96.8%	100.0%
小計		93	98.9%	100.0%	
	無回答	1	1.1%		
合計		94	100.0%		

問12(2) (1)の講座を今後実施してみたいと思うか。 ※(1)で2と回答した方のみ

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	実施してみたい	13	14.4%	14.6%	14.6%
2	実施してみたいが、内容や進め方がわからない	36	40.0%	40.4%	55.1%
3	実施してみたいとは思わない	40	44.4%	44.9%	100.0%
小計		89	98.9%	100.0%	
	無回答	1	1.1%		
合計		90	100.0%		

問13(1) 研修・講座修了者等に対して、学習成果等を活用できる場の設定や機会の提供を行っているか。 ※問6で1と回答した方のみ

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	行っている	25	26.6%	28.1%	28.1%
2	行っていない	64	68.1%	71.9%	100.0%
小計		89	94.7%	100.0%	
	無回答	5	5.3%		
合計		94	100.0%		

問13(2) 学習成果等を活用できる場の設定や機会の提供について、次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※(1)で1と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 研修・講座等修了者の企画による事業を実施した	7	28.0%		
2 研修・講座等修了者を講師として依頼した	4	16.0%		
3 研修・講座等の運営へ参加を促した	6	24.0%		
4 人材バンク等への登録を行い、他期間への紹介等を行った	1	4.0%		
5 学校支援ボランティア等、地域活動の場を紹介した	2	8.0%		
6 その他	8	32.0%		
合計	28	112.0%		

問14(1) 主催事業終了後の事業評価は実施しているか。 ※問6で1と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 ほぼ全ての事業で実施している	44	46.8%	47.8%	47.8%
2 全てではないが、一部の事業で実施している	38	40.4%	41.3%	89.1%
3 実施していない	10	10.6%	10.9%	100.0%
小計	92	97.9%	100.0%	
無回答	2	2.1%		
合計	94	100.0%		

問14(2) 評価方法について、次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※(1)で1・2と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 独自のアンケート	44	53.7%		
2 市町村が作成した、公共施設一般の定型調査票	13	15.9%		
3 話し合い	30	36.6%		
4 感想文や記録	29	35.4%		
5 その他	3	3.7%		
合計	119	145.1%		

問14(3) 評価を実施していない理由について、次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※(1)で3と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 評価の方法がわからないから	3	30.0%		
2 評価をしても次につながらないから	1	10.0%		
3 評価に意義や必要性を感じないから	3	30.0%		
4 業務が多忙なため	5	50.0%		
5 作業に手間がかかるから	2	20.0%		
6 結果が心配だから	0	0.0%		
7 その他	1	10.0%		
合計	15	150.0%		

問15 主催事業において、今後重要だと思われる講座やイベントは次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※問6で1と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 現代的課題への対応	28	29.8%		
2 地域づくり・地域活性化	67	71.3%		
3 家庭教育支援	24	25.5%		
4 ボランティアや社会福祉活動	11	11.7%		
5 指導者養成	5	5.3%		
6 趣味・教養・芸術	48	51.1%		
7 スポーツ・体力づくり	29	30.9%		
8 健康や医学に関する知識	26	27.7%		
9 情報通信技術(パソコン、SNS等)	10	10.6%		
10 防災・減災	22	23.4%		
11 その他	0	0.0%		
合計	270	287.2%		

問16(1) 貴館が住民から期待されている事項は、次の選択肢のどれか。(複数回答可)

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 地域づくりの拠点	99	77.3%		
2 防災・減災の拠点	43	33.6%		
3 多世代交流の場	65	50.8%		
4 各種研修・講座の実施	76	59.4%		
5 学習情報提供・学習相談	15	11.7%		
6 地域人材の育成・発掘	31	24.2%		
7 社会教育関係団体への支援	23	18.0%		
8 他施設に移動しての活動	2	1.6%		
9 行政サービス(各種証明書の交付申請等)	6	4.7%		
10 その他	0	0.0%		
合計	360	281.3%		

問16(2) (1)の取組を実施するために必要なことは、次の選択肢のどれか。(複数回答可)

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 職員のスキルアップ	34	26.6%		
2 予算措置	35	27.3%		
3 社会教育関係団体との連携	34	26.6%		
4 他の社会教育施設との連携	8	6.3%		
5 学校との連携	18	14.1%		
6 教育関係機関(学校を除く)との連携	6	4.7%		
7 民間企業・NPOとの連携	10	7.8%		
8 県・市町村との連携	13	10.2%		
9 地域住民の参加・協力	90	70.3%		
10 地域人材・地域資源の把握	36	28.1%		
11 住民の学習ニーズの把握	32	25.0%		
12 施設・設備の補修・整備	33	25.8%		
13 貸室業務	4	3.1%		
14 その他	2	1.6%		
合計	355	277.3%		

問17(1) 貴館の職員に必要な研修は、次の選択肢のどれか。(複数回答可)

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 生涯学習・社会教育の基礎	52	40.6%		
2 学習プログラムの立案	16	12.5%		
3 学習情報提供・学習相談	11	8.6%		
4 事業評価	3	2.3%		
5 地域づくりの基礎	49	38.3%		
6 学校・家庭・地域の連携	25	19.5%		
7 地域課題・ニーズの把握	60	46.9%		
8 情報機器の利活用	8	6.3%		
9 地域団体・サークルへの支援	24	18.8%		
10 参加型学習(ワークショップ)の企画・運営	24	18.8%		
11 家庭教育支援	9	7.0%		
12 スポーツ・レクリエーションの企画・運営	16	12.5%		
13 接遇マナー・コミュニケーション	12	9.4%		
14 その他	0	0.0%		
合計	309	241.4%		

問17(2) 公民館職員を対象とした研修に参加しやすい時期(複数回答可)

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1月上旬	2	1.6%		
1月中旬	14	10.9%		
1月下旬	16	12.5%		
1月不明	1	0.8%		
2月上旬	19	14.8%		
2月中旬	13	10.2%		
2月下旬	13	10.2%		
2月不明	1	0.8%		
3月上旬	6	4.7%		
3月中旬	2	1.6%		
3月下旬	0	0.0%		
3月不明	0	0.0%		
4月上旬	0	0.0%		
4月中旬	4	3.1%		
4月下旬	6	4.7%		
4月不明	1	0.8%		
5月上旬	1	0.8%		
5月中旬	6	4.7%		
5月下旬	7	5.5%		
5月不明	1	0.8%		
6月上旬	4	3.1%		
6月中旬	19	14.8%		
6月下旬	16	12.5%		
6月不明	1	0.8%		
7月上旬	4	3.1%		
7月中旬	12	9.4%		
7月下旬	4	3.1%		
7月不明	2	1.6%		
8月上旬	3	2.3%		
8月中旬	2	1.6%		
8月下旬	8	6.3%		
8月不明	1	0.8%		
9月上旬	4	3.1%		
9月中旬	4	3.1%		
9月下旬	5	3.9%		
9月不明	0	0.0%		
10月上旬	6	4.7%		
10月中旬	1	0.8%		
10月下旬	4	3.1%		
10月不明	0	0.0%		
11月上旬	4	3.1%		
11月中旬	8	6.3%		
11月下旬	3	2.3%		
11月不明	2	1.6%		
12月上旬	3	2.3%		
12月中旬	2	1.6%		
12月下旬	0	0.0%		
12月不明	0	0.0%		
不明	78	60.9%		
合計	313	244.5%		

問18 ここ3年程度の間に感じている変化について、次の選択肢のどれか。(複数回答可)

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 予算が増えた	3	2.3%		
2 予算が減った	54	42.2%		
3 住民の利用が増えた	30	23.4%		
4 住民の利用が減った	45	35.2%		
5 地域団体とのつながりが強まった	30	23.4%		
6 地域団体とのつながりが弱まった	16	12.5%		
7 公民館の活気が出た	18	14.1%		
8 公民館の活気がなくなった	20	15.6%		
9 その他	9	7.0%		
合計	225	175.8%		

問19(1) 災害時の指定避難所になっているか。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 指定避難所になっている	105	82.0%	82.7%	82.7%
2 指定避難所になっていない	22	17.2%	17.3%	100.0%
小計	127	99.2%	100.0%	
無回答	1	0.8%		
合計	128	100.0%		

問19(2) 施設の耐震化は済んでいるか。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 耐震化されている	72	56.3%	59.0%	59.0%
2 耐震化する予定	1	0.8%	0.8%	59.8%
3 されていない	49	38.3%	40.2%	100.0%
小計	122	95.3%	100.0%	
無回答	6	4.7%		
合計	128	100.0%		

問19(3) 耐震診断はなされているか。 ※(2)で3と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 実施した	10	20.4%	20.8%	20.8%
2 実施していない	38	77.6%	79.2%	100.0%
小計	48	98.0%	100.0%	
無回答	1	2.0%		
合計	49	100.0%		

問19(4) 貴館が避難所となったことを想定した「避難所運営マニュアル」はあるか。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 ある	63	49.2%	52.1%	52.1%
2 ない	58	45.3%	47.9%	100.0%
小計	121	94.5%	100.0%	
無回答	7	5.5%		
合計	128	100.0%		

問19(5) 防災・減災のために貴館が備えているものは、次の選択肢のどれか。(複数回答可)

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 自家発電	72	56.3%		
2 投光器	59	46.1%		
3 防災無線	68	53.1%		
4 毛布	51	39.8%		
5 食料	23	18.0%		
6 水	24	18.8%		
7 簡易トイレ	12	9.4%		
8 その他	25	19.5%		
合計	334	260.9%		

問19(6) 防災・減災に係る取組を実施しているか。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 毎年実施している	63	49.2%	51.2%	51.2%
2 2～3年に1回は実施している	10	7.8%	8.1%	59.3%
3 実施していない	50	39.1%	40.7%	100.0%
小計	123	96.1%	100.0%	
無回答	5	3.9%		
合計	128	100.0%		

問19(7) 防災・減災に関わる取組の内容について、次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※(6)で1・2と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 防災・減災の基礎知識習得に関する講座	17	23.3%		
2 災害対策や応急手当方法の習得などの技術的講習会	15	20.5%		
3 災害体験プログラムなどの体験型実践講座	2	2.7%		
4 地域の防災マップ作成や避難経路確認などの実践的講座	11	15.1%		
5 組織作りに関する取組	7	9.6%		
6 被災地に対する正しい理解を得るための取組	3	4.1%		
7 避難訓練・避難所運営体験	60	82.2%		
8 その他	1	1.4%		
合計	116	158.9%		

問20 貴館の情報発信の手段について、次の選択肢のどれか。(複数回答可)

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 公民館報・公民館だよりなど作成している	63	49.2%		
2 SNS (facebook、ツイッター等)で情報発信している	2	1.6%		
3 独自のホームページを開設している	2	1.6%		
4 市町村の広報誌に情報を掲載している	49	38.3%		
5 市町村のホームページに情報を掲載している	60	46.9%		
6 その他	13	10.2%		
7 特に情報発信していない	21	16.4%		
合計	210	164.1%		

問21(1) 開設年

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1946～1950年	6	4.7%	5.3%	5.3%
1951～1955年	7	5.5%	6.1%	11.4%
1956～1960年	2	1.6%	1.8%	13.2%
1961～1965年	3	2.3%	2.6%	15.8%
1966～1970年	11	8.6%	9.6%	25.4%
1971～1975年	23	18.0%	20.2%	45.6%
1976～1980年	23	18.0%	20.2%	65.8%
1981～1985年	9	7.0%	7.9%	73.7%
1986～1990年	6	4.7%	5.3%	78.9%
1991～1995年	7	5.5%	6.1%	85.1%
1996～2000年	7	5.5%	6.1%	91.2%
2001～2005年	4	3.1%	3.5%	94.7%
2006～2010年	5	3.9%	4.4%	99.1%
2011～2015年	1	0.8%	0.9%	100.0%
小計	114	89.1%	100.0%	
不明	14	10.9%		
合計	128	100.0%		

問21(2) 建設年

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1961～1965年	1	0.8%	0.9%	0.9%
1966～1970年	9	7.0%	7.7%	8.5%
1971～1975年	20	15.6%	17.1%	25.6%
1976～1980年	29	22.7%	24.8%	50.4%
1981～1985年	12	9.4%	10.3%	60.7%
1986～1990年	10	7.8%	8.5%	69.2%
1991～1995年	11	8.6%	9.4%	78.6%
1996～2000年	10	7.8%	8.5%	87.2%
2001～2005年	3	2.3%	2.6%	89.7%
2006～2010年	5	3.9%	4.3%	94.0%
2011～2015年	3	2.3%	2.6%	96.6%
2016～2020年	4	3.1%	3.4%	100.0%
小計	117	91.4%	100.0%	
不明	11	8.6%		
合計	128	100.0%		

問21(3) 貴館にある部屋について、次の選択肢のどれか。(複数回答可)

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 会議室・研修室	109	85.2%		
2 ロビーなど、住民の交流や団らんが可能な空間	67	52.3%		
3 体育・レクリエーション室	23	18.0%		
4 ホール・講堂	68	53.1%		
5 図書室	66	51.6%		
6 和室	117	91.4%		
7 調理室・料理講習室	112	87.5%		
8 多目的室・多目的ホール	41	32.0%		
9 託児・保育専用室	12	9.4%		
10 視聴覚室	27	21.1%		
11 音楽室	4	3.1%		
12 パソコン専用室	5	3.9%		
13 工芸工作室	15	11.7%		
14 喫茶室	4	3.1%		
15 サークル・団体室	8	6.3%		
16 サークル・団体等も利用できる印刷室	10	7.8%		
17 その他特色のある部屋・スペース	7	5.5%		
合計	695	543.0%		

問21(4) 貴館にある設備について、次の選択肢のどれか。(複数回答可)

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 無線LAN(Wi-Fi等)が使える環境 ※来館者が使えるもの	42	32.8%		
2 冷房(一部でも可)	61	47.7%		
3 エレベーター	24	18.8%		
4 バリアフリーへの対応(スロープ、専用トイレ等)	76	59.4%		
5 AEDの設置	84	65.6%		
6 その他特色のある設備	12	9.4%		
合計	299	233.6%		

対象:公民館職員

属性	性別	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
	1 男性	164	36.5%	37.1%	37.1%
	2 女性	278	61.9%	62.9%	100.0%
	小計	442	98.4%	100.0%	
	無回答	7	1.6%		
合計		449	100.0%		

年齢		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	10代	4	0.9%	0.9%	0.9%
2	20代	31	6.9%	7.0%	8.0%
3	30代	69	15.4%	15.7%	23.6%
4	40代	108	24.1%	24.5%	48.2%
5	50代	118	26.3%	26.8%	75.0%
6	60代	90	20.0%	20.5%	95.5%
7	70代	17	3.8%	3.9%	99.3%
8	80代	2	0.4%	0.5%	99.8%
9	その他	1	0.2%	0.2%	100.0%
	小計	440	98.0%	100.0%	
	無回答	9	2.0%		
合計		449	100.0%		

勤務年数(自由記載)		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
	1年以内	92	20.5%	21.1%	21.1%
	2～4年	149	33.2%	34.2%	55.3%
	5年以上	195	43.4%	44.7%	100.0%
	小計	436	97.1%	100.0%	
	無回答	13	2.9%		
合計		449	100.0%		

専任または兼任		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	専任	228	50.8%	71.5%	71.5%
2	兼任	91	20.3%	28.5%	100.0%
	小計	319	71.0%	100.0%	
	無回答	130	29.0%		
合計		449	100.0%		

問1	貴館が住民から期待されている事項は、次の選択肢のどれか。(複数回答可)	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	地域づくりの拠点	310	69.0%		
2	防災・減災の拠点	148	33.0%		
3	多世代交流の場	233	51.9%		
4	各種研修・講座の実施	314	69.9%		
5	学習情報提供・学習相談	71	15.8%		
6	地域人材の育成・発掘	65	14.5%		
7	社会教育関係団体への支援	81	18.0%		
8	他施設に移動しての活動	9	2.0%		
9	行政サービス(各種証明書の交付申請等)	28	6.2%		
10	その他	8	1.8%		
合計		1,267	282.2%		

問2	公民館職員として、地域から期待されている役割は、次の選択肢のどれか。(複数回答可)	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	地域課題やニーズを把握する	197	43.9%		
2	地域の人や団体のネットワークをつくる	217	48.3%		
3	学校と地域の連携をコーディネートする	70	15.6%		
4	社会教育指導者へ助言と指導を行う	17	3.8%		
5	地域の教育資源や人材の把握を行う	67	14.9%		
6	地域における集いの場をつくる	326	72.6%		
7	地域団体・サークルを育成する	147	32.7%		
8	学習プログラムを企画・実施する	119	26.5%		
9	学習情報の提供、学習相談に応じる	50	11.1%		
10	その他	14	3.1%		
合計		1,224	272.6%		

問3 公民館職員として、現在、実務上の比重が大きいものは、次の選択肢のどれか。(複数回答可)

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	地域課題やニーズを把握する	150	33.4%	
2	地域の人や団体のネットワークをつくる	146	32.5%	
3	学校と地域の連携をコーディネートする	59	13.1%	
4	社会教育指導者へ助言と指導を行う	23	5.1%	
5	地域の教育資源や人材の把握を行う	62	13.8%	
6	地域における集いの場をつくる	249	55.5%	
7	地域団体・サークルを育成する	119	26.5%	
8	学習プログラムを企画・実施する	156	34.7%	
9	学習情報の提供、学習相談に応じる	41	9.1%	
10	その他	50	11.1%	
合計	1,055	235.0%		

問4(1) ここ1年間に、市町村や県、国、あるいは民間事業者等が実施する、業務に関する研修会等に参加したか。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	はい	231	51.4%	52.1%
2	いいえ	212	47.2%	47.9%
小計		443	98.7%	100.0%
99	無回答	6	1.3%	
合計	449	100.0%		

問4(2) 参加した研修の内容は、次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※(1)で1と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	生涯学習・社会教育の基礎	87	37.7%	
2	学習プログラムの立案	34	14.7%	
3	学習情報提供・学習相談	20	8.7%	
4	事業評価	17	7.4%	
5	地域づくりの基礎	53	22.9%	
6	学校・家庭・地域の連携	49	21.2%	
7	地域課題・ニーズの把握	42	18.2%	
8	情報機器の利活用	12	5.2%	
9	地域団体・サークルへの支援	8	3.5%	
10	参加型学習(ワークショップ)の企画・運営	42	18.2%	
11	家庭教育支援	9	3.9%	
12	スポーツ・レクリエーションの企画・運営	28	12.1%	
13	接遇マナー・コミュニケーション	27	11.7%	
14	その他	25	10.8%	
合計	453	196.1%		

問4(3) 研修会等に参加しなかった最も大きな理由は、次の選択肢のどれか。 ※(1)で2と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	費用(旅費等)がかかるため	12	5.7%	
2	業務等により多忙で時間の余裕がないため	93	43.9%	
3	参加したい内容のものが無かったため	63	29.7%	
4	その他	36	17.0%	
無回答		8	3.8%	
合計	212	100.0%		

問4(4) 今後参加したい研修の内容は、次の選択肢のどれか。(複数回答可)

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	生涯学習・社会教育の基礎	73	16.3%	
2	学習プログラムの立案	52	11.6%	
3	学習情報提供・学習相談	18	4.0%	
4	事業評価	9	2.0%	
5	地域づくりの基礎	86	19.2%	
6	学校・家庭・地域の連携	61	13.6%	
7	地域課題・ニーズの把握	95	21.2%	
8	情報機器の利活用	69	15.4%	
9	地域団体・サークルへの支援	57	12.7%	
10	参加型学習(ワークショップ)の企画・運営	82	18.3%	
11	家庭教育支援	27	6.0%	
12	スポーツ・レクリエーションの企画・運営	72	16.0%	
13	接遇マナー・コミュニケーション	67	14.9%	
14	その他	17	3.8%	
合計	785	174.8%		

問5 社会人のキャリア形成を支援する取組として、若者・女性の就業や起業に向けた学び直しに関連する講座のニーズについて、どう思うか。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 地域住民のニーズはあると思う	176	39.2%	39.8%	39.8%
2 地域住民のニーズはないと思う	101	22.5%	22.9%	62.7%
3 わからない	165	36.7%	37.3%	100.0%
小計	442	98.4%	100.0%	
無回答	7	1.6%		
合計	449	100.0%		

問6(1) これまでに、貴館の主催事業を利用者(地域住民)と協働して実施したことはあるか。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 はい	330	73.5%	74.5%	74.5%
2 いいえ	113	25.2%	25.5%	100.0%
小計	443	98.7%	100.0%	
無回答	6	1.3%		
合計	449	100.0%		

問6(2) これまでに、利用者(地域住民)と協働して実施した事業の形態について、次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※(1)で1と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 事業を協働して企画・実施運営(準備や手伝いを含む)	196	59.4%		
2 事業を協働して企画、職員が実施運営	70	21.2%		
3 事業を職員が企画、利用者(地域住民)が実施運営	65	19.7%		
4 職員の支援のもと、事業を利用者(地域住民)が企画・実施運営	67	20.3%		
5 職員が企画・実施運営する事業に、利用者(地域住民)が出演・講師等として参加	151	45.8%		
6 その他	3	0.9%		
合計	552	167.3%		

問6(3) 利用者(地域住民)との協働における働きかけについて、次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※(1)で1と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 直接声をかけて依頼する(施設の利用時等)	190	57.6%		
2 施設を利用するサークル・団体等を通じて参加を促す	194	58.8%		
3 参加者をチラシ・ポスター等で公募	150	45.5%		
4 講座・研修会等の修了者に参加を促す	57	17.3%		
5 地域の学校、団体へ案内	113	34.2%		
6 その他	8	2.4%		
合計	712	215.8%		

問6(4) 今後、利用者(地域住民)と協働して事業を実施したいと考えているか。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 はい	341	75.9%	80.2%	80.2%
2 いいえ	84	18.7%	19.8%	100.0%
小計	425	94.7%	100.0%	
無回答	24	5.3%		
合計	449	100.0%		

問6(5) 今後、利用者(地域住民)と協働して事業を実施したいと考える形態は、次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※(4)で1と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1 事業の企画	123	36.1%		
2 事業の実施運営(準備も含む)	185	54.3%		
3 講座・研修会等の講師として依頼	184	54.0%		
4 公民館まつり等への出演・参加等	218	63.9%		
5 その他	5	1.5%		
合計	715	209.7%		

対象:利用者

属性	性別	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
	1 男性	305	34.6%	34.9%	34.9%
	2 女性	570	64.6%	65.1%	100.0%
	小計	875	99.2%	100.0%	
	無回答	7	0.8%		
合計		882	199.2%		

年齢		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	10代	7	0.8%	0.8%	0.8%
2	20代	14	1.6%	1.6%	2.4%
3	30代	42	4.8%	4.8%	7.2%
4	40代	86	9.8%	9.8%	17.0%
5	50代	100	11.3%	11.4%	28.5%
6	60代	276	31.3%	31.6%	60.1%
7	70代	291	33.0%	33.3%	93.4%
8	80代	55	6.2%	6.3%	99.7%
9	90代	3	0.3%	0.3%	100.0%
	小計	874	99.1%	100.0%	
	無回答	8	0.9%		
合計		882	100.0%		

居住地		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
	青森市	140	15.9%	16.2%	16.2%
	平内町	1	0.1%	0.1%	16.3%
	今別町	1	0.1%	0.1%	16.4%
	蓬田村	1	0.1%	0.1%	16.6%
	五所川原市	24	2.7%	2.8%	19.3%
	つがる市	4	0.5%	0.5%	19.8%
	鱒ヶ沢町	12	1.4%	1.4%	21.2%
	深浦町	5	0.6%	0.6%	21.8%
	鶴田町	12	1.4%	1.4%	23.1%
	中泊町	10	1.1%	1.2%	24.3%
	弘前市	113	12.8%	13.1%	37.4%
	黒石市	55	6.2%	6.4%	43.8%
	平川市	26	2.9%	3.0%	46.8%
	西目屋村	13	1.5%	1.5%	48.3%
	藤崎町	3	0.3%	0.3%	48.6%
	大鱒町	13	1.5%	1.5%	50.1%
	十和田市	1	0.1%	0.1%	50.2%
	三沢市	15	1.7%	1.7%	52.0%
	七戸町	24	2.7%	2.8%	54.7%
	六ヶ所村	28	3.2%	3.2%	58.0%
	おいらせ町	12	1.4%	1.4%	59.4%
	むつ市	69	7.8%	8.0%	67.4%
	大間町	2	0.2%	0.2%	67.6%
	東通村	1	0.1%	0.1%	67.7%
	佐井村	9	1.0%	1.0%	68.8%
	八戸市	202	22.9%	23.4%	92.1%
	三戸町	15	1.7%	1.7%	93.9%
	五戸町	4	0.5%	0.5%	94.3%
	田子町	12	1.4%	1.4%	95.7%
	南部町	19	2.2%	2.2%	97.9%
	階上町	8	0.9%	0.9%	98.8%
	新郷村	7	0.8%	0.8%	99.7%
	秋田県大館市	1	0.1%	0.1%	99.8%
	宮城県大崎市	1	0.1%	0.1%	99.9%
	東京都小平市	1	0.1%	0.1%	100.0%
	小計	864	98.0%	100.0%	
	無回答	18	2.0%		
合計		882	100.0%		

問1(1) ここ1年間の利用頻度(回数)は、次の選択肢のどれか。

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	毎週2回以上	185	21.0%	21.4%	21.4%
2	毎週1回程度	277	31.4%	32.1%	53.5%
3	隔週1回程度(2週に1回程度)	118	13.4%	13.7%	67.2%
4	毎月1回程度	146	16.6%	16.9%	84.1%
5	3ヶ月に1回程度	79	9.0%	9.2%	93.3%
6	半年に1回程度	39	4.4%	4.5%	97.8%
7	1年に1回程度	15	1.7%	1.7%	99.5%
8	初めて利用した	4	0.5%	0.5%	100.0%
小計		863	97.8%	100.0%	
	無回答	19	2.2%		
合計		882	100.0%		

問1(2) 利用目的は、次の選択肢のどれか。(複数回答可)

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	地域の団体、サークル・クラブの活動で場所を借りた	661	74.9%		
2	講座やイベントに受講者や利用者として参加した	399	45.2%		
3	講座やイベントに手伝いやボランティアとして関わった	188	21.3%		
4	地域課題の相談等、公民館職員の支援を受けた	48	5.4%		
5	図書資料を借りた	81	9.2%		
6	視聴覚教材を借りた	8	0.9%		
7	買い物や散歩の途中で休憩に立ち寄った	27	3.1%		
8	公民館の運営等に関わった	84	9.5%		
9	公民館の研修・講座の講師等を務めた	60	6.8%		
10	その他	45	5.1%		
合計		1,601	181.5%		

問2(1) 今後、公民館を利用したいか。

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	今後も利用したい	824	93.4%	96.9%	96.9%
2	今後は利用しない	26	2.9%	3.1%	100.0%
小計		850	96.4%	100.0%	
	無回答	32	3.6%		
合計		882	100.0%		

問2(2) 今後の利用の仕方は、次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※(1)で1と回答した方のみ

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	地域の団体、サークル・クラブの活動で場所を借りる	657	79.7%		
2	講座やイベントに受講者や利用者として参加する	448	54.4%		
3	講座やイベントに手伝いやボランティアとして関わる	237	28.8%		
4	地域課題の相談等、公民館職員の支援を受ける	65	7.9%		
5	図書資料を借りる	124	15.0%		
6	視聴覚教材を借りる	16	1.9%		
7	買い物や散歩の途中で休憩に立ち寄る	38	4.6%		
8	公民館の運営等に関わる	78	9.5%		
9	公民館の研修・講座の講師等を務める	41	5.0%		
10	その他	31	3.8%		
合計		1,735	210.6%		

問2(3) 今後利用しない理由は、次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※(1)で2と回答した方のみ

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	利用したい公民館の施設・設備がない	1	3.8%		
2	必要な支援を受けられない	0	0.0%		
3	参加したい講座やイベント等がない	3	11.5%		
4	利用が有料のため	0	0.0%		
5	交通が不便であるため	0	0.0%		
6	その他	0	0.0%		
合計		4	15.4%		

問3(1) ここ1年間に公民館が実施する講座・イベントに参加したか。

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	参加した	636	72.1%	76.2%	76.2%
2	参加していない	199	22.6%	23.8%	100.0%
小計		835	94.7%	100.0%	
	無回答	47	5.3%		
合計		882	100.0%		

問3(2) 参加した講座・イベントの内容は、次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※(1)で1と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	32	5.0%		
2	255	40.1%		
3	20	3.1%		
4	98	15.4%		
5	9	1.4%		
6	373	58.6%		
7	225	35.4%		
8	132	20.8%		
9	23	3.6%		
10	93	14.6%		
11	23	3.6%		
合計	1,283	201.7%		

問3(3) 参加しなかった理由は、次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※(1)で2と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	49	24.6%		
2	125	62.8%		
3	2	1.0%		
4	16	8.0%		
5	2	1.0%		
6	6	3.0%		
7	10	5.0%		
合計	210	105.5%		

問3(4) 今後参加したい講座・イベントは、次の選択肢のどれか。(複数回答可)

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	89	10.1%		
2	311	35.3%		
3	46	5.2%		
4	147	16.7%		
5	35	4.0%		
6	493	55.9%		
7	365	41.4%		
8	257	29.1%		
9	82	9.3%		
10	136	15.4%		
11	15	1.7%		
合計	1,976	224.0%		

問4(1) これまでに、公民館主催の事業やイベントに協力したことはあるか。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	600	68.0%	72.9%	72.9%
2	223	25.3%	27.1%	100.0%
小計	823	93.3%	100.0%	
無回答	59	6.7%		
合計	882	100.0%		

問4(2) 公民館の事業への協力の仕方は、次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※(1)で1と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	338	56.3%		
2	88	14.7%		
3	114	19.0%		
4	152	25.3%		
5	152	25.3%		
6	10	1.7%		
合計	854	142.3%		

問4(3) 公民館への協力のきっかけは、次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※(1)で1と回答した方のみ

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	249	41.5%		
2	358	59.7%		
3	70	11.7%		
4	128	21.3%		
5	14	2.3%		
6	20	3.3%		
合計	839	139.8%		

問4(4) 今後、公民館に協力したいか。

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	はい	720	81.6%	90.8%	90.8%
2	いいえ	73	8.3%	9.2%	100.0%
小計		793	89.9%	100.0%	
	無回答	89	10.1%		
合計		882	100.0%		

問4(5) 今後の公民館への協力の仕方は、次の選択肢のどれか。(複数回答可) ※(4)で1と回答した方のみ

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	事業の企画	67	9.3%		
2	事業の実施運営(準備や手伝いも含む)	378	52.5%		
3	講座・研修会等の講師	96	13.3%		
4	公民館まつり等への出演・参加等	421	58.5%		
5	その他	20	2.8%		
合計		982	136.4%		

問5 公民館に期待する事項は、次の選択肢のどれか。(複数回答可)

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	地域づくりの拠点	576	65.3%		
2	防災・減災の拠点	345	39.1%		
3	多世代交流の場	366	41.5%		
4	各種研修・講座の実施	485	55.0%		
5	学習情報提供・学習相談	96	10.9%		
6	地域人材の育成・発掘	152	17.2%		
7	社会教育関係団体への支援	73	8.3%		
8	他施設に移動しての活動	39	4.4%		
9	行政サービス(各種証明書の交付申請等)	69	7.8%		
10	その他	3	0.3%		
合計		2,204	249.9%		

問6(1) 若者や女性の就業・起業に向けた学び直しに関連する講座を受講したことはあるか。

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	受講したことがある	121	13.7%	14.5%	14.5%
2	受講したことはない	711	80.6%	85.5%	100.0%
小計		832	94.3%	100.0%	
	無回答	50	5.7%		
合計		882	100.0%		

問6(2) (1)の講座が公民館で行われるのであれば、今後受講してみたいと思うか。

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	受講してみたい	333	37.8%	40.7%	40.7%
2	受講してみたいと思わない	155	17.6%	18.9%	59.7%
3	よくわからない	330	37.4%	40.3%	100.0%
小計		818	92.7%	100.0%	
	無回答	64	7.3%		
合計		882	100.0%		

問7 公民館職員に期待する役割はどのようなものか。(複数回答可)

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1	地域課題やニーズを把握する	329	37.3%		
2	地域の人や団体のネットワークをつくる	414	46.9%		
3	学校と地域の連携をコーディネートする	143	16.2%		
4	社会教育指導者へ助言と指導を行う	54	6.1%		
5	地域の教育資源や人材の把握を行う	134	15.2%		
6	地域における集いの場をつくる	544	61.7%		
7	地域団体・サークルを育成する	378	42.9%		
8	学習プログラムを企画・実施する	92	10.4%		
9	学習情報の提供、学習相談に応じる	74	8.4%		
10	その他	8	0.9%		
合計		2,170	246.0%		

公民館の役割に関する現状調査

対象：公民館、公民館類似施設の「館長（代表者）」・職員・利用者

このアンケートは、貴館の概要についてお答えいただくものです。代表者の方がお答えください。

〈アンケートの趣旨〉

青森県では、人口減少に伴い、地域コミュニティの機能低下や経済活動の縮小が懸念され、県政の最重要課題である「人口減少克服」に向けて、地域の課題に立ち向かう人財の力がより一層重要となっています。このような中、地域住民が集まり、学び、つながる場である公民館には、今後、住民が主体的に地域課題を解決するために必要な学習を推進する役割や住民主体の地域づくりの拠点としての役割、地域コミュニティのセンターの役割、地域の防災拠点としての役割、地域学校協働活動の拠点としての役割などがさらに強く求められています。

本調査は、公民館及び公民館類似施設、施設職員、利用者を対象にアンケートを実施し、その結果をもとに公民館の現状と課題及び地域の人々の公民館に対する意識を把握し、県や市町村が地域コミュニティの活性化へ向け、今後の施策の方向性を検討することを目的としています。

〈回答〉 令和2年2月14日（金）までにゆうメール（着払い）にて御返送ください。

〈問合せ〉 青森県教育庁生涯学習課 企画振興グループ TEL017-734-9889

〈本アンケートで得た情報の取り扱いについて〉

本アンケートで得た情報は本調査の目的以外に使用することは致しません。情報を公開する場合、回答はすべて統計的に処理し、個人が特定されることのないよう配慮いたします。また、個人を特定できる情報を調査実施主体及び調査委託機関外の第三者に提供することは致しません。データ管理においては不正アクセス、紛失、破壊、改ざん及び漏えい等の事故の予防に努めます。

施設名称			
記入者 職・氏名	施設	電話	
	連絡先	FAX	
施設住所			

問1 貴館の管理運営についてお聞きします。

(1) 管理運営形態について、下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。5を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。回答欄

- 1 直営（設置者が施設の管理・事業の企画運営を行う）
- 2 直営だが、施設の管理は指定管理者に委託している
- 3 直営だが、事業の企画運営は指定管理者に委託している
- 4 すべてを指定管理者に委託している
- 5 その他 ()

1と回答いただいた場合は、問2へ進んでください。
2・3・4と回答いただいた場合は、次の(2)(3)をお答えください。

(2) 貴館の指定管理者の種別について、下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。5を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。回答欄

- 1 自治会や町内会を母体とした組織（〇〇協議会、〇〇振興会 など）
- 2 市民団体、NPO法人
- 3 1、2以外の財団法人、社団法人
- 4 民間企業
- 5 その他 ()

1

(2)(1)の組織が協議する内容について、下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。6を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。（複数回答可）回答欄

- 1 運営方針に関すること
- 2 年間事業計画に関すること
- 3 事業の企画実施に関すること
- 4 利用団体に関すること
- 5 施設・設備等の利用に関すること
- 6 その他 ()

(3)(1)の組織の今年度の構成人数、会議の回数をそれぞれ回答欄に記入してください。回答欄 (構成人数) 回答欄 (会議の回数)

(4) 貴館の運営や主催事業には、住民からどの程度協力してもらっていますか？下記の選択肢から選び、該当する番号を回答欄に記入してください。回答欄

- 1 積極的に協力してもらっている
- 2 ある程度協力してもらっている
- 3 あまり協力してもらえていない
- 4 ほとんど協力してもらえていない

問6 貴館の運営状況を下記の選択肢から選び、該当する番号を回答欄に記入してください。回答欄

- 1 常時開館し、当施設の主催事業がある
 - 2 常時開館しているが集会機能のみで、当施設の主催事業はない
 - 3 集会機能が主で、集会等の利用があった際に開館する
- 7ページの問16へ進んでください。
- 問7～15をお答えください。

問7 貴館の主催事業として今年度実施した(する)講座やイベントの実施回数を下記表中の該当する箇所に記入してください。⑪を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。ただし、「全3回の連続講座」のような事業については、「3回」として数えてください。（複数回答可）

内容	実施回数	内容	実施回数
①現代課題への対応		⑦スポーツ・体力づくり	
②地域づくり・地域活性化	※	⑧健康や医学に関する知識	
③家庭教育支援		⑨情報通信技術（パソコン、SNS等）	
④社会福祉活動		⑩防災・減災	
⑤指導者養成		⑪その他	()
⑥趣味・教養・芸術			

※②の「地域づくり・地域活性化」について実施回数を記入した場合は、具体的な内容を下の欄に記入してください。

(3) 指定管理者制度の契約期間について、空欄に年数を記入してください。

□年契約のうち、現在□年目

問2 貴館の職員体制についてお聞きします。

(1) 貴館の職員数を下表に記入してください。

館	長	設置者職員		指定管理者等職員	その他	合計
		常勤	非常勤・嘱託職員			
		専任	兼任			
指導・事業系職員						
庶務・管理系職員						
合	計					

(2) 貴館の現在の館長の性別、年齢、在職年数について、それぞれ下記の選択肢から選び、該当する番号を回答欄に記入してください。回答欄 (性別) 回答欄 (年齢) 回答欄 (在職年数)

性別	年齢	在職年数
1 男	1 39歳以下	1 1年
2 女	2 40～49歳	2 2年
	3 50～59歳	3 3年
	4 60～69歳	4 4年
	5 70歳以上	5 5年以上

(3) 貴館の館長を除く職員の性別、年齢、勤務年数についてお聞きします。下表に人数を記入してください。

性別	年齢別				
	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
男					
女					

性別	勤務年数別			
	1年以下	1～3年	3～5年	5年以上
男				
女				

問3 貴館の開館時間を記入してください。例）平日9:00～18:00、申請に応じて開館等

問4 貴館の休館日を記入してください。例）年末年始、毎月第3月曜日等

問5 貴館の運営に対する住民参加についてお聞きします。

(1) 公民館運営審議会や公民館運営委員会のような組織はありますか？下記の選択肢から選び、該当する番号を回答欄に記入してください。回答欄

- 1 ある 一次の(2)(3)にもお答えください。
- 2 ない →(4)へ進んでください。

問8 貴館が今年度実施した(する)事業において、下記表の縦軸に挙げられている①～⑫の関係機関・団体との連携・協力の回数を、該当欄に○を記入してお答えください。ただし、「全3回の連続講座」のような事業については、「3回」として数えてください。

	1～2回	3～5回	6回以上
①社会教育関係団体			
②他の公民館			
③公民館以外の社会教育施設			
④児童館・学童保育			
⑤福祉施設・社会福祉協議会			
⑥幼稚園・保育園・認定こども園			
⑦小学校・中学校・高等学校・特別支援学校	※	※	※
⑧大学・短期大学・専修学校・各種学校			
⑨NPO法人			
⑩県・市町村の教育委員会以外の部局			
⑪民間企業			
⑫町内会・自治会			

※⑦の「小学校・中学校・高等学校」との連携・協力について○を記入した場合は、連携の具体的な内容を下の欄に記入してください。（自由記述）

問9 障害者の支援についてお聞きします。

(1) 貴館の主催事業において、障害者の支援に関する取組がありますか？下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。回答欄

- 1 ある 一次の(2)にもお答えください。
- 2 ない 一問10へ進んでください。

(2) 今年度実施した(する)事業の内容について、下記表中の該当する箇所に記入してください。※特別支援学校の児童・生徒を対象としている場合の「参加対象」欄については、年齢に応じて読み替えて記入してください。

事業名	参加者の障害種別 (複数回答可)	障害者への配慮 (複数回答可)	参加対象 (複数回答可)	実施回数
	1 全般 2 視 3 聴 4 知 5 肢 6 精	1 手話通訳 2 要約筆記 3 磁気ループ 4 点字資料 5 大きな活字の資料 6 その他(下の欄に自由に記述してください。)	1 幼児・小学生 2 中学生 3 高校生 4 成人 5 親子	
1				
2				
3				

<障害者への理解促進・啓発を図る事業>

事業名	事業の目的 (複数回答可)	障害者理解の対象 となった障害種別 (複数回答可)	参加対象 (複数回答可)	実施回数
	1 障害者の理解を図る 2 人権問題への理解・啓発を図る 3 ボランティアの養成・研修を図る 4 その他(下の欄に自由に記入してください。)	1 全般 2 視 3 聴 4 知 5 肢 6 精	1 小学生 2 中学生 3 高校生 4 成人 5 親子	
1				
2				
3				

問 10 主催事業において、多世代が交流できる取組がありますか？下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。
1 ある → 具体的な取組を下の欄に記入してください。(自由記述)
2 ない

回答欄

問 11 アウトリーチ活動についてお聞きします。
(1) 館内で実施するのではなく、他施設に移動して実施する「移動公民館」のような取組を実施していますか？下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。
1 実施している 一次の(2)にもお答えください。
2 実施していない 一問12へ進んでください。

回答欄

(2) 今年度実施した(する)事業名、開催場所(移動先)、実施回数、延べ参加者数を下表中の該当する箇所に入力してください。

	取組の内容	実施場所(移動先)	実施回数	延べ参加者数
1				
2				
3				

問 12 社会人のキャリア形成を支援する取組についてお聞きします。
(1) 若者・女性の就業や起業に向けた学び直しに関連する講座を実施したことがありますか？下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。
1 実施したことがある 一問13へ進んでください。
2 実施したことはない 一次の(2)にもお答えください。

回答欄

(2) (1)の講座を今後実施してみたいと思いますか？下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。
1 実施してみたい
2 実施してみたいが、内容や進め方がわからない
3 実施してみたいとは思わない

回答欄

ここからは全ての館がお答えください。

問 16 (1) 貴館が住民から期待されている事項はどのようなものだとお考えですか？下記の選択肢の中から3つまで選び、番号を記入してください。10を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。

回答欄

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 地域づくりの拠点 | 2 防災・減災の拠点 |
| 3 多世代交流の場 | 4 各種研修・講座の実施 |
| 5 学習情報提供・学習相談 | 6 地域人材の育成・発掘 |
| 7 社会教育関係団体への支援 | 8 他施設に移動しての活動 |
| 9 行政サービス(各種証明書の交付申請等) | 10 その他() |

(2) (1)の取組を実施するために最も必要なことはどのようなこととお考えですか？下記選択肢の中から3つまで選び、番号を記入してください。13を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

回答欄

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1 職員のスキルアップ | 2 予算措置 |
| 3 社会教育関係団体との連携 | 4 他の社会教育施設との連携 |
| 4 学校との連携 | 5 教育関係機関(学校を除く)との連携 |
| 6 民間企業・NPOとの連携 | 7 県・市町村との連携 |
| 8 地域住民の参加・協力 | 9 地域人材・地域資源の把握 |
| 10 住民の学習ニーズの把握 | 11 施設・設備の補修・整備 |
| 12 貸室業務 | 13 その他() |

問 17 職員の研修についてお聞きします。
(1) 今後、貴館の職員に必要な研修はどのようなものとお考えですか？下記の選択肢の中から3つまで選び、番号を記入してください。14を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。

回答欄

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1 生涯学習・社会教育の基礎 | 2 学習プログラムの立案 |
| 3 学習情報提供・学習相談 | 4 事業評価 |
| 5 地域づくりの基礎 | 6 学校・家庭・地域の連携 |
| 7 地域課題・ニーズの把握 | 8 情報機器の利活用 |
| 9 地域団体・サークルへの支援 | 10 参加型学習(ワークショップ)の企画・運営 |
| 11 家庭教育支援 | 12 スポーツ・レクリエーションの企画・運営 |
| 13 接遇マナー・コミュニケーション | 14 その他() |

(2) 公民館職員を対象とした研修に参加しやすい時期を3つ記入してください。
① 〇月〇旬 ② 〇月〇旬 ③ 〇月〇旬

問 18 ここ3年程度の間感じている変化について、下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。9を選択した場合、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

回答欄

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 予算が増えた | 2 予算が減った |
| 3 住民の利用が増えた | 4 住民の利用が減った |
| 5 地域団体とのつながりが強まった | 6 地域団体とのつながりが弱まった |
| 7 公民館の活気が出た | 8 公民館の活気がなくなった |
| 9 その他() | |

問 13 研修・講座修了者への手立てについてお聞きします。
(1) 貴館主催の研修・講座修了者等に対して、学習成果等を活用できる場の設定や機会の提供を行っていますか？下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。
1 行っている 一次の(2)にもお答えください。
2 行っていない 一問14へ進んでください。

回答欄

(2) 学習成果等を活用できる場の設定や機会の提供について、下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。6を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

回答欄

問 14 事業評価についてお聞きします。
(1) 主催事業終了後の事業評価は実施していますか？下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。
1 ほぼ全ての事業で実施している
2 全てではないが、一部の事業で実施している
3 実施していない → (3)をお答えください。

回答欄

(2) 評価方法について、下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。5を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

回答欄

(3) 評価を実施していない理由について、下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。7を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

回答欄

問 15 貴館の主催事業において、今後重要だと思われる講座やイベントを下記の選択肢の中から3つまで選び、番号を記入してください。11を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。

回答欄

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 現代の課題への対応 | 2 地域づくり・地域活性化 |
| 3 家庭教育支援 | 4 ボランティアや社会福祉活動 |
| 5 指導者養成 | 6 趣味・教養・芸術 |
| 7 スポーツ・体力づくり | 8 健康や医学に関する知識 |
| 9 情報通信技術(パソコン、SNS等) | 10 防災・減災 |
| 11 その他() | |

問 19 防災・減災についてお聞きします。
(1) 貴館は、災害時の指定避難所になっていますか？下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。
1 指定避難所になっている
2 指定避難所になっていない

回答欄

(2) 施設の耐震化は済んでいますか？下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。
1 耐震化されている
2 耐震化する予定
3 されていない 一次の(3)にもお答えください。

回答欄

(3) 耐震診断はなされていますか？下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。
1 実施した
2 実施していない

回答欄

(4) 貴館が避難所となったことを想定した「避難所運営マニュアル」はありますか？下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。
1 ある
2 ない

回答欄

(5) 防災・減災のために、貴館が備えているものを下記選択肢の中から選び、番号を記入してください。8を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

回答欄

(6) 防災・減災に関わる取組を実施していますか？下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。
1 毎年実施している
2 2~3年に1回は実施している
3 実施していない 一問20へ進んでください。

回答欄

(7) 防災・減災に関わる取組の内容を下記選択肢の中から選び、番号を記入してください。8を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

回答欄

- | |
|-----------------------------|
| 1 防災・減災の基礎知識習得に関する講座 |
| 2 災害対策や応急手当方法の習得などの技術的講習会 |
| 3 災害体験プログラムなどの体験型実践講座 |
| 4 地域の防災マップ作成や避難経路確認などの実践的講座 |
| 5 組織作りに関する取組 |
| 6 被災地に対する正しい理解を得るための取組 |
| 7 避難訓練・避難所運営体験 |
| 8 その他() |

問20 貴館の情報発信の手段について、下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。7を選択した場合は、

回答欄

()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

- 1 公民館報・公民館だよりなど作成している
- 2 SNS (Facebook、ツイッター等)で情報発信している
- 3 独自のホームページを開設している
- 4 市町村の広報誌に情報を掲載している
- 5 市町村のホームページに情報を掲載している
- 6 その他 ()
- 7 特に情報発信していない

自由記述欄 (県や市町村に要望すること等を自由にお書きください。)

問21 貴館の施設・設備の状況についてお聞きます。

(1) 貴館の開設年を回答欄に記入してください。名称変更や改築等があった場合でも、当初の開設年を明記してください。
※不明の場合は、「不明」を○印で囲んでください。

回答欄

西暦 年
不明

(2) 貴館の建設年について、現在の建物が建設された年を回答欄に記入してください。
※不明の場合は、「不明」を○印で囲んでください。

回答欄

西暦 年
不明

(3) 貴館に次の部屋はありますか？下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。17を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。ただし、複合・併設施設で、共用部分として使用しているところも含みます。

回答欄

(複数回答可)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 会議室・研修室 | 2 ロビーなど、住民の交流や団らんが可能な空間 |
| 3 体育・レクリエーション室 | 4 ホール・講堂 |
| 5 図書室 | 6 和室 |
| 7 調理室・料理講習室 | 8 多目的室・多目的ホール |
| 9 託児・保育専用室 | 10 視聴覚室 |
| 11 音楽室 | 12 パソコン専用室 |
| 13 工芸工作室 | 14 喫茶室 |
| 15 サークル・団体室 | 16 サークル・団体等も利用できる印刷室 |
| 17 その他特色のある部屋・スペース() | |

(4) 貴館に次の設備はありますか？下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。6を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

回答欄

- 1 無線 LAN (Wi-Fi 等) が使える環境
※来館者が利用できるもの
- 2 冷房 (一部でも可)
- 3 エレベーター
- 4 バリアフリーへの対応 (スロープ、専用トイレ等)
- 5 AED の設置
- 6 その他特色のある設備()

御協力いただきありがとうございました。
他のアンケートと合わせてゆうメール(着払い)にて御返送ください。

公民館の役割に関する現状調査

対象：公民館、公民館類似施設の 館長（代表者）・職員・利用者
 このアンケートは、公民館及び公民館類似施設に勤務される皆さんにお答えいただくものです。各自御回答いただき、貴館対象アンケート、利用者対象アンケートとともに御返送下さい。

〈アンケートの趣旨〉
 青森県では、人口減少に伴い、地域コミュニティの機能低下や経済活動の縮小が懸念され、県政の最重要課題である「人口減少克服」に向けて、地域の課題に立ち向かう人財の力がより一層重要となっています。このような中、地域住民が集まり、学び、つながる場である公民館には、今後、住民が主体的に地域課題を解決するために必要な学習を推進する役割や住民主体の地域づくりの拠点としての役割、地域コミュニティのセンターの役割、地域の防災拠点としての役割、地域学校協働活動の拠点としての役割などがさらに強く求められています。

本調査は、公民館及び公民館類似施設、施設職員、利用者を対象にアンケートを実施し、その結果をもとに公民館の現状と課題及び地域の人々の公民館に対する意識を把握し、県や市町村が地域コミュニティの活性化へ向け、今後の施策の方向性を検討することを目的としています。

〈回答〉 令和2年2月14日（金）までに他のアンケートとともに御返送ください。
 〈問合せ〉 青森県教育庁生涯学習課 企画振興グループ TEL017-734-9889
 〈本アンケートで得た情報の取り扱いについて〉
 本アンケートで得た情報は本調査の目的以外に使用することは致しません。情報を公開する場合、回答はすべて統計的に処理し、個人が特定されることのないよう配慮いたします。また、個人を特定できる情報を調査実施主体及び調査委託機関外の第三者に提供することはありません。データ管理においては不正アクセス、紛失、破壊、改ざん及び漏えい等の事故の予防に努めます。

性別	男 該当するものに○	女 該当するものに○	年齢	歳	勤務年数	年
職名	(該当するものに○ 専任 兼任)					

問1 貴館が住民から期待されている事項はどのようなものだとお考えですか？下記の選択肢の中から3つまで選び、番号を記入してください。10を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。

1 地域づくりの拠点	2 防災・減災の拠点
3 多世代交流の場	4 各種研修・講座の実施
5 学習情報提供・学習相談	6 地域人材の育成・発掘
7 社会教育関係団体への支援	8 他施設に移動しての活動
9 行政サービス(各種証明書の交付申請等)	10 その他()

問2 あなたが施設の職員として、地域から期待される役割はどのようなものとお考えですか？下記の選択肢の中から3つまで選び、番号を記入してください。10を選択した場合は、()の中に具体的に記入して下さい。

1 地域課題やニーズを把握する	2 地域の人や団体のネットワークをつくる
3 学校と地域の連携をコーディネートする	4 社会教育指導者へ助言と指導を行う
5 地域の教育資源や人材の把握を行う	6 地域における集いの場をつくる
7 地域団体・サークルを育成する	8 学習プログラムを企画・実施する
9 学習情報の提供、学習相談に応じる	10 その他()

問5 社会人のキャリア形成を支援する取組として、若者・女性の就業や起業に向けた学び直しに関連する講座について、下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。

1 地域住民のニーズはあると思う
2 地域住民のニーズはないと思う
3 わからない

問6 (1) これまでに、貴館の主催事業を利用者（地域住民）と協働して実施したことがありますか？下記の選択肢の該当する番号を記入してください。

1 はい → (2)へ進んでください。
2 いいえ → (4)へ進んでください。

(2) これまでに、利用者（地域住民）と協働して実施した事業の形態について、下記の選択肢の該当する番号を記入してください。6を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

1 事業を協働して企画・実施運営（準備や手伝いも含む）
2 事業を協働して企画、職員が実施運営
3 事業を職員が企画、利用者（地域住民）が実施運営
4 職員の手援助のもと、事業を利用者（地域住民）が企画・実施運営
5 職員が企画・実施運営する事業に、利用者（地域住民）が出演・講師等として参加
6 その他()

(3) 利用者（地域住民）との協働の働きかけは、どのように行いましたか？下記の選択肢の該当する番号を記入してください。6を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

1 直接声をかけて依頼する（施設の利用時等）
2 施設を利用するサークル・団体等を通じて参加を促す
3 参加者をチラシ・ポスター等で公募
4 講座・研修会等の修了者に参加を促す
5 地域の学校、団体へ案内
6 その他()

(4) 今後、利用者（地域住民）と協働して事業を実施したいと考えますか？下記の選択肢の該当する番号を記入してください。

1 はい → 次の(5)にもお答えください。
2 いいえ → 以上でアンケートは終わりです。

(5) 今後、利用者（地域住民）と協働して事業を実施したいと考え形態について、下記の選択肢の該当する番号を記入してください。5を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

1 事業の企画	2 事業の実施運営（準備も含む）
3 講座・研修会等の講師として依頼	4 公民館まつり等への出演・参加等
5 その他()	

問3 あなたが施設の職員として、現在、実務上の比重が大きいものは何ですか？下記の選択肢の中から3つまで選び、番号を記入してください。10を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。

1 地域課題やニーズを把握する	2 地域の人や団体のネットワークをつくる
3 学校と地域の連携をコーディネートする	4 社会教育指導者へ助言と指導を行う
5 地域の教育資源や人材の把握を行う	6 地域における集いの場をつくる
7 地域団体・サークルを育成する	8 学習プログラムを企画・実施する
9 学習情報の提供、学習相談に応じる	10 その他()

問4 研修についてお聞きします。
 (1) ここ1年間に、市町村や県、国、あるいは民間事業者等が実施する、業務に関する研修会等に参加しましたか？下記の選択肢の該当する番号を記入してください。

1 はい → (2)へ進んでください。
2 いいえ → (3)へ進んでください。

(2) 参加した研修の内容について、下記の選択肢の該当する番号をすべて記入してください。14を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

1 生涯学習・社会教育の基礎	2 学習プログラムの立案
3 学習情報提供・学習相談	4 事業評価
5 地域づくりの基礎	6 学校・家庭・地域の連携
7 地域課題・ニーズの把握	8 情報機器の利活用
9 地域団体・サークルへの支援	10 参加型学習（ワークショップ）の企画・運営
11 家庭教育支援	12 スポーツ・レクリエーションの企画・運営
13 接遇マナー・コミュニケーション	14 その他()

→ (4)へ進んでください。

(3) 研修会等に参加しなかった最も大きな理由について、下記の選択肢の該当する番号を記入してください。4を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。

1 費用（旅費等）がかかるため
2 業務等により多忙で時間の余裕がないため
3 参加したい内容のものが無かったため
4 その他()

(4) あなたが今後参加したい研修の内容について、下記の選択肢の該当する番号を記入してください。14を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

1 生涯学習・社会教育の基礎	2 学習プログラムの立案
3 学習情報提供・学習相談	4 事業評価
5 地域づくりの基礎	6 学校・家庭・地域の連携
7 地域課題・ニーズの把握	8 情報機器の利活用
9 地域団体・サークルへの支援	10 参加型学習（ワークショップ）の企画・運営
11 家庭教育支援	12 スポーツ・レクリエーションの企画・運営
13 接遇マナー・コミュニケーション	14 その他()

自由記述欄（県や市町村に要望すること等を自由にお書きください。）

御協力いただきありがとうございました。
 館長(代表者)及び利用者対象のアンケートとともに御返送ください。

公民館の役割に関する現状調査

対象：公民館、公民館類似施設の 館長（代表者）・職員・利用者

このアンケートは、公民館及び公民館類似施設を利用されている皆さんにお答えいただくものです。各自お答えいただき、施設の職員まで御提出ください。

〈アンケートの趣旨〉

青森県では、人口減少に伴い、地域コミュニティの機能低下や経済活動の縮小が懸念され、県政の最重要課題である「人口減少克服」に向けて、地域の課題に立ち向かう人財の力がより一層重要となっています。このような中、地域住民が集まり、学び、つながる場である公民館には、今後、住民が主体的に地域課題を解決するために必要な学習を推進する役割や住民主体の地域づくりの拠点としての役割、地域コミュニティのセンターの役割、地域の防災拠点としての役割、地域学校協働活動の拠点としての役割などがさらに強く求められています。

本調査は、公民館及び公民館類似施設、施設職員、利用者を対象にアンケートを実施し、その結果をもとに公民館の現状と課題及び地域の人々の公民館に対する意識を把握し、県や市町村が地域コミュニティの活性化へ向け、今後の施策の方向性を検討することを目的としています。

〈回答〉 公民館等の指定する期日までに、施設職員まで御提出ください。

〈問合せ〉 青森県教育庁生涯学習課 企画振興グループ TEL017-734-9889

〈本アンケートで得た情報の取り扱いについて〉

本アンケートで得た情報は本調査の目的以外に使用することは致しません。情報を公開する場合、回答はすべて統計的に処理し、個人が特定されることのないよう配慮いたします。また、個人を特定できる情報を調査実施主体及び調査委託機関外の第三者に提供することは致しません。データ管理においては不正アクセス、紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどの事故の予防に努めます。

性別	男 該当するものに○	女	年齢	歳	居住地	市町村のみ
----	---------------	---	----	---	-----	-------

■公民館の利用について伺います。

問1

(1) ここ1年間の利用頻度(回数)はおおよそどれくらいですか?下記の選択肢の該当する番号を記入してください。

- 1 毎週2回以上
- 2 毎週1回程度
- 3 隔週1回程度(2週に1回程度)
- 4 毎月1回程度
- 5 3ヶ月に1回程度
- 6 半年に1回程度
- 7 1年に1回程度
- 8 初めて利用した

(2) のように利用しましたか?下記の選択肢の該当する番号を記入してください。10を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

- 1 地域の団体、サークル・クラブの活動で場所を借りた
- 2 講座やイベントに受講者や利用者として参加した
- 3 講座やイベントに手伝いやボランティアとして関わった
- 4 地域課題の相談等、公民館職員の支援を受けた
- 5 図書資料を借りた
- 6 視聴覚教材を借りた
- 7 買い物や散歩の途中で休憩に立ち寄った
- 8 公民館の運営等に関わった
- 9 公民館の研修・講座の講師等を務めた
- 10 その他()

1

(3) 参加しなかった理由について、下記の選択肢の該当する番号を記入してください。7を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

- 1 参加したい内容のものがなかった
- 2 時間の都合がつかなかった
- 3 内容が以前参加したものと同じだった
- 4 講座・イベントが実施されていることを知らなかった
- 5 有料のため
- 6 交通が不便であった
- 7 その他()

(4) 今後どのような講座・イベントに参加したいですか?下記の選択肢の該当する番号を記入してください。11を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

- 1 現代的課題への対応
- 2 地域づくり・地域活性化
- 3 家庭教育
- 4 社会福祉活動
- 5 指導者養成
- 6 趣味・教養・芸術
- 7 スポーツ・体力づくり
- 8 健康や医学に関する知識
- 9 情報通信技術(パソコン、SNS等)
- 10 防災・減災
- 11 その他()

■公民館への協力について伺います。

問4

(1) これまでに、公民館主催の事業やイベントに協力したことがありますか?下記の選択肢の該当する番号を記入してください。

- 1 はい → (2)へ進んでください。
- 2 いいえ → (4)へ進んでください。

(2) 公民館の事業への協力の仕方について、下記の選択肢の該当する番号を記入してください。6を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

- 1 事業を公民館職員と協力して企画・実施運営(準備や手伝いも含む)
- 2 事業を公民館職員と協力して企画、公民館職員が実施運営
- 3 事業を公民館職員が企画、利用者(地域住民)が実施運営
- 4 公民館職員の支援のもと、事業を利用者(地域住民)が企画・実施運営
- 5 公民館職員が企画・実施運営する事業に、利用者(地域住民)が出演・講師等として参加
- 6 その他()

(3) 公民館への協力は、どのようなきっかけで行いましたか?下記の選択肢の該当する番号を記入してください。6を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

- 1 公民館職員から直接依頼された(施設の利用時等)
- 2 所属するサークル・団体等を通じて公民館職員から案内があった
- 3 チラシ・ポスター等で協力者の募集がされていた
- 4 講座・研修会等に参加した際に案内された
- 5 子どもの通う学校から案内が届いた
- 6 その他()

(4) 今後、公民館に協力したいと考えますか?下記の選択肢の該当する番号を記入してください。

- 1 はい → 次の(5)にもお答えください。
- 2 いいえ → 問5へ進んでください。

3

問2

(1) 今後、公民館を利用したいですか?下記の選択肢の該当する番号を記入してください。

- 1 今後も利用したい → (2)へ進んでください。
- 2 今後は利用しない → (3)へ進んでください。

(2) 今後の利用の仕方としてあてはまるものを下記の選択肢の中から3つ選び、該当する番号を記入してください。10を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

- 1 地域の団体、サークル・クラブの活動で場所を借りる
- 2 講座やイベントに受講者や利用者として参加する
- 3 講座やイベントに手伝いやボランティアとして関わる
- 4 地域課題の相談等、公民館職員の支援を受ける
- 5 図書資料を借りる
- 6 視聴覚教材を借りる
- 7 買い物や散歩の途中で休憩に立ち寄る
- 8 公民館の運営等に関わる
- 9 公民館の研修・講座の講師等を務める
- 10 その他()

→ 問3へ進んでください。

(3) 今後は利用しない理由としてあてはまるものを下記の選択肢の中から3つ選び、該当する番号を記入してください。6を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

- 1 利用したい公民館の施設・設備がない
- 2 必要な支援を受けられない
- 3 参加したい講座やイベント等がない
- 4 利用が有料のため
- 5 交通が不便であるため
- 6 その他()

■公民館が実施する講座やイベントについて伺います。

問3

(1) ここ1年間に公民館が実施する講座・イベントに参加しましたか?下記の選択肢の該当する番号を記入してください。

- 1 参加した → (2)へ進んでください。
- 2 参加していない → (3)へ進んでください。

(2) 参加した講座・イベントの内容について、下記の選択肢の該当する番号を記入してください。11を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

- 1 現代的課題への対応
- 2 地域づくり・地域活性化
- 3 家庭教育
- 4 社会福祉活動
- 5 指導者養成
- 6 趣味・教養・芸術
- 7 スポーツ・体力づくり
- 8 健康や医学に関する知識
- 9 情報通信技術(パソコン、SNS等)
- 10 防災・減災
- 11 その他()

→ (4)へ進んでください。

(5) 今後、公民館に協力する仕方について、下記の選択肢の該当する番号を記入してください。5を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。(複数回答可)

- 1 事業の企画
- 2 事業の実施運営(準備や手伝いも含む)
- 3 講座・研修会等の講師
- 4 公民館まつり等への出演・参加等
- 5 その他()

■公民館に期待することについて伺います。

問5

(1) 公民館に期待する事項はどのようなものですか?下記の選択肢の中から3つまで選び、番号を記入してください。10を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。

- 1 地域づくりの拠点
- 2 防災・減災の拠点
- 3 多世代交流の場
- 4 各種研修・講座の実施
- 5 学習情報提供・学習相談
- 6 地域人材の育成・発掘
- 7 社会教育関係団体への支援
- 8 他施設に移動しての活動
- 9 行政サービス(各種証明書の交付申請等)
- 10 その他()

問6 社会人のキャリア形成を支援する取組についてお聞きします。

(1) 若者や女性の就業・起業に向けた学び直しに関連する講座を受講したことがありますか?(公民館以外での学習も含みます。)下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。

- 1 受講したことがある
- 2 受講したことはない

(2) (1)の講座が公民館で行われるのであれば、今後受講してみたいと思いますか?下記の選択肢の該当する番号を回答欄に記入してください。

- 1 受講してみたい
- 2 受講してみたいと思わない
- 3 よくわからない

問7 公民館職員に期待する役割はどのようなものですか?下記の選択肢の中から3つまで選び、番号を記入してください。10を選択した場合は、()の中に具体的に記入してください。

- 1 地域課題やニーズを把握する
- 2 地域の人や団体のネットワークをつくる
- 3 学校と地域の連携をコーディネートする
- 4 社会教育指導者へ助言と指導を行う
- 5 地域の教育資源や人材の把握を行う
- 6 地域における集いの場をつくる
- 7 地域団体・サークルを育成する
- 8 学習プログラムを企画・実施する
- 9 学習情報の提供、学習相談に応じる
- 10 その他()

問8 聞読してほしい講座や実施してほしい研修、施設の整備等、公民館に望むことを記入してください。

Blank box for writing expectations for the library.

御協力いただきありがとうございました。施設職員まで御提出ください。

令和元年度 生涯学習・社会教育総合調査研究事業
公民館の役割に関する現状調査 報告書

発行年月日 令和2年3月

編集・発行 青森県教育庁生涯学習課

〒030-8540 青森市長島一丁目1番1号

TEL 017-734-9889 (内 3138) FAX 017-734-8272

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/>

[education/aomorimanabi-e_shogai.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/aomorimanabi-e_shogai.html)

調査・分析委託先 株式会社サンブラッソ・エイティープイ

〒038-0011 青森市篠田二丁目3番17号

TEL 017-762-7010 FAX 017-762-7011